

# 地域福祉に関するアンケート調査

## 報告書

宮城県 美里町

令和3年10月



## 目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 実施概要	1
2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	5
1	あなたご自身のことについて	5
	(1) 性別	5
	(2) 年齢	6
	(3) お住まいの小学校区（地区）	7
	(4) 職業	8
	(5) 居住年数	9
	(6) 家族構成	10
	(7) 同居家族について	12
2	育児と介護について	13
	(1) 今現在、育児・介護をしているかについて	13
	(2) 育児・介護の心配・不安について	14
	(3) 育児・介護において心配・不安に感じる内容	16
	(4) 心配・不安に感じていることを相談できる相手	18
3	地域での暮らし・共生社会について	21
	(1) 近所の方との付き合い	21
	(2) 地域で助け合う気風について	23
	(3) 地域で手助けできること	25
	(4) 困ったときに手助けしてほしいこと	29
	(5) 過去1年以内に手助けしたこと	33
	(6) これまでに障害のある方と接する機会	36
	(7) 障害のある方と接するきっかけ	38
	(8) 障害のある方と接する中で意識していたこと	40
	(9) 障害のある方への差別・偏見について	43
4	地域活動について	45
	(1) 地域活動への関心	45
	(2) 地域活動への参加状況	47
	(3) 参加している地域活動の内容・きっかけ	49
	(4) 参加したことがない（できない）理由	54

5	町の福祉情報の入手について	57
	(1) 町の福祉情報を必要とした経験	57
	(2) 情報をすぐに入手できたかについて	59
	(3) 情報入手手段について	61
	(4) 今後の福祉情報の入手方法について	63
6	福祉サービスについて	66
	(1) 福祉サービスを利用したいと思ったこと	66
	(2) 実際の利用状況	68
	(3) 福祉サービスの利用にあたって困ったこと	70
	(4) サービスを利用しなかった理由	74
	(5) 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについて	74
7	相談について	80
	(1) 誰かに相談したいと思うかについて	80
	(2) 相談相手	81
	(3) 相談したいと思わない理由	84
	(4) 民生委員児童委員等の認知度	86
8	人権・権利擁護について	91
	(1) 人権や権利擁護への関心	91
	(2) 成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知について	94
	(3) 権利擁護制度の利用意向	96
	(4) 成年後見人を任せたい相手	97
	(5) 判断能力が不十分となった場合の相談先	100
9	新しい生活様式	103
	(1) 新しい生活様式による環境変化	103
	(2) 新しい生活様式による環境変化の内容	105
10	町の福祉施策について	113
	(1) 地域福祉推進における主な取り組みの評価	113
	(2) 町の福祉施策への意見	117

# I 調査概要



# I 調査概要

## 1 調査の目的と実施概要

### (1) 調査の目的

地域福祉に関するアンケート調査（以降、「本調査」とします。）は、計画の策定にあたり、ともに支え合う福祉社会の実現にむけて、住民の皆さんの意見、要望等を収集し、計画に反映させることを目的として実施しました。

### (2) 実施概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

#### 《 調 査 概 要 》

- 調査対象：美里町内にお住まいの18歳以上の方
- 抽出方法：性別、年齢、地域を勘案して、2,000名を抽出
- 調査内容：地域の福祉環境や福祉活動に関すること
  1. あなたご自身のことについて
  2. 育児と介護について
  3. 地域での暮らし・共生社会について
  4. 地域活動について
  5. 町の福祉情報の入手について
  6. 福祉サービスについて
  7. 相談について
  8. 人権・権利擁護について
  9. 新しい生活様式について
  10. 町の福祉施策について
- 調査期間：令和3年9月
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配付・回収：

配付数	回収数	有効票		未回収票数	回収率
		有効票	無効票		
2,000票	977票	976票	1票	1,023票	48.9%

## 2 集計結果を読む際の留意事項

---

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

### 《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。  
(※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が100.0%とならない場合があります。)
- 複数回答の設問では、各比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。

## Ⅱ 調査結果



## Ⅱ 調査結果

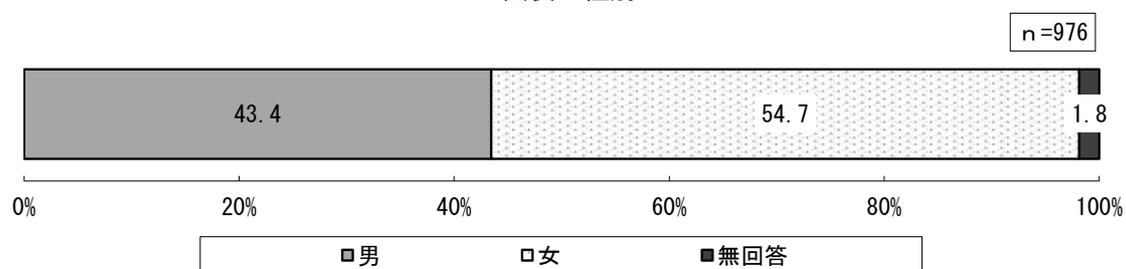
### 1 あなたご自身のことについて

#### (1) 性別

問 あなた（対象者ご本人）の性別を教えてください。（1つに○）

○ 回答者の性別は、「男性」が43.4%、「女性」が54.7%となっています。

図表 性別



(n=976)

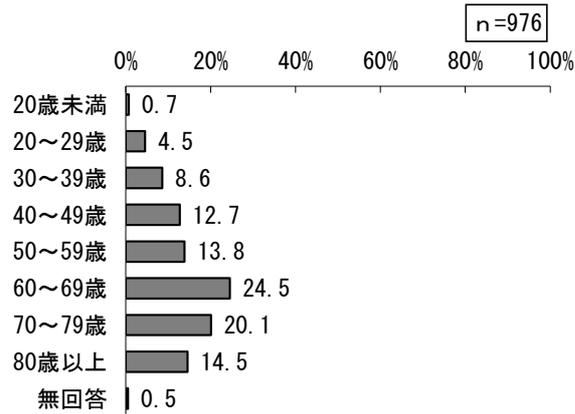
	回答数	構成比
1 男性	424	43.4%
2 女性	534	54.7%
無回答	18	1.8%

## (2) 年齢

問 令和3年7月1日現在のあなたの年齢を教えてください。(1つに○)

- 回答者の年齢は、「60～69歳」が24.5%と最も高くなっています。次いで「70～79歳」(20.1%)、「80歳以上」(14.5%)となっています。
- 回答全体としては、60歳以上の占める割合が約6割(59.1%)となっています。

図表 年齢



(n=976)

	回答数	構成比
1 20歳未満	7	0.7%
2 20～29歳	44	4.5%
3 30～39歳	84	8.6%
4 40～49歳	124	12.7%
5 50～59歳	135	13.8%
6 60～69歳	239	24.5%
7 70～79歳	196	20.1%
8 80歳以上	142	14.5%
無回答	5	0.5%

図表 年齢(性別)

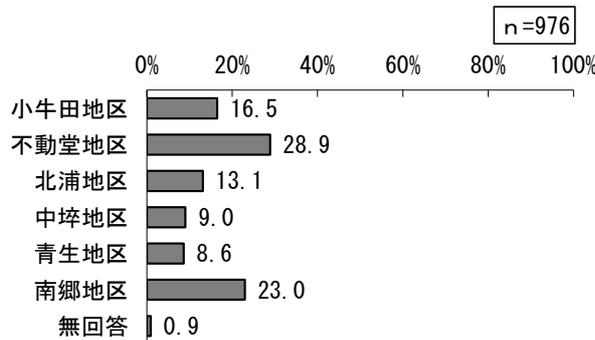
	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
男性(n=424)	0.0%	5.0%	8.5%	11.3%	12.7%	27.8%	21.2%	13.4%	0.0%
女性(n=534)	1.3%	4.3%	9.0%	14.0%	14.8%	22.5%	19.5%	14.6%	0.0%

### (3) お住まいの小学校区（地区）

問 あなたのお住まいの地区（小学校区）を教えてください。（1つに○）

○ 回答者のお住まいの小学校区は、「不動堂地区」が28.9%と最も多く、次いで「南郷地区」が23.0%、「小牛田地区」が16.5%となっています。

図表 お住まいの小学校区



(n=976)

	回答数	構成比
1 小牛田地区	161	16.5%
2 不動堂地区	282	28.9%
3 北浦地区	128	13.1%
4 中埜地区	88	9.0%
5 青生地区	84	8.6%
6 南郷地区	224	23.0%
無回答	9	0.9%

図表 お住まいの小学校区（性別・年齢）

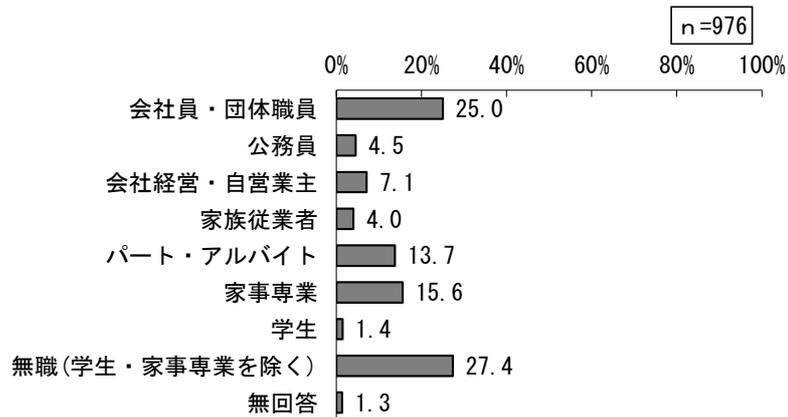
	小牛田地区	不動堂地区	北浦地区	中埜地区	青生地区	南郷地区	無回答
男性 (n=424)	15.1%	29.2%	12.5%	10.1%	9.9%	23.1%	0.0%
女性 (n=534)	17.8%	29.0%	13.7%	8.2%	7.5%	23.0%	0.7%
20歳未満 (n=7)	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%
20～29歳 (n=44)	18.2%	34.1%	9.1%	4.5%	4.5%	29.5%	0.0%
30～39歳 (n=84)	13.1%	40.5%	13.1%	3.6%	10.7%	17.9%	1.2%
40～49歳 (n=124)	16.1%	32.3%	12.9%	13.7%	3.2%	21.8%	0.0%
50～59歳 (n=135)	14.1%	33.3%	14.1%	8.1%	7.4%	22.2%	0.7%
60～69歳 (n=239)	17.2%	25.9%	15.9%	7.5%	7.5%	25.5%	0.4%
70～79歳 (n=196)	17.3%	26.0%	13.3%	9.7%	14.8%	18.4%	0.5%
80歳以上 (n=142)	19.0%	23.2%	9.9%	12.0%	8.5%	27.5%	0.0%

## (4) 職業

問 あなたの現在の職業を教えてください。(1つに○)

○ 回答者の現在の職業では、「無職(学生・家事専業を除く)」が27.4%と最も高く、次いで「会社員・団体職員」が25.0%、「家事専業」が15.6%となっています。

図表 職業



(n=976)

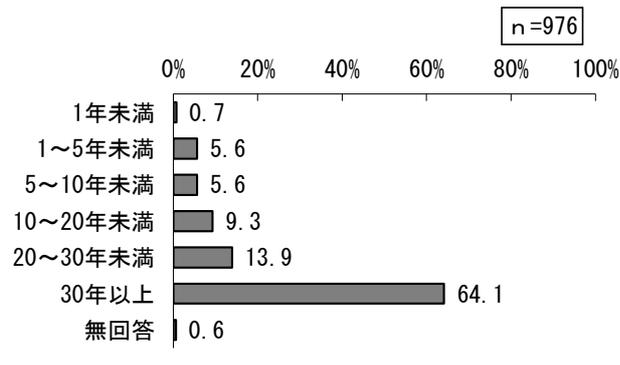
	回答数	構成比
1 会社員・団体職員	244	25.0%
2 公務員	44	4.5%
3 会社経営・自営業主	69	7.1%
4 家族従業者	39	4.0%
5 パート・アルバイト	134	13.7%
6 家事専業	152	15.6%
7 学生	14	1.4%
8 無職(学生・家事専業を除く)	267	27.4%
無回答	13	1.3%

## (5) 居住年数

問 あなたは美里町に住んで何年になりますか。(1つに○)

○ 回答者の居住年数は、「30年以上」が64.1%と最も高く、次いで「20～30年未満」が13.9%、「10～20年未満」が9.3%となっています。

図表 居住年数



	回答数	構成比
1 1年未満	7	0.7%
2 1～5年未満	55	5.6%
3 5～10年未満	55	5.6%
4 10～20年未満	91	9.3%
5 20～30年未満	136	13.9%
6 30年以上	626	64.1%
無回答	6	0.6%

図表 居住年数 (性別・年齢)

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
男性 (n=424)	0.7%	5.7%	6.8%	6.4%	12.7%	67.5%	0.2%
女性 (n=534)	0.7%	5.8%	4.9%	11.6%	15.2%	61.8%	0.0%
20歳未満 (n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=44)	0.0%	20.5%	9.1%	6.8%	61.4%	2.3%	0.0%
30～39歳 (n=84)	2.4%	22.6%	16.7%	8.3%	10.7%	39.3%	0.0%
40～49歳 (n=124)	1.6%	6.5%	10.5%	26.6%	15.3%	39.5%	0.0%
50～59歳 (n=135)	0.7%	4.4%	8.1%	14.1%	29.6%	43.0%	0.0%
60～69歳 (n=239)	0.0%	1.7%	3.8%	3.8%	8.8%	81.6%	0.4%
70～79歳 (n=196)	0.5%	1.0%	2.0%	5.6%	6.1%	84.7%	0.0%
80歳以上 (n=142)	0.7%	4.9%	0.0%	2.1%	4.9%	87.3%	0.0%

図表 居住年数（地区別）

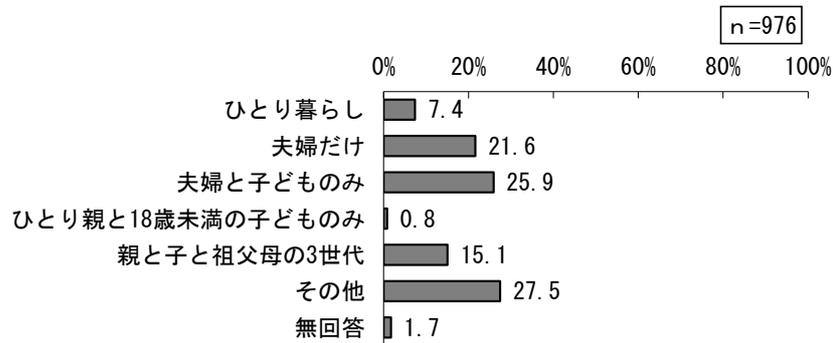
	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
小牛田地区 (n=161)	0.6%	6.2%	6.8%	8.1%	13.7%	64.6%	0.0%
不動堂地区 (n=282)	1.8%	8.5%	9.6%	8.9%	17.0%	53.9%	0.4%
北浦地区 (n=128)	0.8%	7.8%	3.9%	9.4%	13.3%	64.8%	0.0%
中埜地区 (n=88)	0.0%	1.1%	0.0%	10.2%	8.0%	80.7%	0.0%
青生地区 (n=84)	0.0%	1.2%	6.0%	14.3%	17.9%	60.7%	0.0%
南郷地区 (n=224)	0.0%	3.6%	2.7%	8.9%	12.1%	72.8%	0.0%

## （6）家族構成

問 あなたは美里町に住んで何年になりますか。（1つに○）

○ 回答者の家族構成は、「夫婦と子どものみ」が25.9%と最も高く、次いで「夫婦だけ」が21.6%、「親と子と祖父母の3世代」が15.1%となっています。

図表 家族構成



(n=976)

	回答数	構成比
1 ひとり暮らし	72	7.4%
2 夫婦だけ	211	21.6%
3 夫婦と子どものみ	253	25.9%
4 ひとり親と18歳未満の子どものみ	8	0.8%
5 親と子と祖父母の3世代	147	15.1%
6 その他	268	27.5%
無回答	17	1.7%

図表 家族構成（年齢別）

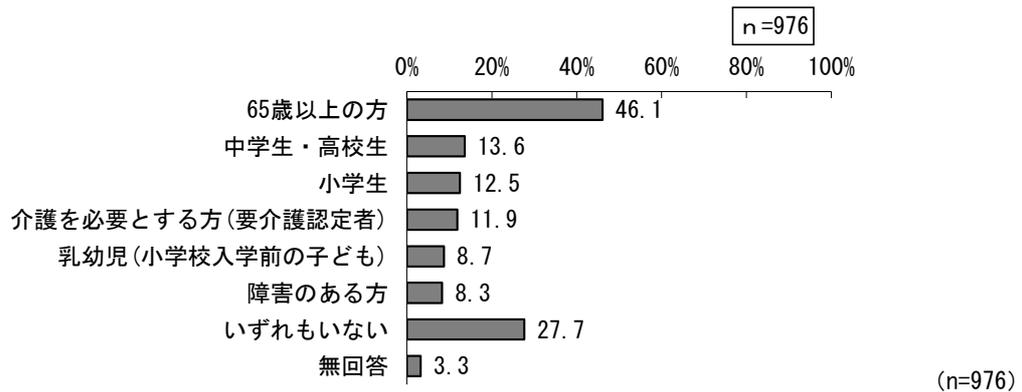
	ひとり暮らし	夫婦だけ	夫婦と子どものみ	ひとり親と18歳未満の子どものみ	親と子と祖父母の3世代	その他	無回答
男性 (n=424)	7.8%	23.8%	25.7%	0.0%	14.9%	26.9%	0.9%
女性 (n=534)	7.1%	19.7%	26.6%	1.5%	15.5%	28.3%	1.3%
20歳未満 (n=7)	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%
20～29歳 (n=44)	4.5%	6.8%	11.4%	2.3%	45.5%	29.5%	0.0%
30～39歳 (n=84)	0.0%	6.0%	59.5%	1.2%	15.5%	17.9%	0.0%
40～49歳 (n=124)	4.0%	6.5%	43.5%	3.2%	25.0%	17.7%	0.0%
50～59歳 (n=135)	5.2%	13.3%	30.4%	1.5%	20.7%	28.9%	0.0%
60～69歳 (n=239)	7.5%	31.8%	17.6%	0.0%	10.5%	32.2%	0.4%
70～79歳 (n=196)	10.2%	34.7%	21.4%	0.0%	7.1%	22.4%	4.1%
80歳以上 (n=142)	14.1%	23.2%	12.0%	0.0%	9.2%	39.4%	2.1%

## (7) 同居家族について

問 あなた自身、またはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 回答者の同居家族は、「65歳以上の方」が46.1%と最も高く、次いで「中学生・高校生」が13.6%、「小学生」が12.5%となっています。
- 「いずれもない」と回答した割合は27.7%となっています。

図表 同居家族について



	回答数	構成比
1 乳幼児(小学校入学前の子ども)	85	8.7%
2 小学生	122	12.5%
3 中学生・高校生	133	13.6%
4 65歳以上の方	450	46.1%
5 介護を必要とする方(要介護認定者)	116	11.9%
6 障害のある方	81	8.3%
7 いずれもない	270	27.7%
無回答	32	3.3%

- 参考までに、回答全体では、以下のような方のいる世帯のあることがわかります。
- 回答結果から、5割半の世帯(46.1%)で65歳以上の同居者がおり、介護の必要な方のいる世帯は2割弱(17.6%)となっています。

図表 同居家族の世帯状況

	回答数	構成比
1 ※1 未就学児童のいる世帯	85	8.7%
2 ※2 児童・生徒のいる世帯	208	21.3%
3 65歳以上のいる世帯	450	46.1%
4 ※3 介護の必要な方のいる世帯	172	17.6%

(n=976)

※1 未就学児童のいる世帯：乳幼児(小学校入学前の子ども)のいる世帯

※2 児童・生徒のいる世帯：小学生・中学生・高校生のいる世帯

※3 介護の必要な方のいる世帯：介護を必要とする方(要介護認定者)、障害のある方のいる世帯

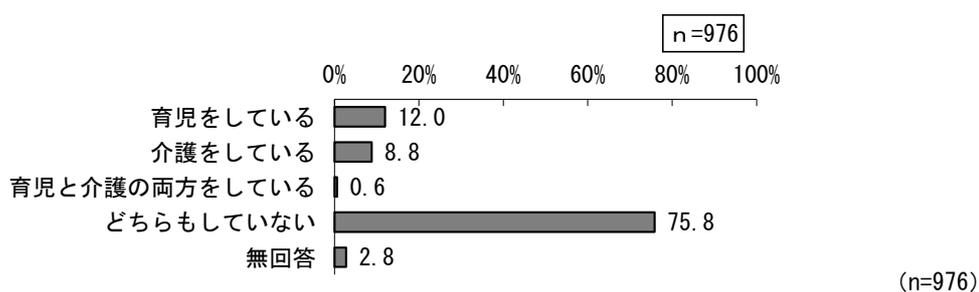
## 2 育児と介護について

### (1) 今現在、育児・介護をしているかについて

問 あなたは今現在、育児・介護をされていますか。(1つに〇)

- 今現在、育児・介護をしているかについては、「どちらもしていない」が75.8%と最も高く、次いで「育児をしている」が12.0%、「介護をしている」が8.8%となっています。

図表 今現在、育児・介護をしているかについて



	回答数	構成比
1 育児をしている	117	12.0%
2 介護をしている	86	8.8%
3 育児と介護の両方をしている	6	0.6%
4 どちらもしていない	740	75.8%
無回答	27	2.8%

- 性別による今現在、育児・介護をしているかについてみると、男女とも回答全体と同様に、「どちらもしていない」が最も高くなっています。
- 年齢別では、「育児と介護の両方をしている」と回答した割合は20歳代(2.3%)、「育児をしている」と回答した割合は30歳代、「介護をしている」と回答した割合は、60歳代でそれぞれ最も高くなっています。

図表 今現在、育児・介護をしているかについて (性別・年齢別)

	育児をしている	介護をしている	育児と介護の両方をしている	どちらもしていない	無回答
男性 (n=424)	9.4%	8.0%	0.2%	79.7%	2.6%
女性 (n=534)	14.4%	9.6%	0.9%	73.2%	1.9%
20歳未満 (n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20~29歳 (n=44)	6.8%	4.5%	2.3%	86.4%	0.0%
30~39歳 (n=84)	57.1%	1.2%	1.2%	40.5%	0.0%
40~49歳 (n=124)	46.8%	3.2%	0.8%	47.6%	1.6%
50~59歳 (n=135)	3.0%	10.4%	1.5%	83.7%	1.5%

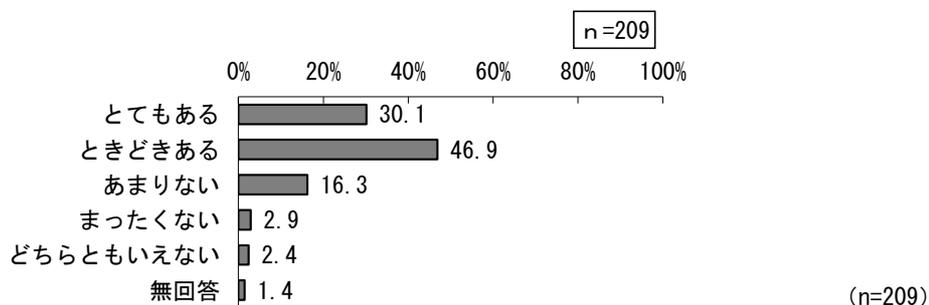
	育児をしている	介護をしている	育児と介護の両方をしている	どちらもしていない	無回答
60～69 歳 (n=239)	0.4%	15.5%	0.4%	82.0%	1.7%
70～79 歳 (n=196)	1.5%	8.2%	0.0%	87.8%	2.6%
80 歳以上 (n=142)	0.0%	8.5%	0.0%	85.2%	6.3%

## (2) 育児・介護の心配・不安について

問 前問で「1. 育児をしている」、「2. 介護をしている」、「3. 育児と介護の両方をしている」と回答した方のみお答えください。  
 育児・介護において心配・不安に感じることありますか。(1つに○)

- 前問で「1. 育児をしている」、「2. 介護をしている」、「3. 育児と介護の両方をしている」と回答した方 (n=209) の育児・介護の心配・不安については、「ときどきある」が 46.9% と最も高くなっています。
- 「とてもある」(30.1%)、「ときどきある」(46.9%) を合わせた育児・介護に“心配・不安がある”と回答した割合は 8 割弱 (77.0%)、「あまりない」(16.3%)、「まったくない」(2.9%) を合わせた育児・介護に“心配・不安がない”と回答した割合は約 2 割 (19.2%) となっています。

図表 育児・介護の心配・不安について



	回答数	構成比
1 とてもある	63	30.1%
2 ときどきある	98	46.9%
3 あまりない	34	16.3%
4 まったくない	6	2.9%
5 どちらともいえない	5	2.4%
無回答	3	1.4%

- 性別による育児・介護の心配・不安については、男女とも回答全体と同様に、「ときどきある」が最も高くなっています。
- 年齢別では、50 歳代～70 歳代では「とてもある」が最も高くなっていますが、20 歳代を除くその他の年齢層では「ときどきある」が最も高くなっています。

図表 育児・介護の心配・不安について（性別・年齢別）

	“心配・不安がある”		“心配・不安がない”			無回答
	とてもある	ときどきある	あまりない	まったくない	どちらとも いえない	
男性 (n=75)	28.0%	38.7%	22.7%	5.3%	4.0%	1.3%
女性 (n=133)	31.6%	51.1%	12.8%	1.5%	1.5%	1.5%
20歳未満 (n=0)	-	-	-	-	-	-
20～29歳 (n=6)	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
30～39歳 (n=50)	16.0%	60.0%	20.0%	2.0%	0.0%	2.0%
40～49歳 (n=63)	20.6%	42.9%	28.6%	4.8%	3.2%	0.0%
50～59歳 (n=20)	50.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%
60～69歳 (n=39)	46.2%	41.0%	5.1%	2.6%	5.1%	0.0%
70～79歳 (n=19)	47.4%	42.1%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
80歳以上 (n=12)	25.0%	58.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%

※ “心配・不安がある”：「とてもある」、「ときどきある」と回答した方

※ “心配・不安がない”：「あまりない」、「まったくない」と回答した方

○ 地区ごとの育児・介護の心配・不安をみると、各地区ともに「ときどきある」が最も高くなっています。

図表 育児・介護の心配・不安について（地区別）

	“心配・不安がある”		“心配・不安がない”			無回答
	とてもある	ときどきある	あまりない	まったくない	どちらとも いえない	
小牛田地区 (n=40)	35.0%	47.5%	15.0%	0.0%	2.5%	0.0%
不動堂地区 (n=81)	30.9%	39.5%	21.0%	6.2%	1.2%	1.2%
北浦地区 (n=18)	5.6%	83.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
中埜地区 (n=20)	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%	5.0%	5.0%
青生地区 (n=10)	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
南郷地区 (n=40)	32.5%	42.5%	15.0%	2.5%	5.0%	2.5%

※ “心配・不安がある”：「とてもある」、「ときどきある」と回答した方

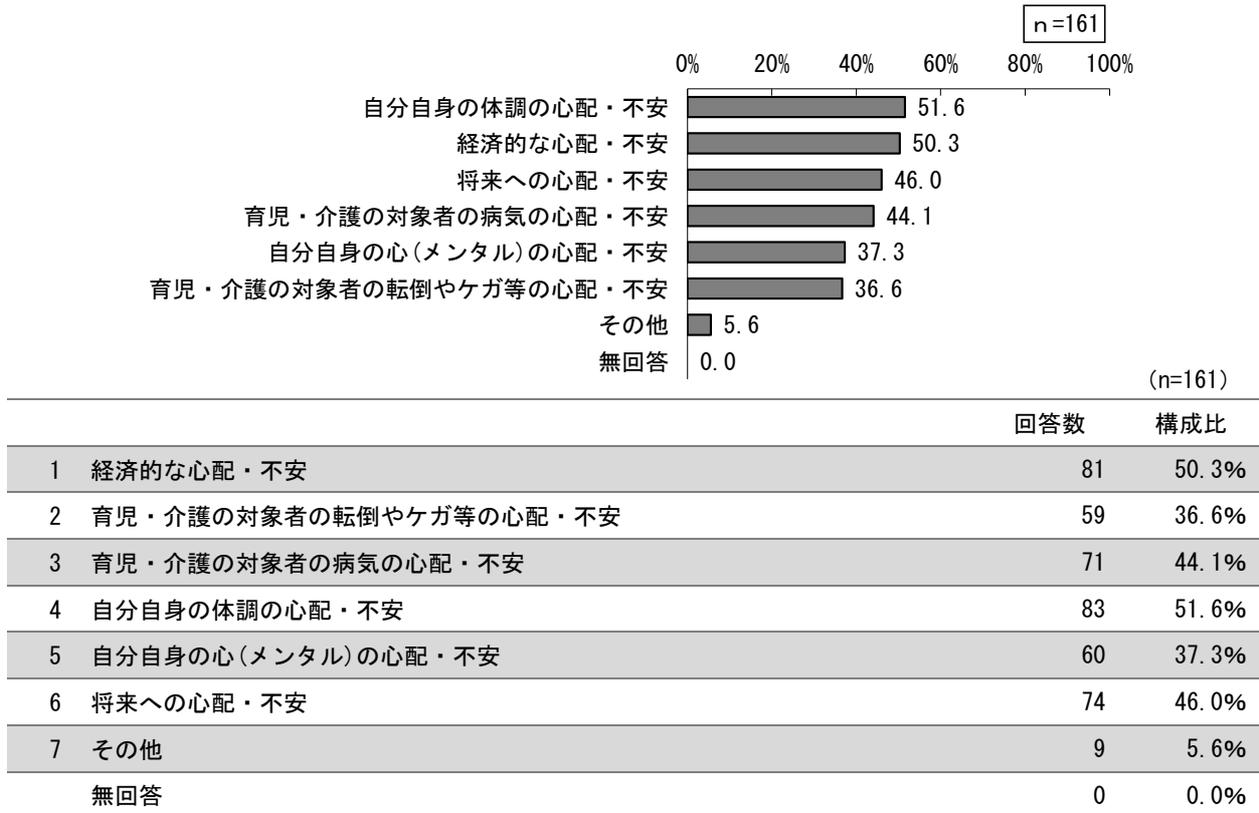
※ “心配・不安がない”：「あまりない」、「まったくない」と回答した方

### (3) 育児・介護において心配・不安に感じる内容

問 「1. とてもある」、「2. ときどきある」と回答した方のみお答えください。  
それはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

○ 前問で「1. とてもある」、「2. ときどきある」と回答した方 (n=161) の育児・介護において心配・不安に感じる内容は、「自分自身の体調の心配・不安」が 51.6%と最も高く、次いで「経済的な心配・不安」(50.3%)、「将来への心配・不安」(46.0%)が上位に挙がっています。

図表 育児・介護において心配・不安に感じる内容



○ 性別による育児・介護において心配・不安に感じる内容をみると、男性は「経済的な心配・不安」、女性は回答全体と同様に「自分自身の体調の心配・不安」が最も高くなっています。

図表 育児・介護において心配・不安に感じる内容 (性別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=50)	経済的な心配・不安 52.0%	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 将来への心配・不安 50.0%	育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安 48.0%
女性 (n=110)	自分自身の体調の心配・不安 59.1%	経済的な心配・不安 50.0%	将来への心配・不安 44.5%

- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「自分自身の体調の心配・不安」、  
「経済的な心配・不安」、「将来への心配・不安」を上位に挙げています。

図表 育児・介護において心配・不安に感じる内容（年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
20歳未満 (n=0)	-	-	-
20～29歳 (n=4)	将来への心配・不安 100.0%	経済的な心配・不安/育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安/自分自身の心(メンタル)の心配・不安 50.0%	
30～39歳 (n=38)	経済的な心配・不安 52.6%	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 将来への心配・不安 50.0%	育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安 39.5%
40～49歳 (n=40)	経済的な心配・不安 67.5%	将来への心配・不安 57.5%	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 42.5%
50～59歳 (n=18)	自分自身の体調の心配・不安 61.1%	経済的な心配・不安 50.0%	育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安/育児・介護の対象者の病気の心配・不安/自分自身の心(メンタル)の心配・不安 38.9%
60～69歳 (n=34)	自分自身の体調の心配・不安 67.6%	自分自身の心(メンタル)の心配・不安 64.7%	経済的な心配・不安 将来への心配・不安 52.9%
70～79歳 (n=17)	自分自身の体調の心配・不安 82.4%	育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安 育児・介護の対象者の病気の心配・不安 70.6%	自分自身の心(メンタル)の心配・不安 23.5%
80歳以上 (n=10)	自分自身の体調の心配・不安 100.0%	育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安 40.0%	経済的な心配・不安/育児・介護の対象者の病気の心配・不安/自分自身の心(メンタル)の心配・不安 20.0%

- 地区ごとの育児・介護において心配・不安に感じる内容をみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「自分自身の体調の心配・不安」、「経済的な心配・不安」、「将来への心配・不安」を上位に挙げているほか、北浦地区では、「育児・介護の対象者の病気の心配・不安」を最上位に挙げています。

図表 育児・介護において心配・不安に感じる内容（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=33)	自分自身の体調の心配・不安 57.6%	経済的な心配・不安 48.5%	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 45.5%
不動堂地区 (n=57)	自分自身の体調の心配・不安 56.1%	経済的な心配・不安 47.4%	将来への心配・不安 45.6%

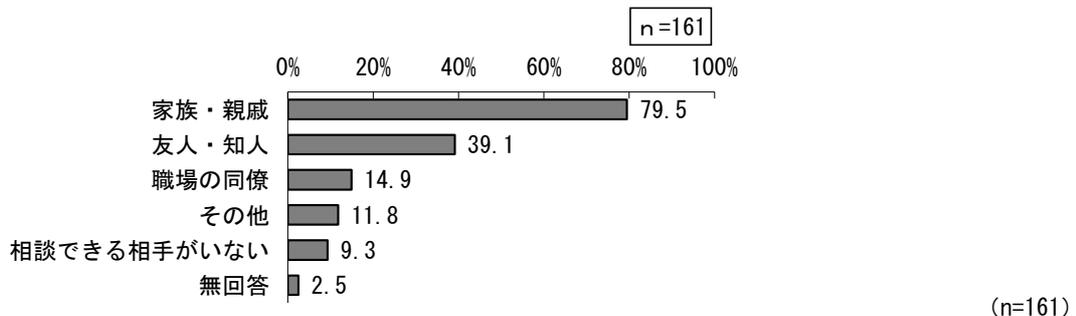
	第1位	第2位	第3位
北浦地区 (n=16)	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 56.3%	自分自身の体調の心配・不安 50.0%	経済的な心配・不安/自分自身の心(メンタル)の心配・不安/将来への心配・不安 43.8%
中埜地区 (n=16)	将来への心配・不安 62.5%	自分自身の体調の心配・不安 56.3%	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 50.0%
青生地区 (n=9)	経済的な心配・不安 66.7%	育児・介護の対象者の転倒やケガ等の心配・不安/自分自身の体調の心配・不安/将来への心配・不安 44.4%	
南郷地区 (n=30)	経済的な心配・不安 60.0%	将来への心配・不安 56.7%	育児・介護の対象者の病気の心配・不安 40.0%

#### (4) 心配・不安に感じていることを相談できる相手

問 「1. とてもある」、「2. ときどきある」と回答した方のみお答えください。  
心配・不安に感じていることを相談できる相手はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 前問で「とてもある」、「ときどきある」と回答した方 (n=161) の心配・不安に感じていることを相談できる相手については、「家族・親戚」が 79.5%と最も高く、次いで「友人・知人」(39.1%)、「職場の同僚」(14.9%)、が上位に挙がっています。
- 「相談できる相手がいない」と回答した方は 9.3%となっています。

図表 心配・不安に感じていることを相談できる相手



	回答数	構成比
1 家族・親戚	128	79.5%
2 友人・知人	63	39.1%
3 職場の同僚	24	14.9%
4 その他	19	11.8%
5 相談できる相手がいない	15	9.3%
無回答	4	2.5%

○ 性別による心配・不安に感じていることを相談できる相手を見ると、男女とも回答全体と同様に、「家族・親戚」が最も高くなっています。

○ 年齢別においても回答全体と同様に、各年齢層で概ね「家族・親戚」、「友人・知人」、「職場の同僚」を上位に挙げています。

図表 心配・不安に感じていることを相談できる相手（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=50)	家族・親戚 80.0%	友人・知人 24.0%	職場の同僚 10.0%
女性 (n=110)	家族・親戚 80.0%	友人・知人 46.4%	職場の同僚 17.3%
20歳未満 (n=0)	-	-	-
20～29歳 (n=4)	家族・親戚 25.0%	-	-
30～39歳 (n=38)	家族・親戚 94.7%	友人・知人 57.9%	職場の同僚 26.3%
40～49歳 (n=40)	家族・親戚 75.0%	友人・知人 50.0%	職場の同僚 25.0%
50～59歳 (n=18)	家族・親戚 83.3%	友人・知人 33.3%	職場の同僚 22.2%
60～69歳 (n=34)	家族・親戚 73.5%	友人・知人 32.4%	-
70～79歳 (n=17)	家族・親戚 76.5%	友人・知人 17.6%	-
80歳以上 (n=10)	家族・親戚 80.0%	友人・知人 10.0%	-

○ 地区ごとの心配・不安に感じていることを相談できる相手を見ると、回答全体と同様に、各地区で「家族・親戚」、「友人・知人」、「職場の同僚」を上位に挙げています。

図表 心配・不安に感じていることを相談できる相手（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=33)	家族・親戚 78.8%	友人・知人 30.3%	職場の同僚 9.1%
不動堂地区 (n=57)	家族・親戚 78.9%	友人・知人 35.1%	職場の同僚 15.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
北浦地区 (n=16)	家族・親戚 81.3%	友人・知人 56.3%	職場の同僚 6.3%
中埜地区 (n=16)	家族・親戚 75.0%	友人・知人 37.5%	職場の同僚 25.0%
青生地区 (n=9)	家族・親戚 88.9%	友人・知人 44.4%	職場の同僚 11.1%
南郷地区 (n=30)	家族・親戚 80.0%	友人・知人 46.7%	職場の同僚 20.0%

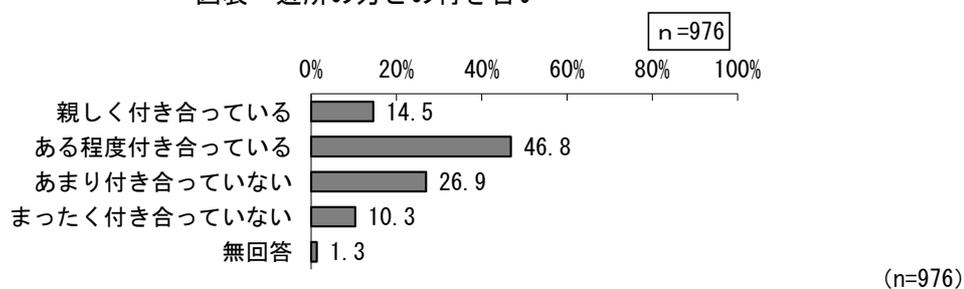
### 3 地域での暮らし・共生社会について

#### (1) 近所の方との付き合い

問 あなたは、日頃、ご近所の方との程度の付き合い方をしていますか。(1つに○)

- 近所の方との付き合いは、「ある程度付き合っている」が46.8%と最も高くなっています。
- 「親しく付き合っている」(14.5%)、「ある程度付き合っている」(46.8%)を合わせた6割(61.3%)の方は“近所の方との付き合いがある”と感じている一方で、「あまり付き合っていない」(26.9%)、「まったく付き合っていない」(10.3%)を合わせた4割弱(37.2%)の方は、“近所の方との付き合いはない”と感じています。

図表 近所の方との付き合い



	回答数	構成比
1 親しく付き合っている	142	14.5%
2 ある程度付き合っている	457	46.8%
3 あまり付き合っていない	263	26.9%
4 まったく付き合っていない	101	10.3%
無回答	13	1.3%

- 性別による近所の方との付き合いをみると、男女とも回答全体と同様に、「ある程度付き合っている」が最も高くなっています。
- 年齢別においても、各年齢層で「ある程度付き合っている」が最も高く、性別や年齢に関わらず、“近所の方との付き合いがある”と感じています。
- 各年齢層の「まったく付き合っていない」と回答した割合は、20歳未満が最も高く、30歳代にかけて低くなり、40歳代で一時高くなるものの、70歳代にかけて再び低くなり、80歳以上では再び高くなっています。

図表 近所の方との付き合い (性別・年齢)

	“近所の方との付き合いがある”		“近所の方との付き合いはない”		無回答
	親しく付き合っている	ある程度付き合っている	あまり付き合っていない	まったく付き合っていない	
男性 (n=424)	15.8%	46.9%	27.4%	9.2%	0.7%
女性 (n=534)	13.9%	46.6%	27.2%	11.4%	0.9%

	“近所の方との付き合いがある”		“近所の方との付き合いはない”		無回答
	親しく 付き合っている	ある程度 付き合っている	あまり 付き合っていない	まったく 付き合っていない	
20歳未満 (n=7)	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
20～29歳 (n=44)	4.5%	25.0%	38.6%	31.8%	0.0%
30～39歳 (n=84)	3.6%	42.9%	39.3%	14.3%	0.0%
40～49歳 (n=124)	7.3%	41.1%	35.5%	15.3%	0.8%
50～59歳 (n=135)	5.2%	46.7%	34.8%	13.3%	0.0%
60～69歳 (n=239)	17.2%	48.1%	28.0%	5.4%	1.3%
70～79歳 (n=196)	24.0%	54.1%	16.3%	4.6%	1.0%
80歳以上 (n=142)	23.2%	52.1%	14.8%	8.5%	1.4%

※ “近所の方との付き合いがある”：「親しく付き合っている」、「ある程度付き合っている」と回答した方

※ “近所の方との付き合いはない”：「あまり付き合っていない」、「まったく付き合っていない」と回答した方

- 地区ごとの近所の方との付き合いをみると、各地区とも回答全体と同様に、「ある程度付き合っている」が最も高くなっています。
- “近所の方との付き合いがある”と回答した割合は中埜地区が、“近所の方との付き合いはない”と回答した割合は不動堂地区が、それぞれ最も高くなっています。

図表 近所の方との付き合い（地区別）

	“近所の方との付き合いがある”		“近所の方との付き合いはない”		無回答
	親しく 付き合っている	ある程度 付き合っている	あまり 付き合っていない	まったく 付き合っていない	
小牛田地区 (n=161)	13.0%	49.7%	23.0%	13.7%	0.6%
不動堂地区 (n=282)	12.4%	42.2%	35.1%	9.6%	0.7%
北浦地区 (n=128)	18.8%	40.6%	27.3%	12.5%	0.8%
中埜地区 (n=88)	17.0%	52.3%	23.9%	5.7%	1.1%
青生地区 (n=84)	4.8%	57.1%	29.8%	7.1%	1.2%
南郷地区 (n=224)	19.2%	48.7%	20.5%	10.7%	0.9%

※ “近所の方との付き合いがある”：「親しく付き合っている」、「ある程度付き合っている」と回答した方

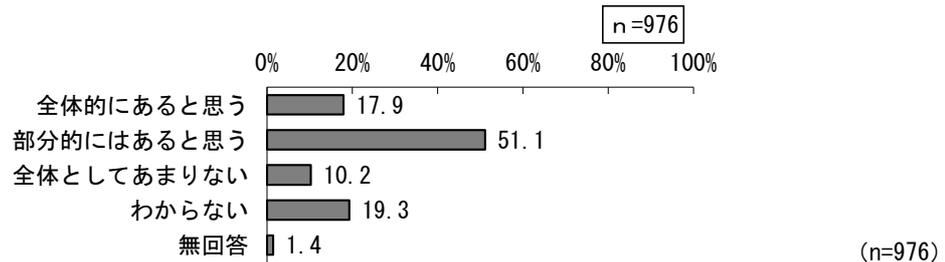
※ “近所の方との付き合いはない”：「あまり付き合っていない」、「まったく付き合っていない」と回答した方

## (2) 地域で助け合う気風について

問 お住まいの地域には、困っている場合に助け合う気風がありますか。(1つに○)

- 地域で助け合う気風については、「部分的にはあると思う」が51.1%と最も高くなっています。
- 「全体的にあると思う」(17.9%)、「部分的にはあると思う」(51.1%)を合わせた約7割(69.0%)の方は“助け合う気風がある”と感じている一方で、「全体としてあまりない」と感じている方は1割(10.2%)となっています。

図表 地域で助け合う気風



	回答数	構成比
1 全体的にあると思う	175	17.9%
2 部分的にはあると思う	499	51.1%
3 全体としてあまりない	100	10.2%
4 わからない	188	19.3%
無回答	14	1.4%

- 性別による地域で助け合う気風をみると、男女とも回答全体と同様に、「部分的にはあると思う」が最も高くなっています。
- 年齢別においても、各年齢層で「部分的にはあると思う」が最も高くなっています。

図表 地域で助け合う気風 (性別・年齢別)

	高 ← 助け合う気風がある → 低				
	全体的にあると思う	部分的にはあると思う	全体としてあまりない	わからない	無回答
男性 (n=424)	20.0%	48.8%	12.0%	18.2%	0.9%
女性 (n=534)	16.5%	53.4%	8.8%	20.4%	0.9%
20歳未満 (n=7)	14.3%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%
20～29歳 (n=44)	9.1%	43.2%	11.4%	36.4%	0.0%
30～39歳 (n=84)	10.7%	52.4%	8.3%	28.6%	0.0%
40～49歳 (n=124)	12.9%	50.8%	11.3%	24.2%	0.8%
50～59歳 (n=135)	12.6%	56.3%	8.9%	22.2%	0.0%

	高 ← 助け合う気風がある → 低				
	全体的にあると思う	部分的にはあると思う	全体としてあまりない	わからない	無回答
60～69 歳 (n=239)	17.6%	53.6%	12.6%	15.9%	0.4%
70～79 歳 (n=196)	25.0%	52.6%	9.2%	11.7%	1.5%
80 歳以上 (n=142)	26.1%	44.4%	9.9%	16.9%	2.8%

※ “助け合う気風がある”：「全体的にあると思う」、「部分的にはあると思う」と回答した方

- 地域ごとの地域で助け合う気風をみると、各地域ともに回答全体と同様に、「部分的にはあると思う」が最も高くなっています。
- 地域ごとに比較すると“助け合う気風がある”と回答した割合は中埜地区が最も高くなっています。

図表 地域で助け合う気風（地区別）

	高 ← 助け合う気風がある → 低				
	全体的にあると思う	部分的にはあると思う	全体としてあまりない	わからない	無回答
小牛田地区 (n=161)	23.6%	46.6%	8.7%	19.3%	1.9%
不動堂地区 (n=282)	14.5%	50.0%	13.1%	22.3%	0.0%
北浦地区 (n=128)	17.2%	53.9%	10.9%	18.0%	0.0%
中埜地区 (n=88)	22.7%	56.8%	6.8%	13.6%	0.0%
青生地区 (n=84)	10.7%	58.3%	10.7%	17.9%	2.4%
南郷地区 (n=224)	20.1%	50.9%	8.5%	18.8%	1.8%

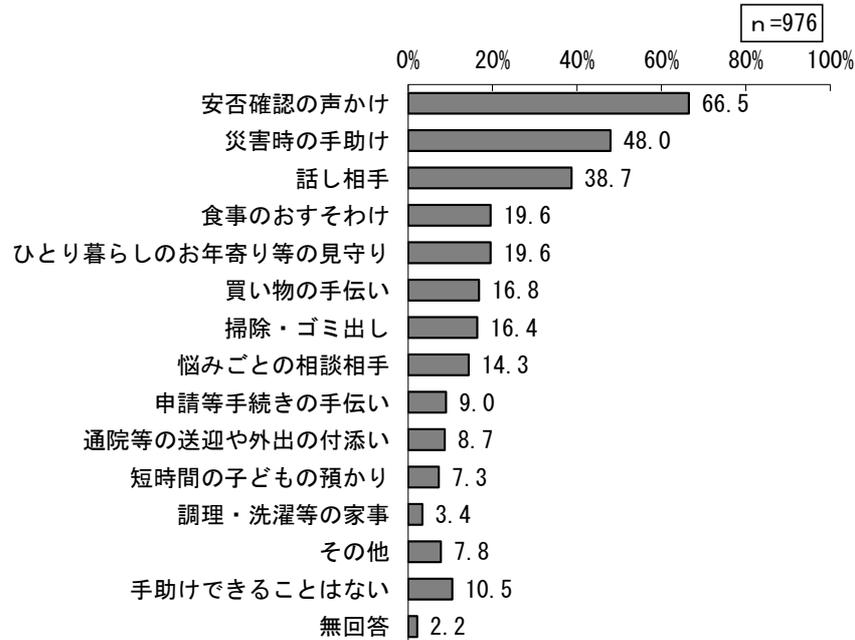
※ “助け合う気風がある”：「全体的にあると思う」、「部分的にはあると思う」と回答した方

### (3) 地域で手助けできること

問 ご近所とのお付き合いの中で、困っている方がいたときに、あなたが「手助けできる」と思うことは、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

○ 地域での手助けできることについては、「安否確認の声かけ」が66.5%と最も高く、次いで「災害時の手助け」(48.0%)、「話し相手」(38.7%)が上位に挙がっています。

図表 地域で手助けできること



(n=976)

	回答数	構成比
1 安否確認の声かけ	649	66.5%
2 話し相手	378	38.7%
3 買い物の手伝い	164	16.8%
4 掃除・ゴミ出し	160	16.4%
5 調理・洗濯等の家事	33	3.4%
6 食事のおすそわけ	191	19.6%
7 悩みごとの相談相手	140	14.3%
8 通院等の送迎や外出の付添い	85	8.7%
9 短時間の子どもの預かり	71	7.3%
10 ひとり暮らしのお年寄り等の見守り	191	19.6%
11 申請等手続きの手伝い	88	9.0%
12 災害時の手助け	468	48.0%
13 その他	76	7.8%
14 手助けできることはない	102	10.5%
無回答	21	2.2%

- 性別・年齢による地域での手助けできることをみると、男女ともに“手助けできることがある”と回答した割合は8割以上を占め、各年齢においても“手助けできることがある”と回答した割合が“手助けできることはない”と回答した割合を上回っています。
- 手助けできる内容では、男女とも回答全体と同様に、「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。
- 年齢別による手助けできる内容をみると、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「安否確認の声かけ」、「災害時の手助け」、「話し相手」を上位に挙げています。

図表 地域での手助けできること（性別・年齢別）

	“手助けできることがある”	“手助けできることはない”	無回答
男性 (n=424)	89.6%	9.2%	1.2%
女性 (n=534)	86.9%	10.9%	2.2%
20歳未満 (n=7)	71.4%	28.6%	0.0%
20～29歳 (n=44)	88.6%	11.4%	0.0%
30～39歳 (n=84)	94.0%	6.0%	0.0%
40～49歳 (n=124)	87.1%	11.3%	1.6%
50～59歳 (n=135)	93.4%	5.9%	0.7%
60～69歳 (n=239)	92.5%	6.7%	0.8%
70～79歳 (n=196)	91.4%	6.6%	2.0%
80歳以上 (n=142)	66.2%	27.5%	6.3%

※ “手助けできることがある”：選択肢 1～13 のいずれかに回答した方

※ “手助けできることはない”：選択肢 14 「手助けできることはない」と回答した方

図表 地域での手助けできる内容（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=424)	安否確認の声かけ 70.3%	災害時の手助け 58.7%	話し相手 33.0%
女性 (n=534)	安否確認の声かけ 64.4%	話し相手 43.6%	災害時の手助け 40.8%
20歳未満 (n=7)	話し相手 災害時の手助け 57.1%	安否確認の声かけ/食事のおすそわけ/悩みごとの相談相手/ 通院等の送迎や外出の付添い/短時間の子どもの預かり/ ひとり暮らしのお年寄り等の見守り 14.3%	
20～29歳 (n=44)	災害時の手助け 59.1%	安否確認の声かけ 52.3%	話し相手 29.5%

	第1位	第2位	第3位
30～39歳 (n=84)	安否確認の声かけ 69.0%	災害時の手助け 61.9%	話し相手 44.0%
40～49歳 (n=124)	安否確認の声かけ 74.2%	災害時の手助け 52.4%	話し相手 40.3%
50～59歳 (n=135)	安否確認の声かけ 75.6%	災害時の手助け 57.0%	話し相手 28.1%
60～69歳 (n=239)	安否確認の声かけ 73.2%	災害時の手助け 54.0%	話し相手 33.9%
70～79歳 (n=196)	安否確認の声かけ 72.4%	話し相手 47.4%	災害時の手助け 44.9%
80歳以上 (n=142)	話し相手 42.3%	安否確認の声かけ 38.0%	災害時の手助け 19.0%

- 地区ごとの地域での手助けできることをみると、各地区ともに“手助けできることがある”が8割以上を占めています。
- 手助けできる内容では、回答全体と同様に、各地区ともに「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。

図表 地域での手助けできること（地区別）

	“手助けできることがある”	“手助けできることはない”	無回答
小牛田地区 (n=161)	87.6%	11.8%	0.6%
不動堂地区 (n=282)	91.1%	8.5%	0.4%
北浦地区 (n=128)	89.1%	8.6%	2.3%
中埜地区 (n=88)	86.4%	12.5%	1.1%
青生地区 (n=84)	86.9%	7.1%	6.0%
南郷地区 (n=224)	83.1%	13.8%	3.1%

※ “手助けできることがある”：選択肢 1～13 のいずれかに回答した方

※ “手助けできることはない”：選択肢 14 「手助けできることはない」と回答した方

図表 地域での手助けできる内容（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	安否確認の声かけ 67.1%	災害時の手助け 49.7%	話し相手 38.5%

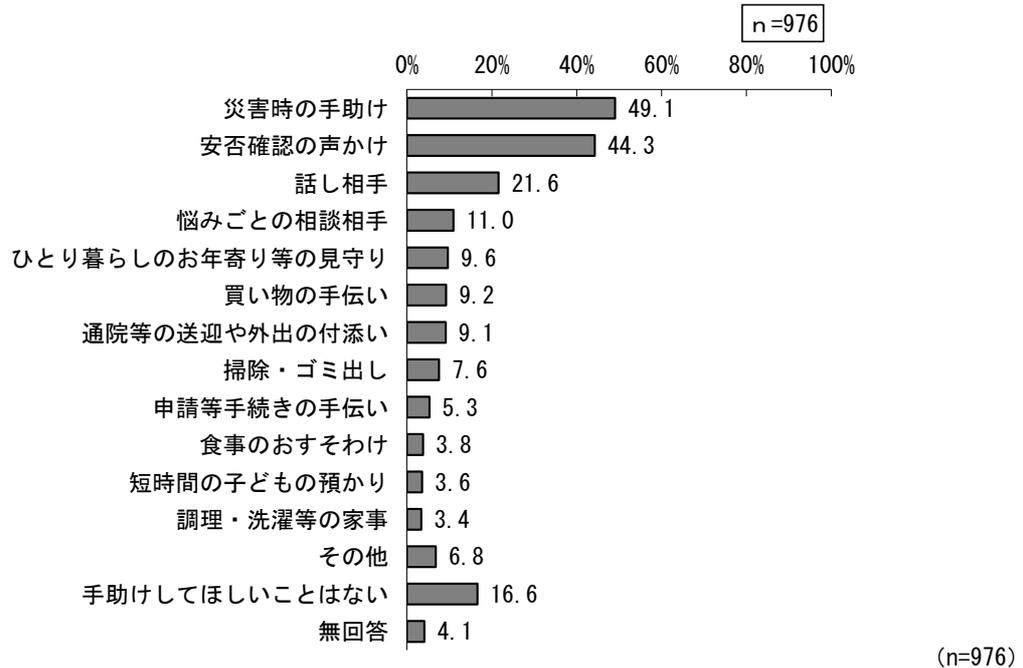
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
不動堂地区 (n=282)	安否確認の声かけ 69.1%	災害時の手助け 49.6%	話し相手 41.5%
北浦地区 (n=128)	安否確認の声かけ 71.1%	災害時の手助け 49.2%	話し相手 28.9%
中埜地区 (n=88)	安否確認の声かけ 69.3%	災害時の手助け 47.7%	話し相手 46.6%
青生地区 (n=84)	安否確認の声かけ 73.8%	災害時の手助け 40.5%	話し相手 29.8%
南郷地区 (n=224)	安否確認の声かけ 57.6%	災害時の手助け 48.7%	話し相手 41.1%

## (4) 困ったときに手助けしてほしいこと

問 ご近所とのお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が困ったときに、「手助けしてほしい」と思うことは、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 困ったときに手助けしてほしいことについては、「災害時の手助け」が 49.1%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ」(44.3%)、「話し相手」(21.6%)が上位に挙がっています。

図表 困ったときに手助けしてほしいこと



	回答数	構成比
1 安否確認の声かけ	432	44.3%
2 話し相手	211	21.6%
3 買い物の手伝い	90	9.2%
4 掃除・ゴミ出し	74	7.6%
5 調理・洗濯等の家事	33	3.4%
6 食事のおすそわけ	37	3.8%
7 悩みごとの相談相手	107	11.0%
8 通院等の送迎や外出の付添い	89	9.1%
9 短時間の子どもの預かり	35	3.6%
10 ひとり暮らしのお年寄り等の見守り	94	9.6%
11 申請等手続きの手伝い	52	5.3%
12 災害時の手助け	479	49.1%
13 その他	66	6.8%
14 手助けしてほしいことはない	162	16.6%
無回答	40	4.1%

- 性別・年齢による困ったときに手助けしてほしいことをみると、“手助けしてほしいことがある”と回答した割合は男性では8割弱、女性では8割を占め、各年齢においても“手助けしてほしいことがある”と回答した割合が“手助けしてほしいことはない”と回答した割合を上回っています。
- 手助けしてほしい内容では、男女とも回答全体と同様に、「災害時の手助け」を、年齢別にみると、50歳代と70歳代ではともに「安否確認の声かけ」を最上位に挙げています。

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（性別・年齢別）

	“手助けしてほしいことがある” “手助けしてほしいことはない”		無回答
男性 (n=424)	78.6%	18.6%	2.8%
女性 (n=534)	80.7%	15.2%	4.1%
20歳未満 (n=7)	42.9%	57.1%	0.0%
20～29歳 (n=44)	75.0%	25.0%	0.0%
30～39歳 (n=84)	78.6%	21.4%	0.0%
40～49歳 (n=124)	78.2%	19.4%	2.4%
50～59歳 (n=135)	80.7%	17.8%	1.5%
60～69歳 (n=239)	79.1%	16.7%	4.2%
70～79歳 (n=196)	84.2%	11.2%	4.6%
80歳以上 (n=142)	77.4%	13.4%	9.2%

※ “手助けしてほしいことがある”：選択肢 1～13 のいずれかに回答した方

※ “手助けしてほしいことはない”：選択肢 14 「手助けしてほしいことはない」と回答した方

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=424)	災害時の手助け 52.6%	安否確認の声かけ 45.5%	話し相手 20.0%
女性 (n=534)	災害時の手助け 47.6%	安否確認の声かけ 44.0%	話し相手 22.7%
20歳未満 (n=7)	災害時の手助け 42.9%	安否確認の声かけ 28.6%	ひとり暮らしのお年寄り等の見守り 14.3%
20～29歳 (n=44)	災害時の手助け 56.8%	安否確認の声かけ 52.3%	話し相手 20.5%

	第1位	第2位	第3位
30～39歳 (n=84)	災害時の手助け 58.3%	安否確認の声かけ 36.9%	短時間の子どもの預かり 19.0%
40～49歳 (n=124)	災害時の手助け 50.0%	安否確認の声かけ 41.9%	話し相手 23.4%
50～59歳 (n=135)	安否確認の声かけ 50.4%	災害時の手助け 48.9%	話し相手 16.3%
60～69歳 (n=239)	災害時の手助け 51.9%	安否確認の声かけ 42.3%	話し相手 21.8%
70～79歳 (n=196)	安否確認の声かけ 51.5%	災害時の手助け 45.4%	話し相手 23.0%
80歳以上 (n=142)	災害時の手助け 42.3%	安否確認の声かけ 37.3%	話し相手 31.0%

- 地区ごとの困ったときに手助けしてほしいことをみると、各地区ともに“手助けしてほしいことがある”が8割以上または8割弱を占めています。
- 手助けしてほしい内容では、回答全体と同様に、各地区ともに「災害時の手助け」が最も高くなっています。

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（地区別）

	“手助けしてほしいことがある”	“手助けしてほしいことはない”	無回答
小牛田地区 (n=161)	78.3%	18.6%	3.1%
不動堂地区 (n=282)	82.3%	16.3%	1.4%
北浦地区 (n=128)	79.7%	18.0%	2.3%
中埜地区 (n=88)	77.3%	18.2%	4.5%
青生地区 (n=84)	73.8%	17.9%	8.3%
南郷地区 (n=224)	79.4%	14.3%	6.3%

※ “手助けしてほしいことがある”：選択肢 1～13 のいずれかに回答した方

※ “手助けしてほしいことはない”：選択肢 14 「手助けしてほしいことはない」と回答した方

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（地区別：上位3項目）

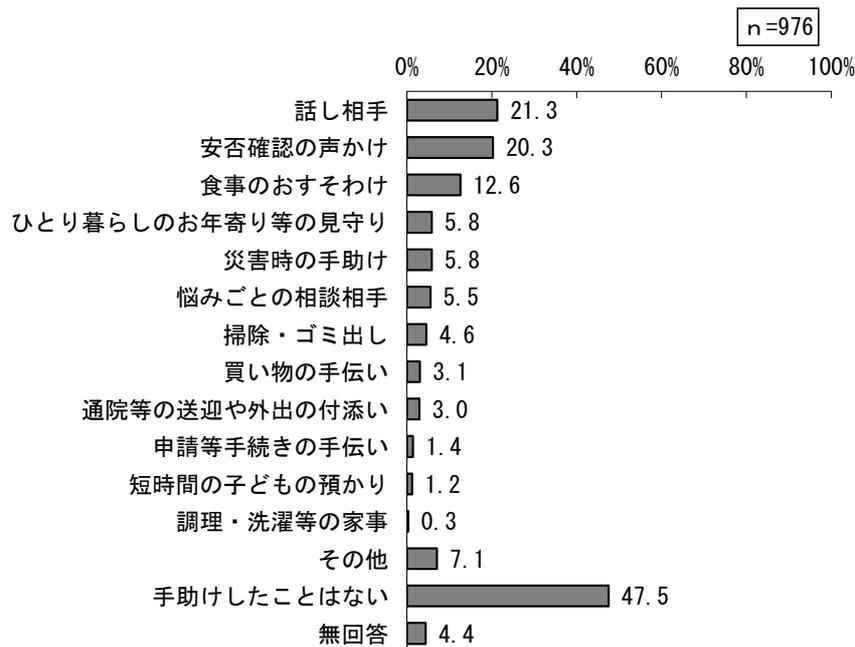
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	災害時の手助け 45.3%	安否確認の声かけ 44.7%	話し相手 24.2%
不動堂地区 (n=282)	災害時の手助け 49.6%	安否確認の声かけ 47.9%	話し相手 21.6%
北浦地区 (n=128)	災害時の手助け 44.5%	安否確認の声かけ 43.8%	話し相手 19.5%
中埜地区 (n=88)	災害時の手助け 56.8%	安否確認の声かけ 47.7%	話し相手 28.4%
青生地区 (n=84)	災害時の手助け 47.6%	安否確認の声かけ 42.9%	話し相手 17.9%
南郷地区 (n=224)	災害時の手助け 52.2%	安否確認の声かけ 39.3%	話し相手 19.6%

## (5) 過去1年以内に手助けしたこと

問 過去1年以内に、ご近所とのお付き合いの中で、あなたが「手助けしたこと」には、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

○ ご近所とのお付き合いの中で、過去1年以内に手助けしたことについては、「話し相手」が21.3%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ」(20.3%)、「食事のおすそわけ」(12.6%)が上位に挙がっています。

図表 過去1年以内に手助けしたこと



(n=976)

	回答数	構成比
1 安否確認の声かけ	198	20.3%
2 話し相手	208	21.3%
3 買い物の手伝い	30	3.1%
4 掃除・ゴミ出し	45	4.6%
5 調理・洗濯等の家事	3	0.3%
6 食事のおすそわけ	123	12.6%
7 悩みごとの相談相手	54	5.5%
8 通院等の送迎や外出の付添い	29	3.0%
9 短時間の子どもの預かり	12	1.2%
10 ひとり暮らしのお年寄り等の見守り	57	5.8%
11 申請等手続きの手伝い	14	1.4%
12 災害時の手助け	57	5.8%
13 その他	69	7.1%
14 手助けしたことはない	464	47.5%
無回答	43	4.4%

- 性別・年齢による過去1年以内に手助けしたことをみると、“過去1年以内に手助けをしていない”と回答した割合は男性では5割、女性では5割半を占め、各年齢においては“過去1年以内に手助けをしていない”と回答した割合が“過去1年以内に手助けをした”と回答した割合を上回っています。
- 手助けした内容では、男性では「安否確認の声かけ」、女性では「話し相手」が最も高くなっています。
- 年齢別による手助けした内容では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「話し相手」、「安否確認の声かけ」、「食事のおすそわけ」を上位に挙げています。

図表 過去1年以内に手助けしたこと（性別・年齢別）

	“過去1年以内に手助けをした”	“過去1年以内に手助けをしていない”	無回答
男性 (n=424)	50.9%	46.0%	3.1%
女性 (n=534)	45.8%	49.3%	4.9%
20歳未満 (n=7)	14.3%	85.7%	0.0%
20～29歳 (n=44)	29.5%	70.5%	0.0%
30～39歳 (n=84)	46.4%	52.4%	1.2%
40～49歳 (n=124)	33.1%	64.5%	2.4%
50～59歳 (n=135)	39.2%	59.3%	1.5%
60～69歳 (n=239)	54.0%	42.7%	3.3%
70～79歳 (n=196)	63.8%	29.6%	6.6%
80歳以上 (n=142)	46.4%	44.4%	9.2%

※ “過去1年以内に手助けをした”：選択肢1～13のいずれかに回答した方

※ “過去1年以内に手助けをしていない”：選択肢14「手助けしたことはない」と回答した方

図表 過去1年以内に手助けした内容（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=424)	安否確認の声かけ 22.4%	話し相手 18.4%	災害時の手助け 9.2%
女性 (n=534)	話し相手 23.4%	安否確認の声かけ 18.4%	食事のおすそわけ 16.7%
20歳未満 (n=7)	食事のおすそわけ 14.3%	-	-
20～29歳 (n=44)	話し相手 15.9%	安否確認の声かけ 6.8%	買い物の手伝い/掃除・ゴミ出し/悩みごとの相談相手/災害時の手助け 2.3%

	第1位	第2位	第3位
30～39歳 (n=84)	話し相手 28.6%	食事のおすそわけ 11.9%	安否確認の声かけ 8.3%
40～49歳 (n=124)	話し相手 17.7%	安否確認の声かけ 12.1%	食事のおすそわけ 6.5%
50～59歳 (n=135)	安否確認の声かけ 17.0%	話し相手 13.3%	食事のおすそわけ 12.6%
60～69歳 (n=239)	安否確認の声かけ 23.4%	話し相手 18.4%	食事のおすそわけ 13.8%
70～79歳 (n=196)	安否確認の声かけ 32.7%	話し相手 27.6%	食事のおすそわけ 18.9%
80歳以上 (n=142)	話し相手 26.1%	安否確認の声かけ 20.4%	食事のおすそわけ 11.3%

○ 地区ごとの過去1年以内に手助けしたことをみると、各地区ともに“過去1年以内に手助けをした”が4割以上を占め、と回答しています。

○ 手助けした内容では、回答全体と同様に、各地区で概ね「話し相手」、「安否確認の声かけ」、「食事のおすそわけ」を上位に挙げています。

図表 過去1年以内に手助けしたこと（地区別）

	“過去1年以内に手助けをした”	“過去1年以内に手助けをしていない”	無回答
小牛田地区 (n=161)	49.1%	47.2%	3.7%
不動堂地区 (n=282)	44.0%	53.9%	2.1%
北浦地区 (n=128)	46.1%	52.3%	1.6%
中埜地区 (n=88)	47.7%	48.9%	3.4%
青生地区 (n=84)	58.4%	32.1%	9.5%
南郷地区 (n=224)	49.1%	44.2%	6.7%

※ “過去1年以内に手助けをした”：選択肢1～13のいずれかに回答した方

※ “過去1年以内に手助けをしていない”：選択肢14「手助けしたことはない」と回答した方

図表 過去1年以内に手助けした内容（地区別：上位3項目）

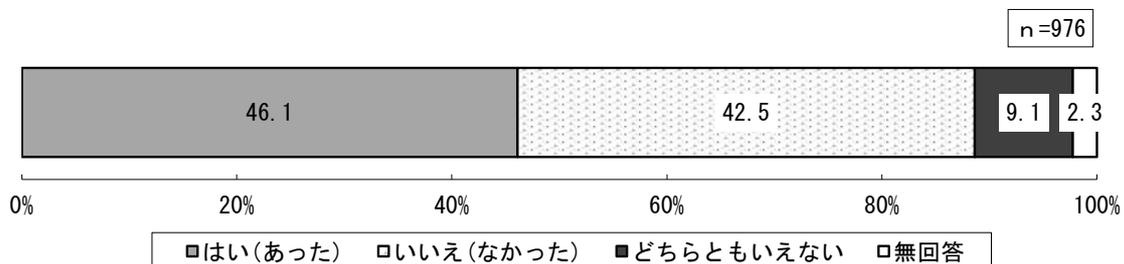
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	話し相手 21.7%	安否確認の声かけ 20.5%	食事のおすそわけ 15.5%
不動堂地区 (n=282)	話し相手 22.7%	安否確認の声かけ 18.1%	食事のおすそわけ 11.0%
北浦地区 (n=128)	安否確認の声かけ 25.8%	話し相手 20.3%	食事のおすそわけ 悩みごとの相談相手 7.0%
中埜地区 (n=88)	安否確認の声かけ 15.9%	話し相手 14.8%	食事のおすそわけ 11.4%
青生地区 (n=84)	安否確認の声かけ 31.0%	話し相手 19.0%	食事のおすそわけ 13.1%
南郷地区 (n=224)	話し相手 22.3%	安否確認の声かけ 17.4%	食事のおすそわけ 15.6%

## （6）これまでに障害のある方と接する機会

問 あなたはこれまでに障害のある方と接する機会がありましたか。（1つに○）

- これまでに障害のある方と接する機会は、「はい（あった）」が46.1%、「いいえ（なかった）」が42.5%となっています。
- 「どちらともいえない」と回答した割合は9.1%となっています。

図表 これまでに障害のある方と接する機会



	回答数	構成比
1 はい(あった)	450	46.1%
2 いいえ(なかった)	415	42.5%
3 どちらともいえない	89	9.1%
無回答	22	2.3%

(n=976)

- 性別によるこれまでに障害のある方と接する機会をみると、「はい(あった)」と回答した割合は、男性では43.9%、女性では48.7%と、性別間で差が大きくはみられません。
- 年齢別の「はい(あった)」と回答した割合は、30歳代の60.7%が最も高く、次いで40歳代(58.1%)、20歳未満(57.1%)が上位に挙がっています。

図表 これまでに障害のある方と接する機会（性別・年齢別）

	はい (あった)	いいえ (なかった)	どちらともいえない	無回答
男性(n=424)	43.9%	46.0%	9.0%	1.2%
女性(n=534)	48.7%	39.7%	9.2%	2.4%
20歳未満(n=7)	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
20～29歳(n=44)	54.5%	43.2%	2.3%	0.0%
30～39歳(n=84)	60.7%	27.4%	11.9%	0.0%
40～49歳(n=124)	58.1%	33.9%	8.1%	0.0%
50～59歳(n=135)	52.6%	36.3%	11.1%	0.0%
60～69歳(n=239)	47.7%	42.7%	7.9%	1.7%
70～79歳(n=196)	37.2%	47.4%	12.2%	3.1%
80歳以上(n=142)	28.2%	57.7%	7.0%	7.0%

- 地区別の「はい(あった)」と回答した割合は、小牛田地区の48.4%が最も高く、次いで南郷地区(47.8%)、不動堂地区(46.5%)が上位に挙がっています。

図表 これまでに障害のある方と接する機会（地域別）

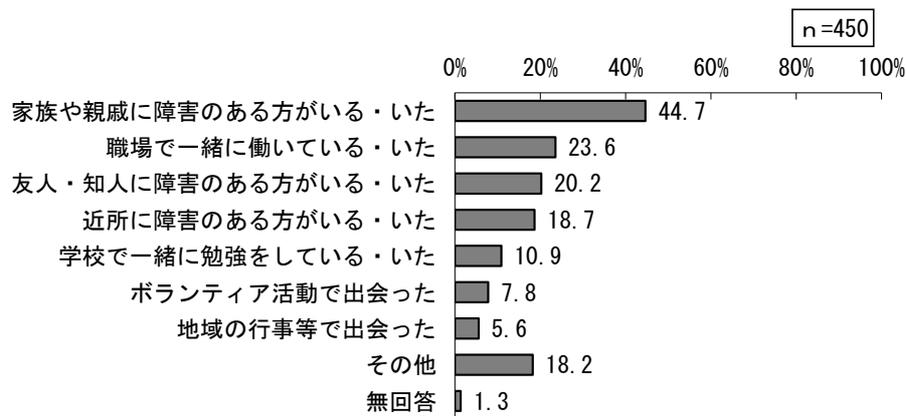
	はい (あった)	いいえ (なかった)	どちらともいえない	無回答
小牛田地区(n=161)	48.4%	42.2%	8.7%	0.6%
不動堂地区(n=282)	46.5%	42.6%	9.9%	1.1%
北浦地区(n=128)	43.0%	44.5%	10.2%	2.3%
中埜地区(n=88)	40.9%	44.3%	9.1%	5.7%
青生地区(n=84)	46.4%	44.0%	7.1%	2.4%
南郷地区(n=224)	47.8%	41.1%	8.5%	2.7%

## (7) 障害のある方と接するきっかけ

問 前問で「1. はい（あった）」と回答した方のみお答えください。  
そのきっかけはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

- 前問で「はい（あった）」と回答した方（n=450）の障害のある方と接するきっかけについては、「家族や親戚に障害のある方がいる・いた」が44.7%と最も高く、次いで「職場で一緒に働いている・いた」（23.6%）、「友人・知人に障害のある方がいる・いた」（20.2%）が上位に挙がっています。

図表 障害のある方と接するきっかけ



	回答数	構成比
1 家族や親戚に障害のある方がいる・いた	201	44.7%
2 友人・知人に障害のある方がいる・いた	91	20.2%
3 学校で一緒に勉強をしている・いた	49	10.9%
4 職場で一緒に働いている・いた	106	23.6%
5 近所に障害のある方がいる・いた	84	18.7%
6 ボランティア活動で出会った	35	7.8%
7 地域の行事等で出会った	25	5.6%
8 その他	82	18.2%
無回答	6	1.3%

- 性別による障害のある方と接するきっかけをみると、男女とも回答全体と同様に、「家族や親戚に障害のある方がいる・いた」が最も高くなっています。
- 年齢別では、20歳代では「学校で一緒に勉強をしている・いた」、20歳未満、30歳代では「学校で一緒に勉強をしている・いた」と「家族や親戚に障害のある方がいる・いた」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では「家族や親戚に障害のある方がいる・いた」が最も高くなっています。

図表 障害のある方と接するきっかけ（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=186)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 41.4%	職場で一緒に働いて いる・いた 26.3%	近所に障害のある方が いる・いた 19.9%
女性 (n=260)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 46.5%	友人・知人に障害のある方 がいる・いた 22.7%	職場で一緒に働いて いる・いた 21.5%
20歳未満 (n=4)	家族や親戚に障害のある方がいる・いた 学校で一緒に勉強をしている・いた 50.0%		ボランティア活動で 出会った 25.0%
20～29歳 (n=24)	学校で一緒に勉強をして いる・いた 41.7%	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 29.2%	友人・知人に障害のある方 がいる・いた 20.8%
30～39歳 (n=51)	家族や親戚に障害のある方がいる・いた 学校で一緒に勉強をしている・いた 35.3%		職場で一緒に働いて いる・いた 33.3%
40～49歳 (n=72)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 45.8%	職場で一緒に働いて いる・いた 29.2%	友人・知人に障害のある方が いる・いた 12.5%
50～59歳 (n=71)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 47.9%	職場で一緒に働いて いる・いた 32.4%	近所に障害のある方が いる・いた 19.7%
60～69歳 (n=114)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 45.6%	職場で一緒に働いて いる・いた 28.9%	近所に障害のある方が いる・いた 21.9%
70～79歳 (n=73)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 47.9%	近所に障害のある方が いる・いた 31.5%	友人・知人に障害のある方が いる・いた 23.3%
80歳以上 (n=40)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 47.5%	友人・知人に障害のある方が いる・いた 25.0%	近所に障害のある方が いる・いた 22.5%

○ 地区ごとの障害のある方と接するきっかけをみると、各地区とも回答全体と同様に、「家族や親戚に障害のある方がいる・いた」が最も高くなっています。

図表 障害のある方と接するきっかけ（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=78)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 47.4%	職場で一緒に働いて いる・いた 29.5%	友人・知人に障害のある方がいる・いた 近所に障害のある方がいる・いた 16.7%
不動堂地区 (n=131)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 41.2%	職場で一緒に働いて いる・いた 27.5%	友人・知人に障害のある方 がいる・いた 21.4%

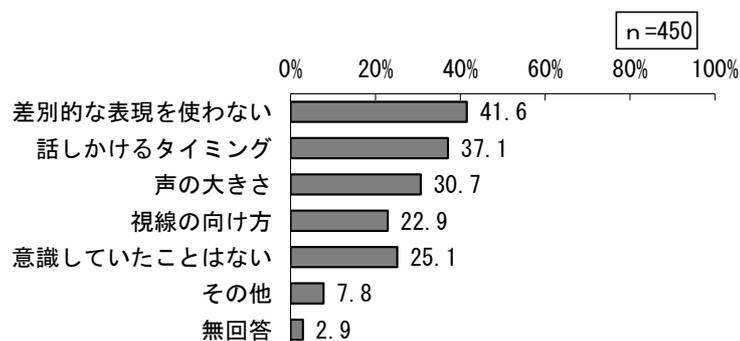
	第1位	第2位	第3位
北浦地区 (n=55)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 41.8%	近所に障害のある方が いる・いた 25.5%	友人・知人に障害のある方 がいる・いた 21.8%
中埜地区 (n=36)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 58.3%	友人・知人に障害のある方が いる・いた 25.0%	学校と一緒に勉強をしている・いた 近所に障害のある方がいる・いた 19.4%
青生地区 (n=39)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 33.3%	近所に障害のある方が いる・いた 25.6%	友人・知人に障害のある方がいる・いた 職場と一緒に働いている・いた 20.5%
南郷地区 (n=107)	家族や親戚に障害のある方が いる・いた 46.7%	職場と一緒に働いて いる・いた 22.4%	近所に障害のある方が いる・いた 19.6%

## (8) 障害のある方と接する中で意識していたこと

問 前問で「1. はい (あった)」と回答した方のみお答えください。  
障害のある方と接する中でどのようなことを意識していましたか。(あてはまるもの  
すべてに○)

○ 前問で「はい (あった)」と回答した方 (n=450) の障害のある方と接する中で意識  
していたことについては、「差別的な表現を使わない」が 41.6%と最も高く、次い  
で「話しかけるタイミング」(37.1%)、「声の大きさ」(30.7%) が上位に挙がって  
います。

図表 障害のある方と接する中で意識していたこと



	回答数	構成比
1 声の大きさ	138	30.7%
2 話しかけるタイミング	167	37.1%
3 視線の向け方	103	22.9%
4 差別的な表現を使わない	187	41.6%
5 意識していたことはない	113	25.1%
6 その他	35	7.8%
無回答	13	2.9%

- 性別による障害のある方と接する中で意識していたことをみると、男女とも回答全体と同様に、「差別的な表現を使わない」が最も高くなっています。
- 年齢別では、20歳代では「声の大きさ」、50歳代、60歳代、80歳以上では「話しかけるタイミング」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では回答全体と同様に、「差別的な表現を使わない」が最も高くなっています。

図表 障害のある方と接する中で意識していたこと（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=186)	差別的な表現を使わない 37.6%	話しかけるタイミング 31.2%	声の大きさ 25.8%
女性 (n=260)	差別的な表現を使わない 44.2%	話しかけるタイミング 40.8%	声の大きさ 34.2%
20歳未満 (n=4)	差別的な表現を使わない 50.0%	話しかけるタイミング 25.0%	- -
20～29歳 (n=24)	声の大きさ 54.2%	差別的な表現を使わない 41.7%	視線の向け方 37.5%
30～39歳 (n=51)	差別的な表現を使わない 47.1%	声の大きさ 視線の向け方 31.4%	話しかけるタイミング 29.4%
40～49歳 (n=72)	差別的な表現を使わない 36.1%	声の大きさ 31.9%	視線の向け方 27.8%
50～59歳 (n=71)	話しかけるタイミング 53.5%	差別的な表現を使わない 42.3%	声の大きさ 32.4%
60～69歳 (n=114)	話しかけるタイミング 36.8%	差別的な表現を使わない 36.0%	声の大きさ 32.5%
70～79歳 (n=73)	差別的な表現を使わない 49.3%	話しかけるタイミング 38.4%	声の大きさ 20.5%
80歳以上 (n=40)	話しかけるタイミング 45.0%	差別的な表現を使わない 42.5%	声の大きさ 25.0%

- 地区ごとの障害のある方と接する中で意識していたことをみると、各地区とも回答全体と同様に、「差別的な表現を使わない」が最も高くなっています。

図表 障害のある方と接する中で意識していたこと（地区別：上位3項目）

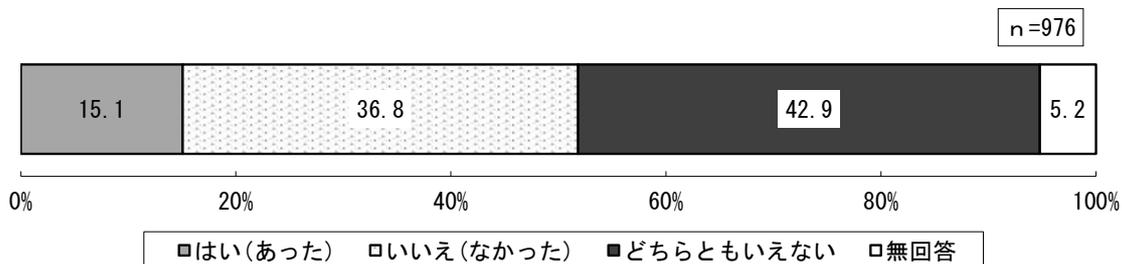
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=78)	差別的な表現を使わない 43.6%	声の大きさ 41.0%	話しかけるタイミング 35.9%
不動堂地区 (n=131)	差別的な表現を使わない 46.6%	話しかけるタイミング 40.5%	声の大きさ 32.8%
北浦地区 (n=55)	差別的な表現を使わない 36.4%	話しかけるタイミング 29.1%	声の大きさ 視線の向け方 14.5%
中埜地区 (n=36)	差別的な表現を使わない 38.9%	話しかけるタイミング 36.1%	声の大きさ 30.6%
青生地区 (n=39)	差別的な表現を使わない 38.5%	話しかけるタイミング 35.9%	声の大きさ 28.2%
南郷地区 (n=107)	差別的な表現を使わない 38.3%	話しかけるタイミング 37.4%	声の大きさ 28.0%

## (9) 障害のある方への差別・偏見について

問 国や県、美里町では、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らす「共生社会」を目指しています。あなたは身近な暮らしの中に障害のある方への差別・偏見があると思いますか。(1つに○)

- 障害のある方への差別・偏見については、「はい(あった)」が15.1%、「いいえ(なかった)」が36.8%となっています。
- 「どちらともいえない」と回答した割合は42.9%となっています。

図表 障害のある方への差別・偏見について



(n=976)		
	回答数	構成比
1 はい(あった)	147	15.1%
2 いいえ(なかった)	359	36.8%
3 どちらともいえない	419	42.9%
無回答	51	5.2%

- 性別による障害のある方への差別・偏見をみると、「はい(あった)」と回答した割合は、男性では15.8%、女性では14.4%と、性別間で差が大きくはみられません。
- 年齢別の「はい(あった)」と回答した割合は、30歳代の26.2%が最も高く、次いで40歳代(21.0%)、20歳代(20.5%)が上位に挙がっています。

図表 障害のある方への差別・偏見について(性別・年齢別)

	はい(あった)	いいえ(なかった)	どちらともいえない	無回答
男性(n=424)	15.8%	39.9%	40.8%	3.5%
女性(n=534)	14.4%	34.1%	45.5%	6.0%
20歳未満(n=7)	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
20~29歳(n=44)	20.5%	34.1%	40.9%	4.5%
30~39歳(n=84)	26.2%	28.6%	44.0%	1.2%
40~49歳(n=124)	21.0%	36.3%	41.1%	1.6%
50~59歳(n=135)	14.8%	31.9%	52.6%	0.7%

	はい (あった)	いいえ (なかった)	どちらともいえない	無回答
60～69 歳 (n=239)	18.8%	29.3%	48.5%	3.3%
70～79 歳 (n=196)	7.7%	43.4%	41.8%	7.1%
80 歳以上 (n=142)	6.3%	50.0%	28.9%	14.8%

○ 地区別の「はい(あった)」と回答した割合は、小牛田地区の 17.4%が最も高く、次いで中埜地区 (17.0%)、不動堂地区 (16.3%) が上位に挙がっています。

図表 障害のある方への差別・偏見について (地域別)

	はい (あった)	いいえ (なかった)	どちらともいえない	無回答
小牛田地区 (n=161)	17.4%	35.4%	43.5%	3.7%
不動堂地区 (n=282)	16.3%	37.9%	41.8%	3.9%
北浦地区 (n=128)	14.8%	32.8%	47.7%	4.7%
中埜地区 (n=88)	17.0%	39.8%	37.5%	5.7%
青生地区 (n=84)	10.7%	28.6%	51.2%	9.5%
南郷地区 (n=224)	12.1%	41.1%	41.1%	5.8%

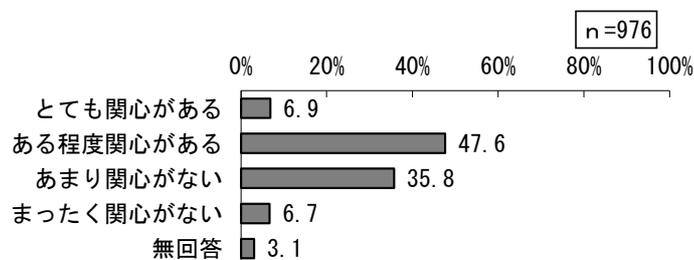
## 4 地域活動について

### (1) 地域活動への関心

問 あなたは、地域福祉に関するボランティアやNPO活動、地域活動に関心がありますか。  
(1つに○)

- 地域活動への関心については、「ある程度関心がある」が47.6%と最も高くなっています。
- 「とても関心がある」(6.9%)、「ある程度関心がある」(47.6%)を合わせた5割(54.5%)の方は“関心がある”と感じている一方で、「あまり関心がない」(35.8%)、「まったく関心がない」(6.7%)を合わせた4割強(42.5%)は、“関心がない”と感じています。

図表 地域活動への関心



(n=976)		
	回答数	構成比
1 とても関心がある	67	6.9%
2 ある程度関心がある	465	47.6%
3 あまり関心がない	349	35.8%
4 まったく関心がない	65	6.7%
無回答	30	3.1%

- 性別による地域活動への関心をみると、男女とも回答全体と同様に、「ある程度関心がある」が最も高くなっています。

図表 地域福祉に関する活動への関心 (性別)

	“関心がある”		“関心がない”		無回答
	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	
男性 (n=424)	7.1%	46.0%	38.7%	6.1%	2.1%
女性 (n=534)	6.9%	48.7%	34.1%	7.1%	3.2%

※ “関心がある”：「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方

※ “関心がない”：「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方

- 年齢別においては、20歳代～40歳代では「あまり関心がない」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では「ある程度関心がある」が最も高くなっています。

図表 地域福祉に関する活動への関心（年齢別）

	“関心がある”		“関心がない”		無回答
	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	
20歳未満(n=7)	0.0%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%
20～29歳(n=44)	6.8%	34.1%	45.5%	13.6%	0.0%
30～39歳(n=84)	6.0%	38.1%	42.9%	11.9%	1.2%
40～49歳(n=124)	4.0%	41.9%	42.7%	10.5%	0.8%
50～59歳(n=135)	8.1%	43.0%	37.8%	10.4%	0.7%
60～69歳(n=239)	6.3%	49.0%	40.6%	2.9%	1.3%
70～79歳(n=196)	4.6%	58.7%	31.1%	2.0%	3.6%
80歳以上(n=142)	13.4%	49.3%	20.4%	6.3%	10.6%

※ “関心がある”：「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方

※ “関心がない”：「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方

- 地区ごとの地域活動への関心をみると、各地域とも回答全体と同様に、「ある程度関心がある」が最も高くなっています。

図表 地域活動への関心（地区別）

	“関心がある”		“関心がない”		無回答
	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	
小牛田地区(n=161)	9.3%	50.3%	32.9%	6.2%	1.2%
不動堂地区(n=282)	6.4%	49.3%	38.3%	5.0%	1.1%
北浦地区(n=128)	7.8%	45.3%	37.5%	7.8%	1.6%
中埜地区(n=88)	3.4%	53.4%	33.0%	5.7%	4.5%
青生地区(n=84)	8.3%	42.9%	40.5%	3.6%	4.8%
南郷地区(n=224)	5.8%	43.8%	34.4%	10.3%	5.8%

※ “関心がある”：「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方

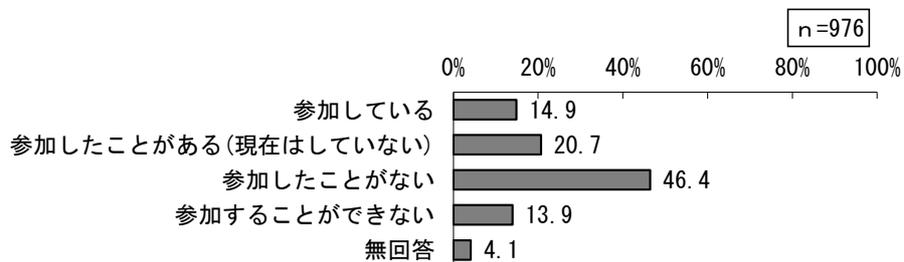
※ “関心がない”：「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方

## (2) 地域活動への参加状況

問 あなたは、地域福祉に関するボランティアやNPO活動、地域活動に、どの程度参加していますか。(1つに○)

- 地域活動への参加状況については、「参加したことがない」が46.4%と最も高くなっています。
- 「参加している」(14.9%)、「参加したことがある」(20.7%)を合わせた4割(35.6%)の方は“参加経験がある”と回答している一方で、「参加したことがない」(46.4%)、「参加することができない」(13.9%)を合わせた6割(60.3%)の方は、“参加経験はない”と回答しています。

図表 地域活動への参加状況



(n=976)

	回答数	構成比
1 参加している	145	14.9%
2 参加したことがある(現在はしていない)	202	20.7%
3 参加したことがない	453	46.4%
4 参加することができない	136	13.9%
無回答	40	4.1%

- 性別による地域活動への参加状況をみると、“参加経験がある”と回答した割合は、男性では38.9%、女性では33.1%と、男女に差が大きくはみられません。

図表 地域活動への参加状況(性別)

	“参加経験がある”		“参加経験はない”		無回答
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	参加することができない	
男性(n=424)	17.2%	21.7%	46.9%	11.8%	2.4%
女性(n=534)	12.9%	20.2%	46.4%	15.7%	4.7%

※ “参加経験がある”：「参加している」、「参加したことがある」と回答した方

※ “参加経験はない”：「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方

- 各年齢層の“参加経験がある”と回答した割合は、20歳未満が最も低く、30歳代にかけて高くなり、40歳代で低下するものの、70歳代にかけて再び高くなり、80歳以上で再び低くなっています。

図表 地域活動への参加状況（年齢別）

	“参加経験がある”		“参加経験はない”		無回答
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	参加することができない	
20歳未満(n=7)	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
20～29歳(n=44)	0.0%	25.0%	68.2%	6.8%	0.0%
30～39歳(n=84)	11.9%	20.2%	51.2%	14.3%	2.4%
40～49歳(n=124)	14.5%	12.9%	58.1%	12.9%	1.6%
50～59歳(n=135)	14.1%	19.3%	50.4%	15.6%	0.7%
60～69歳(n=239)	18.0%	19.2%	49.4%	10.9%	2.5%
70～79歳(n=196)	20.9%	21.4%	42.3%	10.7%	4.6%
80歳以上(n=142)	9.2%	30.3%	22.5%	25.4%	12.7%

※ “参加経験がある”：「参加している」、「参加したことがある」と回答した方

※ “参加経験はない”：「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方

- 地区ごとの地域活動への参加状況をみると、“参加経験がある”と回答した割合は、南郷地区が38.4%と最も高く、次いで北浦地区（36.7%）、中埜地区（36.3%）が上位に挙がっています。

図表 地域活動への参加状況（地区別）

	“参加経験がある”		“参加経験はない”		無回答
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	参加することができない	
小牛田地区(n=161)	14.9%	20.5%	46.6%	14.3%	3.7%
不動堂地区(n=282)	13.8%	20.6%	48.2%	14.9%	2.5%
北浦地区(n=128)	14.8%	21.9%	47.7%	14.1%	1.6%
中埜地区(n=88)	13.6%	22.7%	47.7%	10.2%	5.7%
青生地区(n=84)	11.9%	19.0%	50.0%	13.1%	6.0%
南郷地区(n=224)	17.9%	20.5%	41.5%	14.3%	5.8%

※ “参加経験がある”：「参加している」、「参加したことがある」と回答した方

※ “参加経験はない”：「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方

### (3) 参加している地域活動の内容・きっかけ

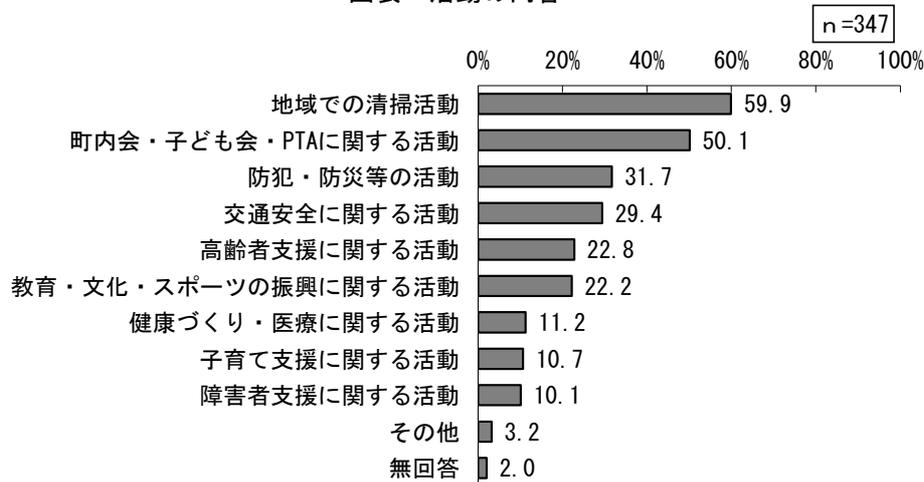
問 前問で「1. 参加している」、「2. 参加したことがある（現在はしていない）」と回答した方のみお答えください。

どのような活動をしていますか（していましたか）。また、活動のきっかけはどのような理由ですか。（①・②のそれぞれあてはまるものすべてに○）

#### ① 活動の内容

○ 前問で「参加している」、「参加したことがある（現在はしていない）」と回答した方（n=347）の参加している地域活動の内容については、「地域での清掃活動」が59.9%と最も高く、次いで「町内会・子ども会・PTAに関する活動」（50.1%）、「防犯・防災等の活動」（31.7%）が上位に挙がっています。

図表 活動の内容



(n=347)

	回答数	構成比
1 高齢者支援に関する活動	79	22.8%
2 障害者支援に関する活動	35	10.1%
3 子育て支援に関する活動	37	10.7%
4 健康づくり・医療に関する活動	39	11.2%
5 町内会・子ども会・PTAに関する活動	174	50.1%
6 教育・文化・スポーツの振興に関する活動	77	22.2%
7 地域での清掃活動	208	59.9%
8 防犯・防災等の活動	110	31.7%
9 交通安全に関する活動	102	29.4%
10 その他	11	3.2%
無回答	7	2.0%

- 性別による活動の内容をみると、男女とも回答全体と同様に、「地域での清掃活動」が最も高くなっています。
- 年齢別による活動の内容をみると、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「地域での清掃活動」、「町内会・子ども会・PTAに関する活動」、「防犯・防災等の活動」を上位に挙げています。そのほか20歳代～50歳代では「教育・文化・スポーツの振興に関する活動」、40歳代～60歳代では「交通安全に関する活動」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 活動の内容（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=165)	地域での清掃活動 67.3%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 53.3%	防犯・防災等の活動 43.0%
女性 (n=177)	地域での清掃活動 54.2%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 48.6%	交通安全に関する活動 31.1%
20歳未満 (n=1)	町内会・子ども会・PTAに関する活動 地域での清掃活動 100.0%		-
20～29歳 (n=11)	町内会・子ども会・PTAに関する活動 54.5%	地域での清掃活動 45.5%	教育・文化・スポーツの振興に関する活動 36.4%
30～39歳 (n=27)	地域での清掃活動 63.0%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 48.1%	教育・文化・スポーツの振興に関する活動 25.9%
40～49歳 (n=34)	町内会・子ども会・PTAに関する活動 67.6%	地域での清掃活動 41.2%	教育・文化・スポーツの振興に関する活動 交通安全に関する活動 29.4%
50～59歳 (n=45)	地域での清掃活動 64.4%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 62.2%	教育・文化・スポーツの振興に関する活動/防犯・防災等の活動/ 交通安全に関する活動 33.3%
60～69歳 (n=89)	地域での清掃活動 61.8%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 50.6%	防犯・防災等の活動 交通安全に関する活動 31.5%
70～79歳 (n=83)	地域での清掃活動 61.4%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 45.8%	防犯・防災等の活動 38.6%
80歳以上 (n=56)	地域での清掃活動 64.3%	防犯・防災等の活動 41.1%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 35.7%

- 地区ごとの活動の内容をみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「地域での清掃活動」、「町内会・子ども会・PTAに関する活動」、「防犯・防災等の活動」を上位に挙げています。そのほか不動堂地区、中埜地区では「教育・文化・スポーツの振興に関する活動」、青生地区、南郷地区では「交通安全に関する活動」をそれぞれ上位に挙げています。

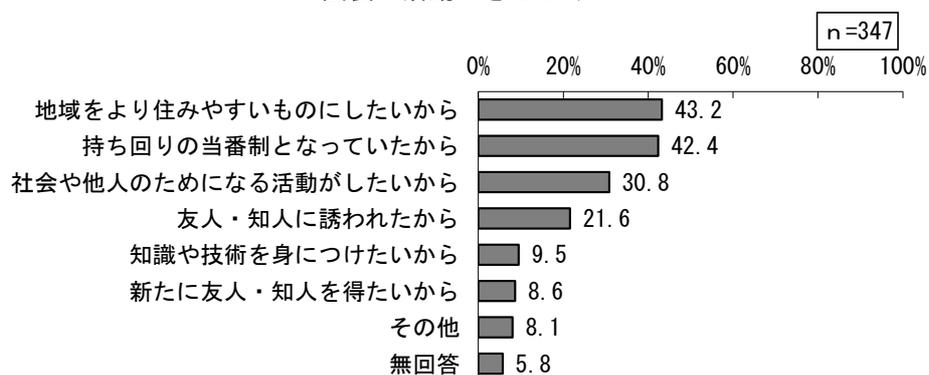
図表 活動の内容（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=57)	地域での清掃活動 56.1%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 45.6%	防犯・防災等の活動 26.3%
不動堂地区 (n=97)	町内会・子ども会・PTAに関する活動 57.7%	防犯・防災等の活動 24.7%	教育・文化・スポーツの振興に関する活動 21.6%
北浦地区 (n=47)	町内会・子ども会・PTAに関する活動 53.2%	地域での清掃活動 48.9%	防犯・防災等の活動 42.6%
中埜地区 (n=32)	地域での清掃活動 65.6%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 46.9%	教育・文化・スポーツの振興に関する活動 40.6%
青生地区 (n=26)	地域での清掃活動 69.2%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 61.5%	交通安全に関する活動 42.3%
南郷地区 (n=86)	地域での清掃活動 67.4%	交通安全に関する活動 47.7%	町内会・子ども会・PTAに関する活動 41.9%

## ② 活動のきっかけ

- 前問で「参加している」、「参加したことがある（現在はしていない）」と回答した方（n=347）の活動のきっかけについては、「地域をより住みやすいものにしたいから」が43.2%と最も高く、次いで「持ち回りの当番制となっていたから」（42.4%）、「社会や他人のためになる活動がしたいから」（30.8%）が上位に挙がっています。

図表 活動のきっかけ



(n=347)

	回答数	構成比
1 地域をより住みやすいものにしたいから	150	43.2%
2 社会や他人のためになる活動がしたいから	107	30.8%
3 知識や技術を身につけたいから	33	9.5%
4 新たに友人・知人を得たいから	30	8.6%
5 持ち回りの当番制となっていたから	147	42.4%
6 友人・知人に誘われたから	75	21.6%
7 その他	28	8.1%
無回答	20	5.8%

- 性別による活動のきっかけをみると、男性では回答全体と同様に、「地域をより住みやすいものにしたいから」、女性では「持ち回りの当番制となっていたから」が最も高くなっています。
- 年齢別による活動のきっかけをみると、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「地域をより住みやすいものにしたいから」、「持ち回りの当番制となっていたから」、「社会や他人のためになる活動がしたいから」を上位に挙げています。

図表 活動のきっかけ（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=165)	地域をより住みやすいものにしたいから 58.8%	持ち回りの当番制となっていたから 44.2%	社会や他人のためになる活動がしたいから 28.5%
女性 (n=177)	持ち回りの当番制となっていたから 41.2%	社会や他人のためになる活動がしたいから 33.3%	地域をより住みやすいものにしたいから 29.4%

	第1位	第2位	第3位
20歳未満 (n=1)	地域をより住みやすいものにしたいから 持ち回りの当番制となっていたから 100.0%		-
20～29歳 (n=11)	友人・知人に誘われたから 45.5%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 36.4%	知識や技術を身につけたい から 18.2%
30～39歳 (n=27)	持ち回りの当番制となっ ていたから 37.0%	地域をより住みやすいもの にしたいから 社会や他人のためになる 活動がしたいから 22.2%	知識や技術を身につけたい から 14.8%
40～49歳 (n=34)	持ち回りの当番制となっ ていたから 52.9%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 17.6%	地域をより住みやすいもの にしたいから 知識や技術を身につけたい から 14.7%
50～59歳 (n=45)	地域をより住みやすいもの にしたいから 48.9%	持ち回りの当番制となっ ていたから 46.7%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 40.0%
60～69歳 (n=89)	地域をより住みやすいもの にしたいから 持ち回りの当番制となっ ていたから 43.8%		社会や他人のためになる 活動がしたいから 31.5%
70～79歳 (n=83)	地域をより住みやすいもの にしたいから 61.4%	持ち回りの当番制となっ ていたから 45.8%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 36.1%
80歳以上 (n=56)	地域をより住みやすいもの にしたいから 44.6%	持ち回りの当番制となっ ていたから 35.7%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 26.8%

○ 地区ごとの活動のきっかけをみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「地域をより住みやすいものにしたいから」、「持ち回りの当番制となっていたから」、「社会や他人のためになる活動がしたいから」を上位に挙げています。

図表 活動のきっかけ（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=57)	持ち回りの当番制となっ ていたから 49.1%	友人・知人に誘われたから 36.8%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 33.3%
不動堂地区 (n=97)	地域をより住みやすいもの にしたいから 41.2%	持ち回りの当番制となっ ていたから 38.1%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 29.9%
北浦地区 (n=47)	地域をより住みやすいもの にしたいから 51.1%	社会や他人のためになる活動がしたいから 持ち回りの当番制となっ ていたから 40.4%	
中埴地区 (n=32)	地域をより住みやすいもの にしたいから 56.3%	持ち回りの当番制となっ ていたから 40.6%	友人・知人に誘われたから 31.3%

	第1位	第2位	第3位
青生地区 (n=26)	地域をより住みやすいもの にしたいから 61.5%	持ち回りの当番制となっ ていたから 38.5%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 友人・知人に誘われたから 26.9%
南郷地区 (n=86)	持ち回りの当番制となっ ていたから 46.5%	地域をより住みやすいもの にしたいから 40.7%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 29.1%

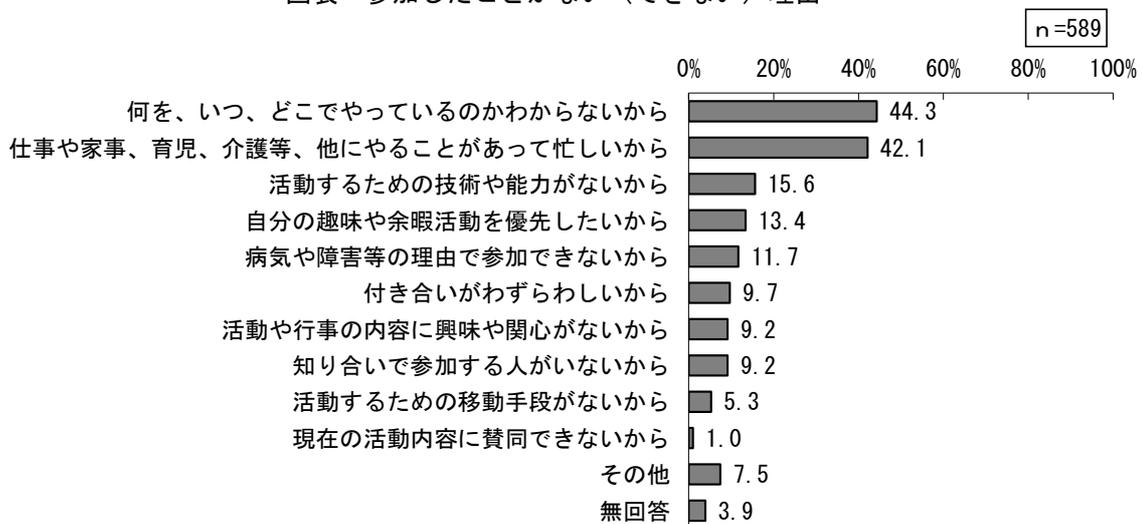
#### (4) 参加したことがない（できない）理由

問 前問で「3. 参加したことがない」、「4. 参加することができない」と回答した方のみお答えください。

参加したことがない（できない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 前問で「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方（n=589）の参加したことがない（できない）理由については、「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」が44.3%と最も高く、次いで「仕事や家事、育児、介護等、他にやることがあって忙しいから」（42.1%）、「活動するための技術や能力がないから」（15.6%）が上位に挙がっています。

図表 参加したことがない（できない）理由



(n=589)

	回答数	構成比
1 活動や行事の内容に興味や関心がないから	54	9.2%
2 何を、いつ、どこでやっているのかわからないから	261	44.3%
3 病気や障害等の理由で参加できないから	69	11.7%
4 知り合いで参加する人がいないから	54	9.2%
5 仕事や家事、育児、介護等、他にやることがあって忙しいから	248	42.1%
6 自分の趣味や余暇活動を優先したいから	79	13.4%
7 活動するための技術や能力がないから	92	15.6%
8 活動するための移動手段がないから	31	5.3%

	回答数	構成比
9 現在の活動内容に賛同できないから	6	1.0%
10 付き合いがわずらわしいから	57	9.7%
11 その他	44	7.5%
無回答	23	3.9%

- 性別による参加したことがない（できない）理由をみると、男性では回答全体と同様に「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」、女性では「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」、「仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」、「仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから」、「活動するための技術や能力がないから」を上位に挙げています。

図表 参加したことがない（できない）理由（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=249)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 43.4%	仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 38.6%	自分の趣味や余暇活動を優先したいから 16.5%
女性 (n=332)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 45.5%		活動するための技術や能力がないから 18.4%
20歳未満 (n=6)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 50.0%	活動や行事の内容に興味や関心がないから/知り合いで参加する人がいないから/自分の趣味や余暇活動を優先したいから/付き合いがわずらわしいから 16.7%	
20～29歳 (n=39)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 54.5%	仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 42.4%	自分の趣味や余暇活動を優先したいから 27.3%
30～39歳 (n=55)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 61.8%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 58.2%	自分の趣味や余暇活動を優先したいから 25.5%
40～49歳 (n=88)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 69.3%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 50.0%	自分の趣味や余暇活動を優先したいから 18.2%
50～59歳 (n=89)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 58.4%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 42.7%	活動するための技術や能力がないから 16.9%
60～69歳 (n=144)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることがある忙しから 43.8%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 43.1%	活動するための技術や能力がないから 15.3%

	第1位	第2位	第3位
70～79歳 (n=104)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 47.1%	活動するための技術や能力がないから 21.2%	病気や障害等の理由で参加できないから 20.2%
80歳以上 (n=68)	病気や障害等の理由で参加できないから 32.4%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 20.6%	活動するための技術や能力がないから 13.2%

○ 地区ごとの参加したことがない（できない）理由をみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」、「仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから」、「活動するための技術や能力がないから」を上位に挙げています。

図表 参加したことがない（できない）理由（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=98)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 40.8%	仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから 32.7%	病気や障害等の理由で参加できないから/自分の趣味や余暇活動を優先したいから/活動するための技術や能力がないから 18.4%
不動堂地区 (n=178)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 55.1%	仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから 44.9%	自分の趣味や余暇活動を優先したいから 15.2%
北浦地区 (n=79)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから 41.8%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 38.0%	活動するための技術や能力がないから 17.7%
中埜地区 (n=51)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから 49.0%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 41.2%	活動するための技術や能力がないから 19.6%
青生地区 (n=53)	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 43.4%	仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから 35.8%	活動するための技術や能力がないから 20.8%
南郷地区 (n=125)	仕事や家事、育児、介護等、他にやることであって忙しいから 45.6%	何を、いつ、どこでやっているのかわからないから 37.6%	活動や行事の内容に興味や関心がないから 付き合いがわずらわしいから 11.2%

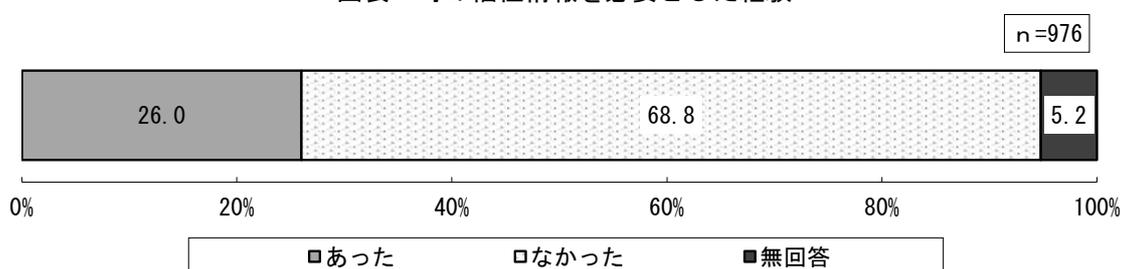
## 5 町の福祉情報の入手について

### (1) 町の福祉情報を必要とした経験

問 あなたはこれまで、保育サービスや高齢者、障害者への福祉サービス等、町の福祉情報を必要としたときがありましたか。最近2～3年くらいの状況からお答えください。  
(1つに○)

○ 町の福祉情報を必要とした経験については、「あった」が26.0%、「なかった」が68.8%となっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験



(n=976)

	回答数	構成比
1 あった	254	26.0%
2 なかった	671	68.8%
無回答	51	5.2%

○ 性別による町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、男性では25.2%、女性では26.8%となっています。

○ 年齢別では、「あった」と回答した割合は、30歳代(40.5%)、80歳以上(32.4%)、50歳代(29.6%)で、上位に挙がっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験(性別・年齢別)

	あった	なかった	無回答
男性(n=424)	25.2%	69.8%	5.0%
女性(n=534)	26.8%	68.7%	4.5%
20歳未満(n=7)	14.3%	85.7%	0.0%
20～29歳(n=44)	13.6%	84.1%	2.3%
30～39歳(n=84)	40.5%	58.3%	1.2%
40～49歳(n=124)	21.8%	77.4%	0.8%
50～59歳(n=135)	29.6%	68.1%	2.2%
60～69歳(n=239)	25.5%	71.5%	2.9%

	あった	なかった	無回答
70～79 歳 (n=196)	19.4%	73.0%	7.7%
80 歳以上 (n=142)	32.4%	54.2%	13.4%

- 地区ごとの町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、小牛田地区 (30.4%)、中埜地区 (27.3%)、不動堂地区 (27.0%) が、上位に挙がっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験 (地区別)

	あった	なかった	無回答
小牛田地区 (n=161)	30.4%	65.8%	3.7%
不動堂地区 (n=282)	27.0%	68.8%	4.3%
北浦地区 (n=128)	24.2%	71.1%	4.7%
中埜地区 (n=88)	27.3%	64.8%	8.0%
青生地区 (n=84)	23.8%	71.4%	4.8%
南郷地区 (n=224)	23.2%	71.4%	5.4%

- 同居家族の世帯状況別による町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、介護の必要な方のいる世帯では 53.5%、未就学児童のいる世帯では 42.4% と上位に挙がっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験 (同居家族の世帯状況別)

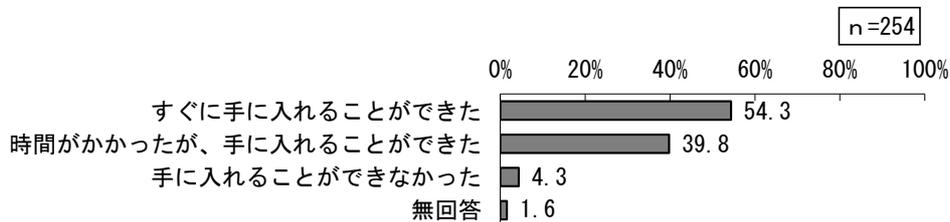
	あった	なかった	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=85)	42.4%	55.3%	2.4%
児童・生徒のいる世帯 (n=208)	26.4%	71.6%	1.9%
65 歳以上のいる世帯 (n=450)	22.4%	72.7%	4.9%
介護の必要な方のいる世帯 (n=172)	53.5%	40.7%	5.8%

## (2) 情報をすぐに入手できたかについて

問 前問で「1. あった」と回答した方のみお答えください。  
必要としたとき、すぐに入手できましたか。(1つに○)

- 前問で「あった」と回答した方 (n=254) の情報をすぐに入手できたかについては、「すぐに手に入れることができた」(54.3%)、「時間がかかったが、手に入れることができた」(39.8%)を合わせた9割半(94.1%)が必要な福祉情報を“入手できた”と回答しています。
- 一方で「手に入れることができなかった」割合は1割未満(4.3%)となっています。

図表 情報をすぐに入手できたかについて



	回答数	構成比
1 すぐに手に入れることができた	138	54.3%
2 時間がかかったが、手に入れることができた	101	39.8%
3 手に入れることができなかった	11	4.3%
無回答	4	1.6%

- 性別による情報をすぐに入手できたかについてみると、男女ともに9割半が“入手できた”と回答していますが、「手に入れることができなかった」割合は、男性(4.7%)、女性(3.5%)となっています。
- 年齢別で“入手できた”割合は、20歳未満、20歳代(100.0%)、60歳代(98.4%)、70歳代(97.4%)が、上位に挙がっています。
- 「手に入れることができなかった」割合は、30歳代(8.8%)、50歳代(5.0%)、80歳以上(4.3%)が、上位に挙がっています。

図表 情報をすぐに入手できたかについて(性別)

	必要な福祉情報を“入手できた”			
	すぐに手に入れることができた	時間がかかったが、手に入れることができた	手に入れることができなかった	無回答
男性(n=107)	50.5%	43.9%	4.7%	0.9%
女性(n=143)	58.7%	35.7%	3.5%	2.1%

※ “入手できた”：「すぐに手に入れることができた」、「時間がかかったが、手に入れることができた」と回答した方

図表 情報をすぐに入手できたかについて（年齢別）

	必要な福祉情報を“入手できた”			
	すぐに手に入れる ことができた	時間がかかったが、 手に入れることができた	手に入れることが できなかった	無回答
20歳未満 (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=6)	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
30～39歳 (n=34)	47.1%	41.2%	8.8%	2.9%
40～49歳 (n=27)	51.9%	44.4%	3.7%	0.0%
50～59歳 (n=40)	52.5%	42.5%	5.0%	0.0%
60～69歳 (n=61)	68.9%	29.5%	1.6%	0.0%
70～79歳 (n=38)	63.2%	34.2%	2.6%	0.0%
80歳以上 (n=46)	41.3%	47.8%	4.3%	6.5%

※ “入手できた”：「すぐに手に入れることができた」、「時間がかかったが、手に入れることができた」と回答した方

- 地区ごとの情報をすぐに入手できたかについてみると、「手に入れることができなかった」割合は、小牛田地区（6.1%）、南郷地区（5.8%）、青生地区（5.0%）が、上位に挙がっています。

図表 情報をすぐに入手できたかについて（地区別）

	必要な福祉情報を“入手できた”			
	すぐに手に入れる ことができた	時間がかかったが、 手に入れることができた	手に入れることが できなかった	無回答
小牛田地区 (n=49)	61.2%	32.7%	6.1%	0.0%
不動堂地区 (n=76)	57.9%	35.5%	3.9%	2.6%
北浦地区 (n=31)	45.2%	48.4%	0.0%	6.5%
中埜地区 (n=24)	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
青生地区 (n=20)	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%
南郷地区 (n=80)	55.8%	38.5%	5.8%	0.0%

※ “入手できた”：「すぐに手に入れることができた」、「時間がかかったが、手に入れることができた」と回答した方

- 同居家族の世帯状況別の必要な福祉情報をすぐに入手できたかについてみると、「手に入れることができなかった」割合は、65歳以上のいる世帯では5.9%、児童・生徒のいる世帯では5.5%と上位に挙がっています。

図表 すぐに入手できたかについて（同居家族の世帯状況別）

	必要な福祉情報を“入手できた”			無回答
	すぐに手に入れることができた	時間がかかったが、手に入れることができた	手に入れることができなかった	
未就学児童のいる世帯 (n=36)	61.1%	33.3%	2.8%	2.8%
児童・生徒のいる世帯 (n=55)	47.3%	47.3%	5.5%	0.0%
65歳以上のいる世帯 (n=101)	54.5%	39.6%	5.9%	0.0%
介護の必要な方のいる世帯 (n=92)	55.4%	38.0%	5.4%	1.1%

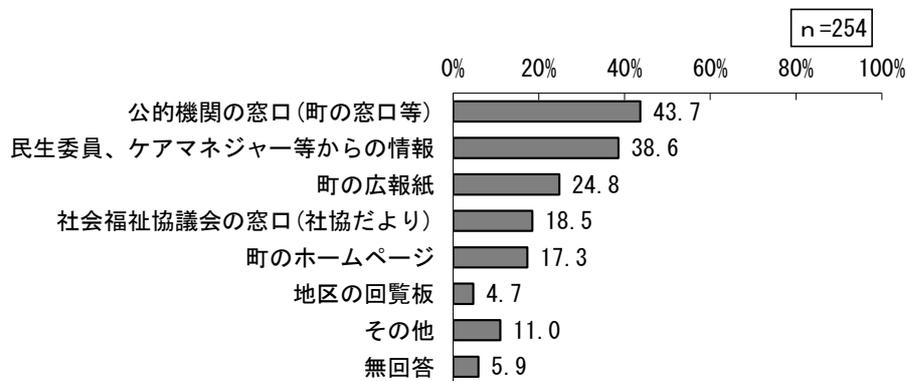
※ “入手できた”：「すぐに手に入れることができた」、「時間がかかったが、手に入れることができた」と回答した方

### （3）情報入手手段について

問 前問で「1. あった」と回答した方のみお答えください。  
情報をどこで手に入れましたか（入れようとしてましたか）。（あてはまるものすべてに○）

○ 前問で「あった」と回答した方（n=254）の情報入手手段については、「公的機関の窓口（町の窓口等）」が43.7%と最も高く、次いで「民生委員、ケアマネジャー等からの情報」（38.6%）、「町の広報紙」（24.8%）が上位に挙がっています。

図表 情報入手手段について



(n=254)

	回答数	構成比
1 公的機関の窓口(町の窓口等)	111	43.7%
2 社会福祉協議会の窓口(社協だより)	47	18.5%
3 町のホームページ	44	17.3%
4 町の広報紙	63	24.8%
5 民生委員、ケアマネジャー等からの情報	98	38.6%
6 地区の回覧板	12	4.7%
7 その他	28	11.0%
無回答	15	5.9%

- 性別による情報入手手段についてみると、男性では回答全体と同様に、「公的機関の窓口(町の窓口等)」、女性では「公的機関の窓口(町の窓口等)」、「民生委員、ケアマネジャー等からの情報」が最も高くなっています。
- 年齢別では、30歳代では「町のホームページ」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では「民生委員、ケアマネジャー等からの情報」、「公的機関の窓口(町の窓口等)」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「公的機関の窓口(町の窓口等)」、「民生委員、ケアマネジャー等からの情報」、「町の広報紙」を上位に挙げています。

図表 情報入手手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性(n=107)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 42.1%	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 31.8%	町の広報紙 28.0%
女性(n=143)	公的機関の窓口(町の窓口等) 民生委員、ケアマネジャー等からの情報 44.8%		町の広報紙 22.4%
20歳未満(n=1)	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 100.0%	-	-
20～29歳(n=6)	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 83.3%	町の広報紙 33.3%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 町のホームページ 16.7%
30～39歳(n=34)	町のホームページ 64.7%	町の広報紙 55.9%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 44.1%
40～49歳(n=27)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 55.6%	町のホームページ 29.6%	町の広報紙 25.9%
50～59歳(n=40)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 50.0%	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 30.0%	社会福祉協議会の窓口 (社協だより) 町の広報紙 17.5%
60～69歳(n=61)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 52.5%	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 50.8%	町の広報紙 21.3%
70～79歳(n=38)	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 52.6%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 社会福祉協議会の窓口 (社協だより) 34.2%	町の広報紙 13.2%
80歳以上(n=46)	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 45.7%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 30.4%	町の広報紙 21.7%

- 地区ごとの情報入手手段をみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「公的機関の窓口(町の窓口等)」、「民生委員、ケアマネジャー等からの情報」、「町の広報紙」を上位に挙げています。

図表 情報入手手段について（地区別：上位3項目）

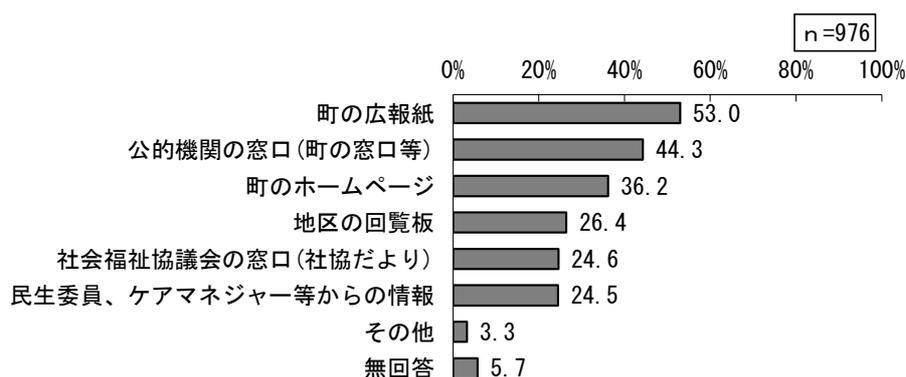
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=49)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 55.1%	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 44.9%	町の広報紙 24.5%
不動堂地区 (n=76)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 47.4%	町の広報紙 31.6%	町のホームページ 28.9%
北浦地区 (n=31)	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 41.9%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 35.5%	町の広報紙 16.1%
中埜地区 (n=24)	公的機関の窓口(町の窓口等) 民生委員、ケアマネジャー等からの情報 41.7%		社会福祉協議会の窓口 (社協だより) 町のホームページ 25.0%
青生地区 (n=20)	公的機関の窓口(町の窓口等) 民生委員、ケアマネジャー等からの情報 40.0%		町の広報紙 25.0%
南郷地区 (n=52)	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 48.1%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 32.7%	町の広報紙 23.1%

#### (4) 今後の福祉情報の入手方法について

問 今後、町の福祉情報が必要になったとき、どのような方法で入手したいですか。  
(主なもの3つまでに○)

- 今後の福祉情報の入手方法については、「町の広報紙」が 53.0%と最も高く、次いで「公的機関の窓口(町の窓口等)」(44.3%)、「町のホームページ」(36.2%)が上位に挙がっています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について



図表 今後の福祉情報の入手方法について

(n=976)

	回答数	構成比
1 公的機関の窓口(町の窓口等)	432	44.3%
2 社会福祉協議会の窓口(社協だより)	240	24.6%
3 町のホームページ	353	36.2%
4 町の広報紙	517	53.0%
5 民生委員、ケアマネジャー等からの情報	239	24.5%
6 地区の回覧板	258	26.4%
7 その他	32	3.3%
無回答	56	5.7%

- 性別による今後の福祉情報の入手方法についてみると、男女とも回答全体と同様に、「町の広報紙」が最も高くなっています。
- 年齢別では、20歳未満では「公的機関の窓口(町の窓口等)」、「町のホームページ」、20歳代～40歳代では「町のホームページ」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では「町の広報紙」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「町の広報紙」、「公的機関の窓口(町の窓口等)」、「町のホームページ」を上位に挙げています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について(性別・年齢別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
男性(n=424)	町の広報紙 56.4%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 42.9%	町のホームページ 37.0%
女性(n=534)	町の広報紙 51.3%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 45.5%	町のホームページ 36.0%
20歳未満(n=7)	公的機関の窓口(町の窓口等) 町のホームページ 71.4%		社会福祉協議会の窓口 (社協だより) 28.6%
20～29歳(n=44)	町のホームページ 68.2%	町の広報紙 50.0%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 40.9%
30～39歳(n=84)	町のホームページ 77.4%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 47.6%	町の広報紙 46.4%
40～49歳(n=124)	町のホームページ 63.7%	町の広報紙 53.2%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 46.0%
50～59歳(n=135)	町の広報紙 55.6%	町のホームページ 51.1%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 43.0%

	第1位	第2位	第3位
60～69歳 (n=239)	町の広報紙 60.7%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 55.6%	町のホームページ 28.0%
70～79歳 (n=196)	町の広報紙 51.5%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 39.8%	地区の回覧板 37.2%
80歳以上 (n=142)	町の広報紙 47.9%	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 35.9%	社会福祉協議会の窓口 (社協だより) 地区の回覧板 29.6%

○ 地区ごとの今後の福祉情報の入手方法についてみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「町の広報紙」、「公的機関の窓口(町の窓口等)」、「町のホームページ」を上位に挙げています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	町の広報紙 49.1%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 48.4%	町のホームページ 34.2%
不動堂地区 (n=282)	町の広報紙 57.8%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 44.7%	町のホームページ 42.9%
北浦地区 (n=128)	町の広報紙 59.4%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 40.6%	町のホームページ 38.3%
中埜地区 (n=88)	町の広報紙 53.4%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 40.9%	民生委員、ケアマネジャー 等からの情報 34.1%
青生地区 (n=84)	公的機関の窓口 (町の窓口等) 47.6%	町の広報紙 46.4%	町のホームページ 33.3%
南郷地区 (n=224)	町の広報紙 50.0%	公的機関の窓口 (町の窓口等) 42.0%	町のホームページ 32.1%

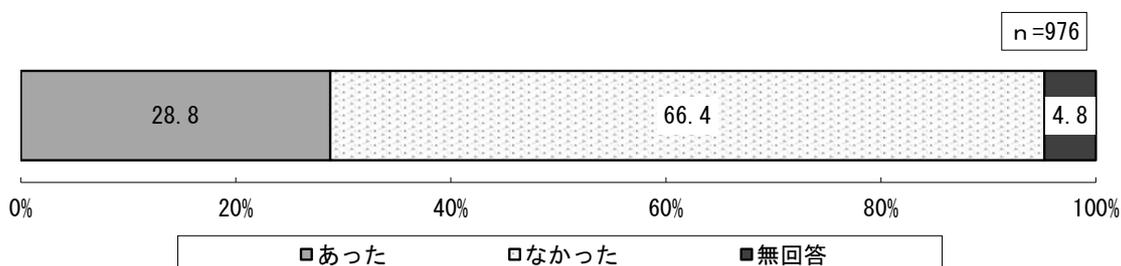
## 6 福祉サービスについて

### (1) 福祉サービスを利用したいと思ったこと

問 高齢者・障害者・子育て支援等に関する福祉サービスについて、あなたを含め家族の中で、これまでに福祉サービスを利用したいと思ったことはありましたか。最近2～3年くらいの状況からお答えください。(1つに○)

○ 福祉サービスを利用したいと思ったことについては、「あった」が28.8%、「なかった」が66.4%となっています。

図表 福祉サービスを利用したいと思ったこと



	回答数	構成比
1 あった	281	28.8%
2 なかった	648	66.4%
無回答	47	4.8%

(n=976)

○ 性別による福祉サービスを利用したいと思ったことをみると、「あった」と回答した割合は、男性では28.5%、女性では29.2%となっています。

○ 年齢別では、「あった」と回答した割合は、80歳以上(35.9%)、60歳代(33.5%)、30歳代(33.3%)で、上位に挙がっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験(性別・年齢別)

	あった	なかった	無回答
男性(n=424)	28.5%	66.7%	4.7%
女性(n=534)	29.2%	66.7%	4.1%
20歳未満(n=7)	14.3%	85.7%	0.0%
20～29歳(n=44)	25.0%	72.7%	2.3%
30～39歳(n=84)	33.3%	65.5%	1.2%
40～49歳(n=124)	22.6%	76.6%	0.8%
50～59歳(n=135)	31.1%	66.7%	2.2%
60～69歳(n=239)	33.5%	64.4%	2.1%

	あった	なかった	無回答
70～79 歳 (n=196)	19.9%	74.5%	5.6%
80 歳以上 (n=142)	35.9%	47.9%	16.2%

- 地区ごとの町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、小牛田地区 (34.8%)、南郷地区 (31.7%)、中埜地区 (28.4%) が、上位に挙がっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験 (地区別)

	あった	なかった	無回答
小牛田地区 (n=161)	34.8%	63.4%	1.9%
不動堂地区 (n=282)	27.7%	69.5%	2.8%
北浦地区 (n=128)	22.7%	70.3%	7.0%
中埜地区 (n=88)	28.4%	61.4%	10.2%
青生地区 (n=84)	23.8%	72.6%	3.6%
南郷地区 (n=224)	31.7%	62.9%	5.4%

- 同居家族の世帯状況別による町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、介護の必要な方のいる世帯では 68.6%、未就学児童のいる世帯では 38.8%と上位に挙がっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験 (同居家族の世帯状況別)

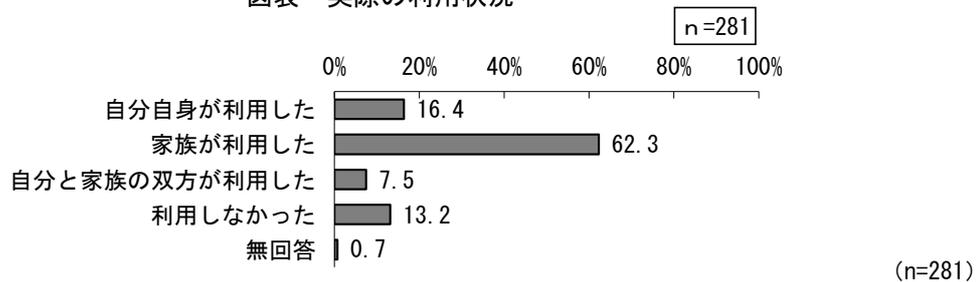
	あった	なかった	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=85)	38.8%	57.6%	3.5%
児童・生徒のいる世帯 (n=208)	28.4%	68.8%	2.9%
65 歳以上のいる世帯 (n=450)	27.3%	68.2%	4.4%
介護の必要な方のいる世帯 (n=172)	68.6%	23.8%	7.6%

## (2) 実際の利用状況

問 前問で「1. あった」と回答した方のみお答えください。  
実際に利用しましたか。(1つに○)

- 前問で「あった」と回答した方 (n=281) の実際の利用状況については、「自分自身が利用した」(16.4%)、「家族が利用した」(62.3%)、「自分と家族の双方が利用した」(7.5%)を合わせた9割(86.2%)が福祉サービスを“実際に利用した”と回答しています。
- 一方で「利用しなかった」割合は1割(13.2%)となっています。

図表 実際の利用状況



	回答数	構成比
1 自分自身が利用した	46	16.4%
2 家族が利用した	175	62.3%
3 自分と家族の双方が利用した	21	7.5%
4 利用しなかった	37	13.2%
無回答	2	0.7%

- 性別による実際の利用状況についてみると、“実際に利用した”割合は、男性(86.0%)、女性(85.9%)となっています。一方で「利用しなかった」割合は、男性(13.2%)、女性(13.5%)となっています。
- 年齢別の“実際に利用した”割合は、60歳代(92.6%)、70歳代(92.3%)、80歳以上(92.2%)が、上位に挙がっています。
- 「利用しなかった」割合は、20歳未満(100.0%)、30歳代(35.7%)、40歳代(21.4%)が、上位に挙がっています。

図表 実際の利用状況 (性別)

	“実際に利用した”				
	自分自身が利用した	家族が利用した	自分と家族の双方が利用した	利用しなかった	無回答
男性 (n=121)	14.9%	66.1%	5.0%	13.2%	0.8%
女性 (n=156)	17.3%	60.3%	8.3%	13.5%	0.6%
20歳未満 (n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20~29歳 (n=11)	0.0%	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%

	“実際に利用した”				
	自分自身が 利用した	家族が利用した	自分と家族の 双方が利用した	利用しなかった	無回答
30～39 歳 (n=28)	7.1%	46.4%	10.7%	35.7%	0.0%
40～49 歳 (n=28)	3.6%	60.7%	7.1%	21.4%	7.1%
50～59 歳 (n=42)	7.1%	76.2%	2.4%	14.3%	0.0%
60～69 歳 (n=80)	8.8%	82.5%	1.3%	7.5%	0.0%
70～79 歳 (n=39)	20.5%	61.5%	10.3%	7.7%	0.0%
80 歳以上 (n=51)	49.0%	27.5%	15.7%	7.8%	0.0%

※ “実際に利用した”：「自分自身が利用した」、「家族が利用した」、「自分と家族の双方が利用した」と回答した方

- 地区ごとの実際の利用状況についてみると、“実際に利用した”割合は、青生地区（90.0%）、南郷地区（88.7%）、中埜地区（88.0%）が、上位に挙がっています。
- 「利用しなかった」割合は、不動堂地区（16.7%）、小牛田地区（14.3%）、北浦地区（13.8%）が、上位に挙がっています。

図表 実際の利用状況（地区別）

	“実際に利用した”				
	自分自身が 利用した	家族が利用した	自分と家族の 双方が利用した	利用しなかった	無回答
小牛田地区 (n=56)	16.1%	60.7%	8.9%	14.3%	0.0%
不動堂地区 (n=78)	16.7%	56.4%	10.3%	16.7%	0.0%
北浦地区 (n=29)	10.3%	65.5%	10.3%	13.8%	0.0%
中埜地区 (n=25)	8.0%	76.0%	4.0%	8.0%	4.0%
青生地区 (n=20)	25.0%	60.0%	5.0%	10.0%	0.0%
南郷地区 (n=71)	19.7%	66.2%	2.8%	9.9%	1.4%

※ “実際に利用した”：「自分自身が利用した」、「家族が利用した」、「自分と家族の双方が利用した」と回答した方

- 同居家族の世帯状況別の利用状況についてみると、“実際に利用した”割合は、介護の必要な方のいる世帯（89.8%）、65歳以上のいる世帯（85.4%）、児童・生徒のいる世帯（83.1%）が、上位に挙がっています。
- 「利用しなかった」割合は、未就学児童のいる世帯（21.2%）、児童・生徒のいる世帯（15.3%）、65歳以上のいる世帯（13.8%）が、上位に挙がっています。

図表 実際の利用状況（同居家族の世帯状況別）

	“実際に利用した”				
	自分自身が 利用した	家族が利用した	自分と家族の 双方が利用した	利用しなかった	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=33)	6.1%	54.5%	15.2%	21.2%	3.0%
児童・生徒のいる世帯 (n=59)	10.2%	66.1%	6.8%	15.3%	1.7%
65歳以上のいる世帯 (n=123)	13.0%	68.3%	4.1%	13.8%	0.8%
介護の必要な方のいる世帯 (n=118)	14.4%	66.9%	8.5%	9.3%	0.8%

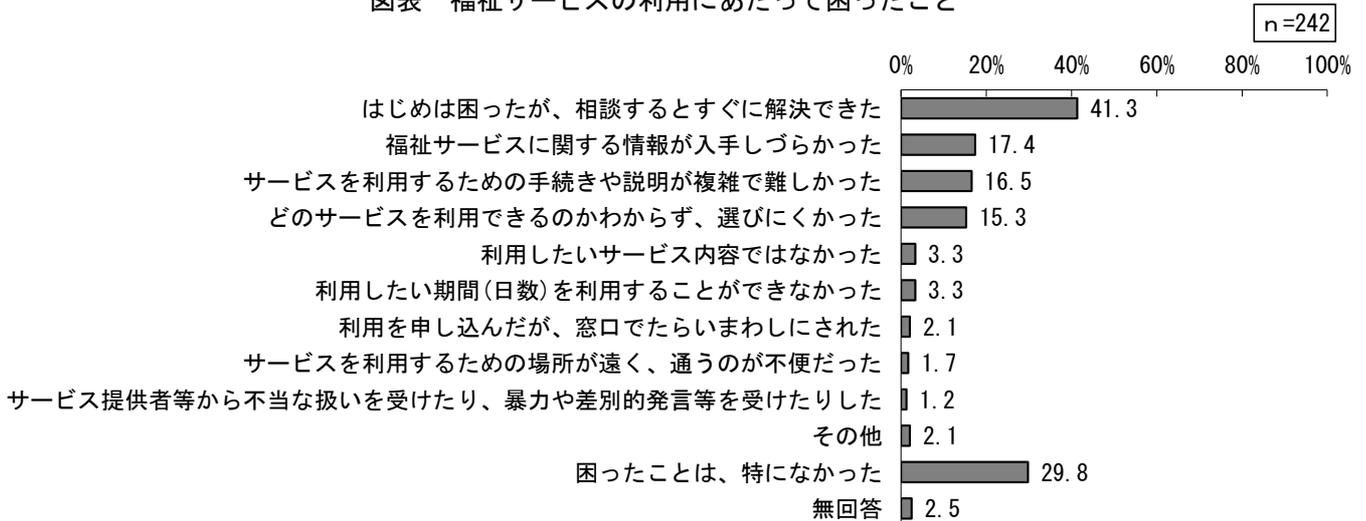
※ “実際に利用した”：「自分自身が利用した」、「家族が利用した」、「自分と家族の双方が利用した」と回答した方

### （3）福祉サービスの利用にあたって困ったこと

問 前問で「1. 自分自身が利用した」「2. 家族が利用した」「3. 自分と家族の双方が利用した」と回答した方のみお答えください。  
福祉サービスの利用にあたって、困ったことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 前問で「自分自身が利用した」、「家族が利用した」、「自分と家族の双方が利用した」と回答した方（n=242）の福祉サービスの利用にあたって困ったことについては、「はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた」が41.3%と最も高く、次いで「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」（17.4%）、「サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった」（16.5%）が上位に挙がっています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと



図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと

(n=242)

	回答数	構成比
1 はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた	100	41.3%
2 福祉サービスに関する情報が入手しづらかった	42	17.4%
3 どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった	37	15.3%
4 サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった	40	16.5%
5 利用を申し込んだが、窓口でたらいまわしにされた	5	2.1%
6 利用したいサービス内容ではなかった	8	3.3%
7 利用したい期間(日数)を利用することができなかった	8	3.3%
8 サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった	4	1.7%
9 サービス提供者等から不当な扱いを受けたり、暴力や差別的発言等を受けたりした	3	1.2%
10 その他	5	2.1%
11 困ったことは、特になかった	72	29.8%
無回答	6	2.5%

- 性別による福祉サービスの利用にあたって困ったことをみると、男女とも回答全体と同様に、「はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた」、「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」、「サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった」を上位に挙げています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=104)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 36.5%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 21.2%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 20.2%
女性 (n=134)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 45.5%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 16.4%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 13.4%
20歳未満 (n=0)	-	-	-
20～29歳 (n=10)	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 40.0%		はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 10.0%
30～39歳 (n=18)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 33.3%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 16.7%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった/どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった/利用したい期間(日数)を利用することができなかった 11.1%

	第1位	第2位	第3位
40～49歳 (n=20)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 25.0%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 20.0%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 15.0%
50～59歳 (n=36)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 52.8%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 19.4%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 16.7%
60～69歳 (n=74)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 36.5%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 17.6%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 13.5%
70～79歳 (n=36)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 38.9%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 16.7%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 11.1%
80歳以上 (n=47)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 59.6%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 25.5%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 21.3%

○ 地区ごとの福祉サービスの利用にあたって困ったことをみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた」、「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」、「サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった」を上位に挙げています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=48)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 41.7%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 22.9%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 16.7%
不動堂地区 (n=65)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 43.1%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 23.1%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 18.5%
北浦地区 (n=25)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 28.0%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 12.0%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった/利用したいサービス内容ではなかった/利用したい期間(日数)を利用することができなかった/サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった 4.0%
中埜地区 (n=22)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 27.3%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 22.7%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 13.6%

	第1位	第2位	第3位
青生地区 (n=18)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 61.1%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 27.8%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 16.7%
南郷地区 (n=63)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 44.4%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 20.6%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 15.9%

- 同居家族の世帯状況別に福祉サービスの利用にあたって困ったことをみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた」、「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」、「サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった」を上位に挙げています。
- そのほか、未就学児童のいる世帯では「どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった」、「利用したい期間(日数)を利用することができなかった」、介護の必要な方のいる世帯では「どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと（同居家族の世帯状況別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
未就学児童のいる世帯 (n=25)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 24.0%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 20.0%	利用したい期間(日数)を利用することができなかった 8.0%
児童・生徒のいる世帯 (n=49)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 36.7%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 22.4%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 16.3%
65歳以上のいる世帯 (n=105)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 36.2%	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった 22.9%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 17.1%
介護の必要な方のいる世帯 (n=106)	はじめは困ったが、相談するとすぐに解決できた 40.6%	サービスを利用するための手続きや説明が複雑で難しかった 18.9%	どのサービスを利用できるのかわからず、選びにくかった 17.9%

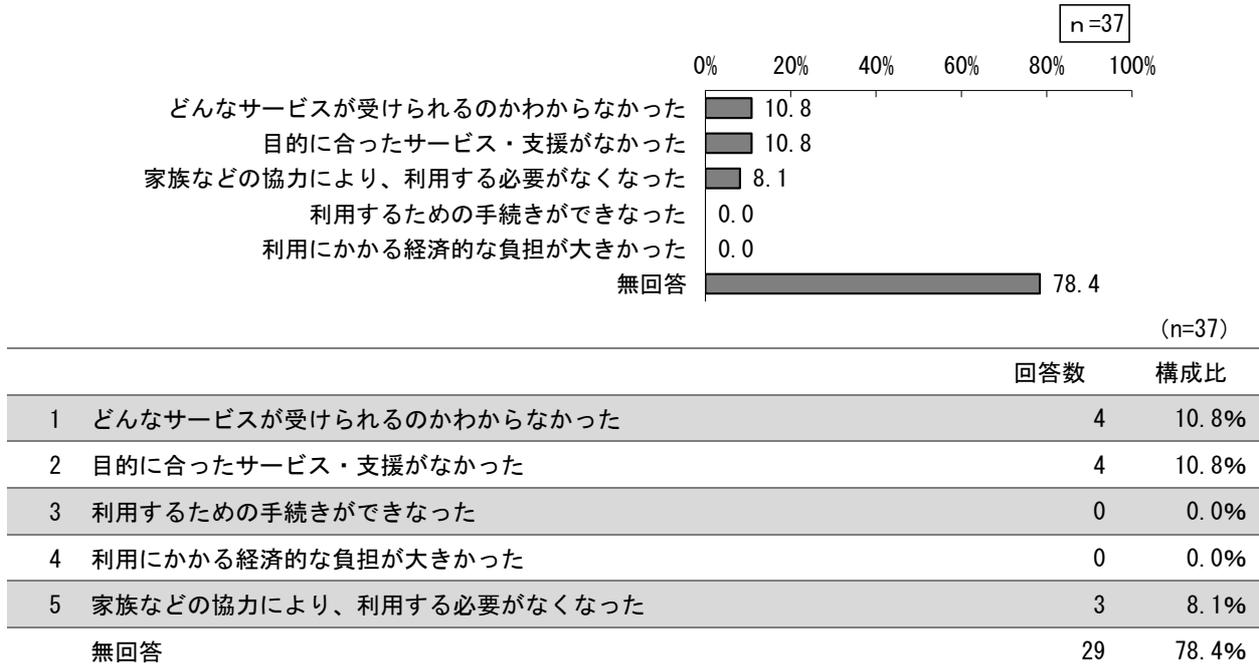
## (4) サービスを利用しなかった理由

問 前問で「4. 利用しなかった」と回答した方のみお答えください。  
サービスを利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

### ① 子育て支援

- 子育て支援のサービスを利用しなかった理由については、「どんなサービスが受けられるのかわからなかった」、「目的に合ったサービス・支援がなかった」が10.8%と最も高くなっています。

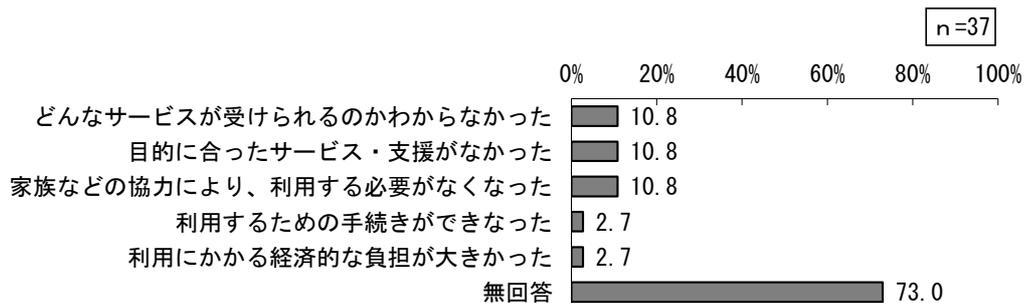
図表 子育て支援のサービスを利用しなかった理由



### ② 高齢福祉・介護保険

- 子育て支援のサービスを利用しなかった理由については、「どんなサービスが受けられるのかわからなかった」、「目的に合ったサービス・支援がなかった」と「家族などの協力により、利用する必要がなくなった」が10.8%と最も高くなっています。

図表 高齢福祉・介護保険のサービスを利用しなかった理由



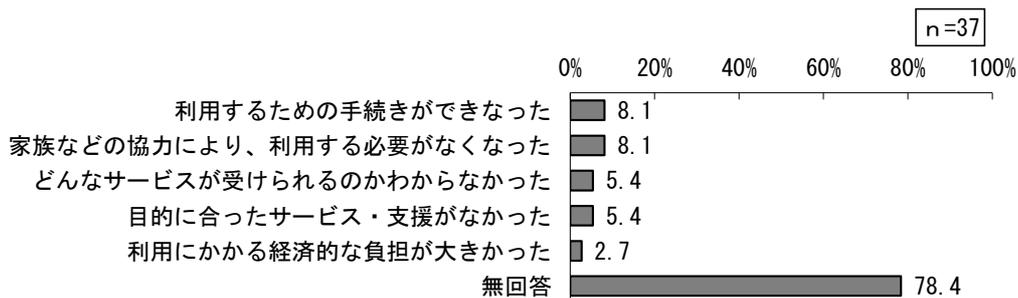
図表 高齢福祉・介護保険のサービスを利用しなかった理由

(n=37)		
	回答数	構成比
1	どんなサービスが受けられるのかわからなかった	4 10.8%
2	目的に合ったサービス・支援がなかった	4 10.8%
3	利用するための手続きができなかった	1 2.7%
4	利用にかかる経済的な負担が大きかった	1 2.7%
5	家族などの協力により、利用する必要がなくなった	4 10.8%
	無回答	27 73.0%

### ③ 障害福祉

- 子育て支援のサービスを利用しなかった理由については、「利用するための手続きができなかった」、「家族などの協力により、利用する必要がなくなった」が 8.1%と最も高く、次いで「どんなサービスが受けられるのかわからなかった」、「目的に合ったサービス・支援がなかった」(5.4%) が上位に挙がっています。

図表 障害福祉のサービスを利用しなかった理由

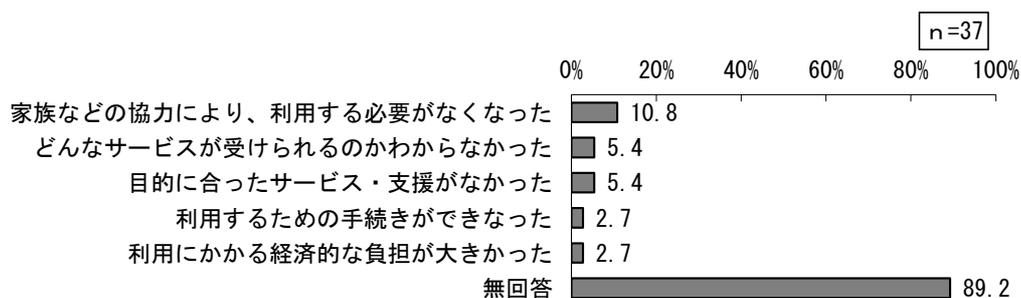


(n=37)		
	回答数	構成比
1	どんなサービスが受けられるのかわからなかった	2 5.4%
2	目的に合ったサービス・支援がなかった	2 5.4%
3	利用するための手続きができなかった	3 8.1%
4	利用にかかる経済的な負担が大きかった	1 2.7%
5	家族などの協力により、利用する必要がなくなった	3 8.1%
	無回答	29 78.4%

#### ④ その他

- 前項①～③以外に分野でサービスを利用しなかった理由については、「家族などの協力により、利用する必要がなくなった」が10.8%と最も高く、次いで「どんなサービスが受けられるのかわからなかった」、「目的に合ったサービス・支援がなかった」(5.4%)が上位に挙がっています。

図表 前項①～③以外に分野でサービスを利用しなかった理由



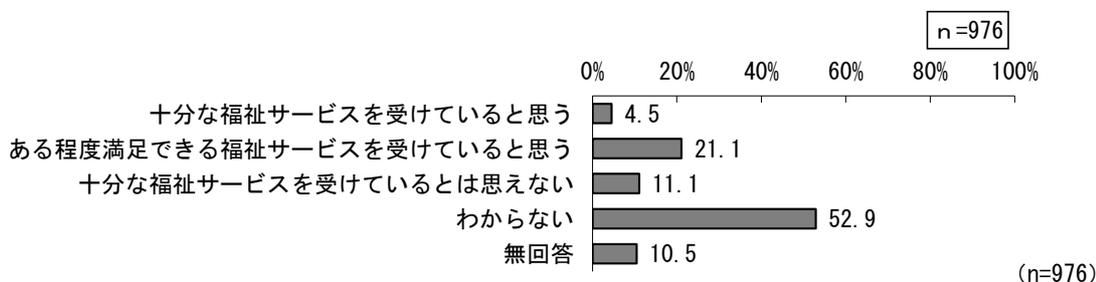
(n=37)		
	回答数	構成比
1  どんなサービスが受けられるのかわからなかった	2	5.4%
2  目的に合ったサービス・支援がなかった	2	5.4%
3  利用するための手続きができなかった	1	2.7%
4  利用にかかる経済的な負担が大きかった	1	2.7%
5  家族などの協力により、利用する必要がなくなった	4	10.8%
無回答	33	89.2%

## (5) 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについて

問 町内において、例えば介護保険や障害福祉、子育て支援サービス等の福祉サービスを必要としている人が、十分なサービスを受けていると思いますか。次の項目から選んで、その理由についてもご記入ください。(1つ選んで番号、理由を記入)

- 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについては、「わからない」が 52.9%と最も高くなっています。
- 「十分な福祉サービスを受けていると思う」(4.5%)、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」(21.1%)を合わせた3割半(25.6%)の方は“町内で十分な福祉サービスを受けられている”と感じています。一方で、「十分な福祉サービスを受けているとは思えない」と回答した方は、1割(11.1%)となっています。

図表 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについて



	回答数	構成比
1 十分な福祉サービスを受けていると思う	44	4.5%
2 ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	206	21.1%
3 十分な福祉サービスを受けているとは思えない	108	11.1%
4 わからない	516	52.9%
無回答	102	10.5%

- 性別による町内で十分な福祉サービスを受けられるかについてみると、男女ともに3割半が“町内で十分な福祉サービスを受けられている”となっています。一方で「十分な福祉サービスを受けているとは思えない」割合は、男性(10.1%)、女性(11.8%)となっています。
- 年齢別で“町内で十分な福祉サービスを受けられている”割合は、80歳以上(36.6%)、20歳未満(28.6%)、70歳代(26.5%)が、上位に挙がっています。
- 「十分な福祉サービスを受けているとは思えない」割合は、30歳代(26.2%)、20歳代(15.9%)、40歳代(12.1%)が、上位に挙がっています。

図表 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについて (性別・年齢別)

	“町内で十分な福祉サービスを受けられている”			無回答
	十分な福祉サービスを受けていると思う	ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	十分な福祉サービスを受けているとは思えない	
男性 (n=424)	3.8%	22.2%	10.1%	9.0%
女性 (n=534)	5.1%	20.4%	11.8%	11.2%

“町内で十分な福祉サービスを受けられている”				
	十分な福祉サービスを受けていると思う	ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	十分な福祉サービスを受けているとは思えない	無回答
20歳未満(n=7)	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
20～29歳(n=44)	0.0%	13.6%	15.9%	4.5%
30～39歳(n=84)	3.6%	16.7%	26.2%	4.8%
40～49歳(n=124)	2.4%	19.4%	12.1%	2.4%
50～59歳(n=135)	3.0%	20.0%	11.1%	5.9%
60～69歳(n=239)	5.4%	20.5%	10.0%	9.6%
70～79歳(n=196)	5.6%	20.9%	6.6%	17.3%
80歳以上(n=142)	5.6%	31.0%	8.5%	19.0%

※ “町内で十分な福祉サービスを受けられている”：「十分な福祉サービスを受けていると思う」、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」と回答した方

- 地区ごとの町内で十分な福祉サービスを受けられるかについてみると、“町内で十分な福祉サービスを受けられている”割合は、南郷地区(27.6%)、不動堂地区(26.9%)、小牛田地区(25.5%)が、上位に挙がっています。
- 「十分な福祉サービスを受けているとは思えない」割合は、中埜地区(13.6%)、小牛田地区(11.8%)、不動堂地区(11.0%)が、上位に挙がっています。

図表 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについて(地区別)

“町内で十分な福祉サービスを受けられている”				
	十分な福祉サービスを受けていると思う	ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	十分な福祉サービスを受けているとは思えない	無回答
小牛田地区(n=161)	6.2%	19.3%	11.8%	12.4%
不動堂地区(n=282)	3.9%	23.0%	11.0%	7.8%
北浦地区(n=128)	1.6%	18.8%	10.9%	14.8%
中埜地区(n=88)	0.0%	25.0%	13.6%	12.5%
青生地区(n=84)	4.8%	20.2%	10.7%	4.8%
南郷地区(n=224)	7.1%	20.5%	9.4%	10.7%

※ “町内で十分な福祉サービスを受けられている”：「十分な福祉サービスを受けていると思う」、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」と回答した方

- 同居家族の世帯状況別に町内で十分な福祉サービスを受けられるかについてみると、“町内で十分な福祉サービスを受けられている”割合は、介護の必要な方のいる世帯(39.5%)、未就学児童のいる世帯(27.1%)、児童・生徒のいる世帯(26.0%)が、上位に挙がっています。
- 「十分な福祉サービスを受けているとは思えない」割合は、未就学児童のいる世帯(24.7%)、児童・生徒のいる世帯(15.4%)、介護の必要な方のいる世帯(14.5%)が、上位に挙がっています。

図表 町内で十分な福祉サービスを受けられるかについて（同居家族の世帯状況別）

	“町内で十分な福祉サービスを受けられている”			無回答
	十分な福祉サービスを受けていると思う	ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	十分な福祉サービスを受けているとは思えない	
未就学児童のいる世帯 (n=85)	5.9%	21.2%	24.7%	8.2%
児童・生徒のいる世帯 (n=208)	3.4%	22.6%	15.4%	6.3%
65歳以上のいる世帯 (n=450)	3.6%	19.8%	10.2%	11.8%
介護の必要な方のいる世帯 (n=270)	6.4%	33.1%	14.5%	12.2%

※ “町内で十分な福祉サービスを受けられている”：「十分な福祉サービスを受けていると思う」、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」と回答した方

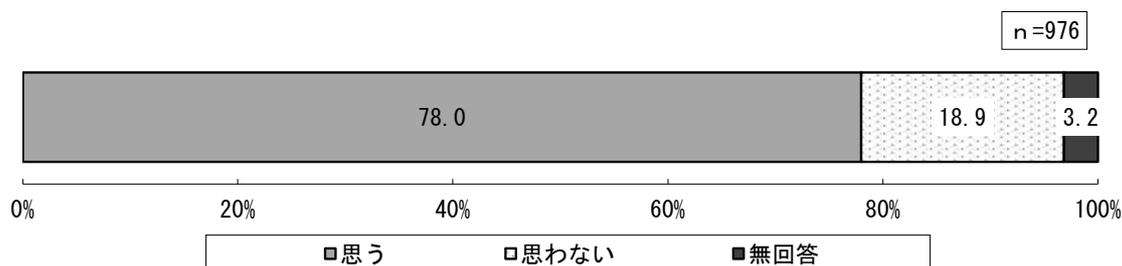
## 7 相談について

### (1) 誰かに相談したいと思うかについて

問 あなたはふだんの暮らしの中で困ったことがあるときに、誰かに相談したいと思いませんか。(1つに○)

- 困ったことがあるときに誰かに相談したいかについては、「思う」が78.0%、「思わない」が18.9%となっています。

図表 誰かに相談したいと思うかについて



	回答数	構成比
1 思う	761	78.0%
2 思わない	184	18.9%
無回答	31	3.2%

- 性別による困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、男性では71.5%、女性では83.3%となっています。

- 年齢別による困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、各年齢層で7~8割を占めています。

図表 誰かに相談したいと思うかについて (性別・年齢別)

	思う	思わない	無回答
男性 (n=424)	71.5%	25.7%	2.8%
女性 (n=534)	83.3%	13.5%	3.2%
20歳未満 (n=7)	85.7%	14.3%	0.0%
20~29歳 (n=44)	88.6%	11.4%	0.0%
30~39歳 (n=84)	84.5%	15.5%	0.0%
40~49歳 (n=124)	86.3%	13.7%	0.0%
50~59歳 (n=135)	76.3%	22.2%	1.5%
60~69歳 (n=239)	74.5%	23.4%	2.1%
70~79歳 (n=196)	74.0%	21.9%	4.1%
80歳以上 (n=142)	76.1%	13.4%	10.6%

- 地区ごとの困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、北浦地区（82.0%）、不動堂地区（81.2%）、中埜地区（80.7%）が、上位に挙がっています。

図表 誰かに相談したいと思うかについて（地区別）

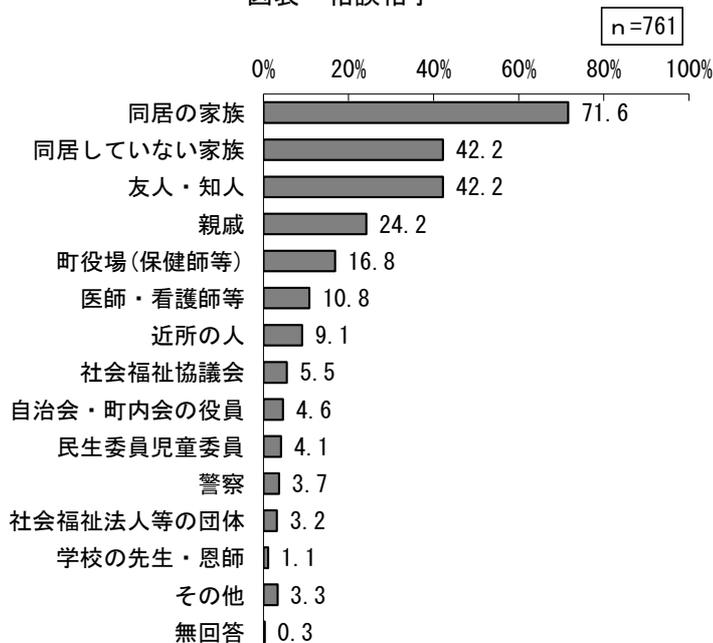
	思う	思わない	無回答
小牛田地区 (n=161)	78.9%	17.4%	3.7%
不動堂地区 (n=282)	81.2%	18.1%	0.7%
北浦地区 (n=128)	82.0%	15.6%	2.3%
中埜地区 (n=88)	80.7%	14.8%	4.5%
青生地区 (n=84)	71.4%	25.0%	3.6%
南郷地区 (n=224)	71.9%	22.8%	5.4%

## （２）相談相手

問 前問で「1. 思う」と回答した方のみお答えください。  
誰に相談したいですか。（主なもの3つまでに○）

- 前問で「思う」と回答した方 (n=761) の相談相手については、「同居の家族」が 71.6% と最も高く、次いで「同居していない家族」、「友人・知人」（ともに 42.2%）、「親戚」（24.2%）、「町役場（保健師等）」（16.8%）が上位に挙がっています。

図表 相談相手



(n=761)

	回答数	構成比
1 同居の家族	545	71.6%
2 同居していない家族	321	42.2%

	回答数	構成比
3 親戚	184	24.2%
4 民生委員児童委員	31	4.1%
5 友人・知人	321	42.2%
6 自治会・町内会の役員	35	4.6%
7 近所の人	69	9.1%
8 医師・看護師等	82	10.8%
9 町役場(保健師等)	128	16.8%
10 社会福祉協議会	42	5.5%
11 社会福祉法人等の団体	24	3.2%
12 学校の先生・恩師	8	1.1%
13 警察	28	3.7%
14 その他	25	3.3%
無回答	2	0.3%

- 性別による相談相手をみると、男女とも回答全体と同様に、「同居の家族」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「同居の家族」、「同居していない家族」、「友人・知人」を上位に挙げています。そのほか20歳未満、80歳以上では「親戚」を上位に挙げています。

図表 相談相手（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=303)	同居の家族 71.9%	友人・知人 38.6%	同居していない家族 35.0%
女性 (n=445)	同居の家族 71.0%	同居していない家族 47.4%	友人・知人 45.2%
20歳未満 (n=6)	同居の家族 83.3%	友人・知人 50.0%	親戚、民生委員児童委員、 警察 16.7%
20～29歳 (n=39)	同居の家族 79.5%	友人・知人 76.9%	同居していない家族 35.9%
30～39歳 (n=71)	同居の家族 83.1%	友人・知人 66.2%	同居していない家族 53.5%
40～49歳 (n=107)	同居の家族 81.3%	友人・知人 60.7%	同居していない家族 51.4%
50～59歳 (n=103)	同居の家族 69.9%	友人・知人 44.7%	同居していない家族 37.9%

	第1位	第2位	第3位
60～69歳 (n=178)	同居の家族 73.0%	同居していない家族 42.1%	友人・知人 33.1%
70～79歳 (n=145)	同居の家族 64.1%	同居していない家族 42.8%	友人・知人 35.2%
80歳以上 (n=108)	同居の家族 59.3%	同居していない家族 34.3%	親戚 22.2%

○ 地区ごとの相談相手を見ると、回答全体と同様に、各地区で「同居の家族」、「同居していない家族」、「友人・知人」を上位に挙げています。

図表 相談相手（地区別：上位3項目）

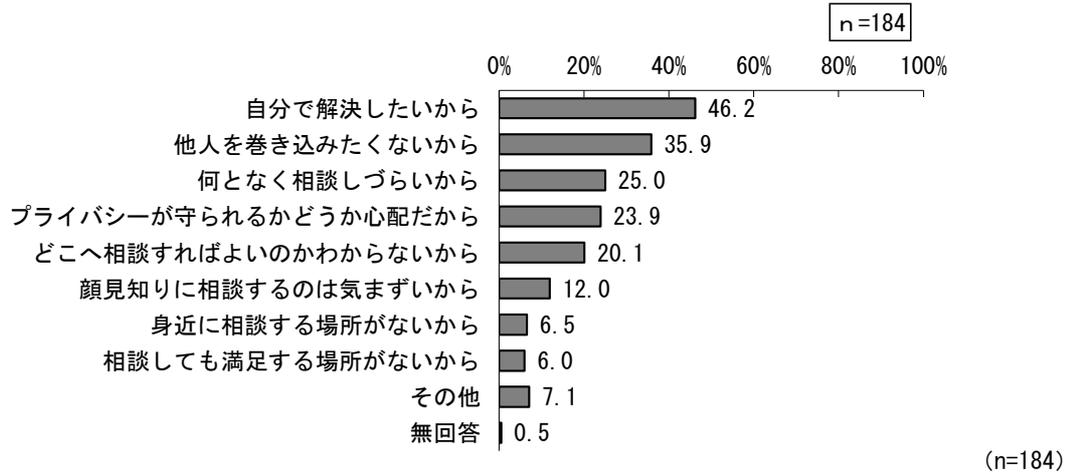
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=127)	同居の家族 74.0%	同居していない家族 44.1%	友人・知人 40.9%
不動堂地区 (n=229)	同居の家族 72.5%	同居していない家族 48.0%	友人・知人 44.5%
北浦地区 (n=105)	同居の家族 70.5%	同居していない家族 42.9%	友人・知人 41.9%
中埜地区 (n=71)	同居の家族 70.4%	友人・知人 39.4%	同居していない家族 36.6%
青生地区 (n=60)	同居の家族 63.3%	同居していない家族 53.3%	友人・知人 35.0%
南郷地区 (n=161)	同居の家族 72.0%	友人・知人 44.1%	同居していない家族 31.7%

### (3) 相談したいと思わない理由

問 前問で「2. 思わない」と回答した方のみお答えください。  
相談したいと思わない理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)

- 前問で「思わない」と回答した方 (n=184) の相談したいと思わない理由については、「自分で解決したいから」が46.2%と最も高く、次いで「他人を巻き込みたくないから」(35.9%)、「何となく相談しづらいから」(25.0%)が上位に挙がっています。

図表 相談したいと思わない理由



	回答数	構成比
1 自分で解決したいから	85	46.2%
2 他人を巻き込みたくないから	66	35.9%
3 顔見知り相談するのは気まずいから	22	12.0%
4 プライバシーが守られるかどうか心配だから	44	23.9%
5 どこへ相談すればよいかわからないから	37	20.1%
6 身近に相談する場所がないから	12	6.5%
7 相談しても満足する場所がないから	11	6.0%
8 何となく相談しづらいから	46	25.0%
9 その他	13	7.1%
無回答	1	0.5%

- 性別による相談したいと思わない理由をみると、男女とも回答全体と同様に、「自分で解決したいから」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「自分で解決したいから」、「他人を巻き込みたくないから」、「何となく相談しづらいから」を上位に挙げています。

図表 相談したいと思わない理由 (性別・年齢別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=109)	自分で解決したいから 53.2%	他人を巻き込みたくないから 37.6%	何となく相談しづらいから 22.0%

	第1位	第2位	第3位
女性 (n=72)	自分で解決したいから 36.1%	他人を巻き込みたくないから 33.3%	何となく相談しづらいから 30.6%
20歳未満 (n=1)	自分で解決したいから 100.0%	-	-
20～29歳 (n=5)	自分で解決したいから 60.0%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 40.0%	他人を巻き込みたくないから/どこへ 相談すればよいかわからないから/ 相談しても満足する場所がないから 20.0%
30～39歳 (n=13)	自分で解決したいから 38.5%	他人を巻き込みたくないから 30.8%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 何となく相談しづらいから 23.1%
40～49歳 (n=17)	どこへ相談すればよいのか わからないから 41.2%	他人を巻き込みたくないから 35.3%	自分で解決したいから 何となく相談しづらいから 23.5%
50～59歳 (n=30)	他人を巻き込みたくないから 46.7%	自分で解決したいから 43.3%	どこへ相談すればよいのか わからないから 何となく相談しづらいから 23.3%
60～69歳 (n=56)	自分で解決したいから 57.1%	他人を巻き込みたくないから 35.7%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 何となく相談しづらいから 26.8%
70～79歳 (n=43)	自分で解決したいから 48.8%	他人を巻き込みたくないから 37.2%	何となく相談しづらいから 32.6%
80歳以上 (n=19)	自分で解決したいから 31.6%	他人を巻き込みたくないから プライバシーが守られるか どうか心配だから 26.3%	

○ 地区ごとの相談したいと思わない理由をみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「自分で解決したいから」、「他人を巻き込みたくないから」、「何となく相談しづらいから」を上位に挙げています。

図表 相談したいと思わない理由（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=28)	自分で解決したいから 42.9%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 32.1%	他人を巻き込みたくないから 何となく相談しづらいから 25.0%
不動堂地区 (n=51)	自分で解決したいから 47.1%	他人を巻き込みたくないから 45.1%	どこへ相談すればよいのか わからないから 27.5%
北浦地区 (n=20)	自分で解決したいから 55.0%	他人を巻き込みたくないから/プライバシーが守られるか どうか心配だから/どこへ相談すればよいのか わからないから 30.0%	

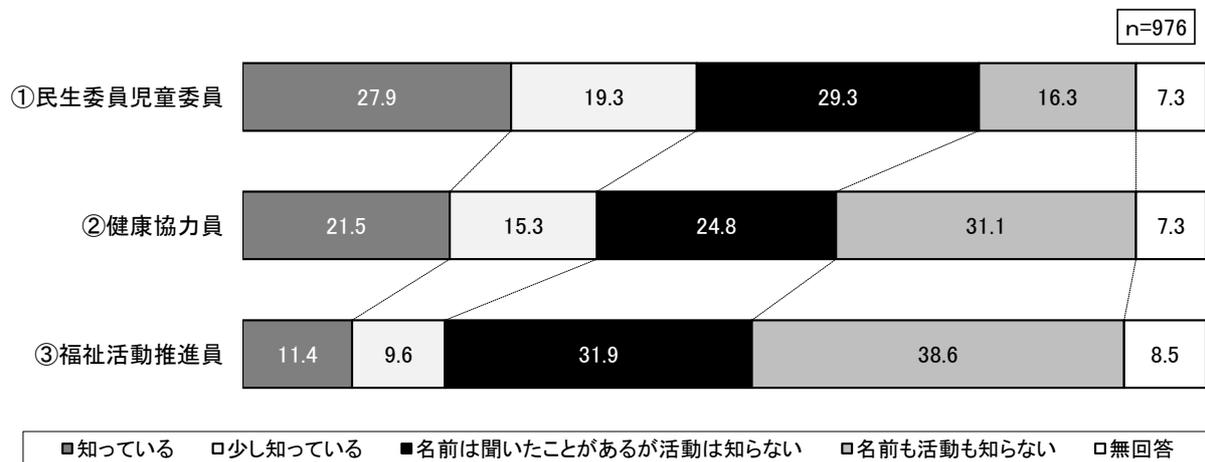
	第1位	第2位	第3位
中埜地区 (n=13)	何となく相談しづらいから 61.5%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 46.2%	自分で解決したいから 38.5%
青生地区 (n=21)	他人を巻き込みたくないから 47.6%	自分で解決したいから 42.9%	何となく相談しづらいから 33.3%
南郷地区 (n=51)	自分で解決したいから 47.1%	他人を巻き込みたくないから 31.4%	何となく相談しづらいから 21.6%

#### (4) 民生委員児童委員等の認知度

問 あなたは、「①民生委員児童委員」、「②健康協力員」、「③福祉活動推進員」の活動について、ご存知ですか。(それぞれ1つに○)

- 民生委員児童委員等の認知度については、民生委員児童委員では「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、健康協力員、福祉活動推進員では「名前も活動も知らない」の割合が最も高くなっています。
- 民生委員児童委員等の認知度について、「知っている」、「少し知っている」を合わせた“知っている”と回答した割合は、民生委員児童委員では47.2%、健康協力員では36.8%、福祉活動推進員では21.0%となっています。

図表 民生委員児童委員等の認知度



(n=976)

	回答数	構成比
① 民生委員児童委員	1 知っている	272 27.9%
	2 少し知っている	188 19.3%
	3 名前は聞いたことがあるが活動は知らない	286 29.3%
	4 名前も活動も知らない	159 16.3%
	無回答	71 7.3%

		回答数	構成比
② 健康協力員	1 知っている	210	21.5%
	2 少し知っている	149	15.3%
	3 名前は聞いたことがあるが活動は知らない	242	24.8%
	4 名前も活動も知らない	304	31.1%
	無回答	71	7.3%
③ 福祉活動推進員	1 知っている	111	11.4%
	2 少し知っている	94	9.6%
	3 名前は聞いたことがあるが活動は知らない	311	31.9%
	4 名前も活動も知らない	377	38.6%
	無回答	83	8.5%

### ① 民生委員児童委員

- 性別による民生委員児童委員の認知度をみると、“知っている”と回答した割合は、男性では43.9%、女性では50.0%となっています。
- 年齢別に“知っている”と回答した割合をみると、70歳代(57.7%)、60歳代(54.0%)、80歳以上(53.5%)が上位に挙がっています。

図表 民生委員児童委員（性別・年齢別）

	“知っている”		“知らない”		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	名前も活動も知らない	
男性 (n=424)	26.2%	17.7%	29.5%	20.5%	6.1%
女性 (n=534)	29.2%	20.8%	29.0%	13.1%	7.9%
20歳未満 (n=7)	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
20～29歳 (n=44)	6.8%	13.6%	31.8%	45.5%	2.3%
30～39歳 (n=84)	13.1%	7.1%	40.5%	38.1%	1.2%
40～49歳 (n=124)	20.2%	15.3%	42.7%	21.8%	0.0%
50～59歳 (n=135)	24.4%	25.9%	33.3%	13.3%	3.0%
60～69歳 (n=239)	29.3%	24.7%	28.9%	13.0%	4.2%
70～79歳 (n=196)	37.8%	19.9%	22.4%	7.7%	12.2%
80歳以上 (n=142)	37.3%	16.2%	16.2%	9.2%	21.1%

※ “知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

※ “知らない”：「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

- 地区別による民生委員児童委員の認知度をみると、“知っている”と回答した割合は、北浦地区（60.1%）、中埜地区（54.6%）、小牛田地区（44.7%）が上位に挙がっています。

図表 民生委員児童委員（地区別）

	“知っている”		“知らない”		
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	名前も活動も知らない	無回答
小牛田地区(n=161)	27.3%	17.4%	30.4%	18.0%	6.8%
不動堂地区(n=282)	22.3%	20.9%	34.4%	16.0%	6.4%
北浦地区(n=128)	39.8%	20.3%	21.9%	16.4%	1.6%
中埜地区(n=88)	34.1%	20.5%	25.0%	12.5%	8.0%
青生地区(n=84)	29.8%	13.1%	28.6%	20.2%	8.3%
南郷地区(n=224)	25.0%	19.6%	29.0%	15.6%	10.7%

※ “知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

※ “知らない”：「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

## ② 健康協力員

- 性別による健康協力員の認知度をみると、“知っている”と回答した割合は、男性では33.0%、女性では40.2%となっています。
- 年齢別に“知っている”と回答した割合をみると、70歳代（50.0%）、60歳代（44.0%）、80歳以上（38.7%）が上位に挙がっています。

図表 健康協力員（性別・年齢別）

	“知っている”		“知らない”		
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	名前も活動も知らない	無回答
男性(n=424)	17.9%	15.1%	23.6%	37.3%	6.1%
女性(n=534)	24.5%	15.7%	26.0%	26.4%	7.3%
20歳未満(n=7)	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
20～29歳(n=44)	4.5%	6.8%	20.5%	68.2%	0.0%
30～39歳(n=84)	6.0%	10.7%	29.8%	52.4%	1.2%
40～49歳(n=124)	15.3%	12.9%	29.8%	41.9%	0.0%
50～59歳(n=135)	16.3%	17.0%	28.9%	34.1%	3.7%
60～69歳(n=239)	26.8%	17.2%	25.5%	26.4%	4.2%
70～79歳(n=196)	31.6%	18.4%	23.0%	16.8%	10.2%
80歳以上(n=142)	23.9%	14.8%	16.2%	21.8%	23.2%

※ “知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

※ “知らない”：「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

- 地区別による健康協力員の認知度をみると、“知っている”と回答した割合は、北浦地区（45.3%）、南郷地区（44.7%）、中埜地区（37.5%）が上位に挙がっています。

図表 健康協力員（地区別）

	“知っている”		“知らない”		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	名前も活動も知らない	
小牛田地区 (n=161)	19.9%	13.7%	29.2%	30.4%	6.8%
不動堂地区 (n=282)	14.5%	14.5%	27.7%	36.5%	6.7%
北浦地区 (n=128)	30.5%	14.8%	23.4%	28.9%	2.3%
中埜地区 (n=88)	20.5%	17.0%	22.7%	29.5%	10.2%
青生地区 (n=84)	19.0%	16.7%	25.0%	29.8%	9.5%
南郷地区 (n=224)	27.7%	17.0%	20.5%	26.8%	8.0%

※ “知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

※ “知らない”：「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

### ③ 福祉活動推進員

- 性別による福祉活動推進員の認知度をみると、“知っている”と回答した割合は、男性では21.9%、女性では20.2%となっています。
- 年齢別に“知っている”と回答した割合をみると、70歳代（29.6%）、80歳以上（26.8%）、60歳代（20.9%）が上位に挙がっています。

図表 福祉活動推進員（性別・年齢別）

	“知っている”		“知らない”		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	名前も活動も知らない	
男性 (n=424)	11.3%	10.6%	29.5%	42.2%	6.4%
女性 (n=534)	11.2%	9.0%	34.3%	36.1%	9.4%
20歳未満 (n=7)	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
20～29歳 (n=44)	0.0%	11.4%	25.0%	63.6%	0.0%
30～39歳 (n=84)	3.6%	6.0%	36.9%	52.4%	1.2%
40～49歳 (n=124)	9.7%	4.8%	40.3%	45.2%	0.0%
50～59歳 (n=135)	7.4%	11.1%	33.3%	44.4%	3.7%
60～69歳 (n=239)	11.3%	9.6%	34.3%	40.6%	4.2%
70～79歳 (n=196)	18.4%	11.2%	31.1%	26.5%	12.8%
80歳以上 (n=142)	14.8%	12.0%	20.4%	24.6%	28.2%

※ “知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

※ “知らない”：「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

- 地区別による福祉活動推進員の認知度をみると、“知っている”と回答した割合は、南郷地区（27.7%）、北浦地区（26.5%）、中埜地区（21.6%）が上位に挙がっています。

図表 福祉活動推進員（地区別）

	“知っている”		“知らない”		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが活動は知らない	名前も活動も知らない	
小牛田地区 (n=161)	11.2%	6.8%	32.3%	42.2%	7.5%
不動堂地区 (n=282)	7.4%	8.5%	32.6%	43.3%	8.2%
北浦地区 (n=128)	14.8%	11.7%	28.9%	39.1%	5.5%
中埜地区 (n=88)	10.2%	11.4%	35.2%	31.8%	11.4%
青生地区 (n=84)	8.3%	8.3%	33.3%	39.3%	10.7%
南郷地区 (n=224)	15.6%	12.1%	31.7%	32.1%	8.5%

※ “知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

※ “知らない”：「名前は聞いたことがあるが活動は知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

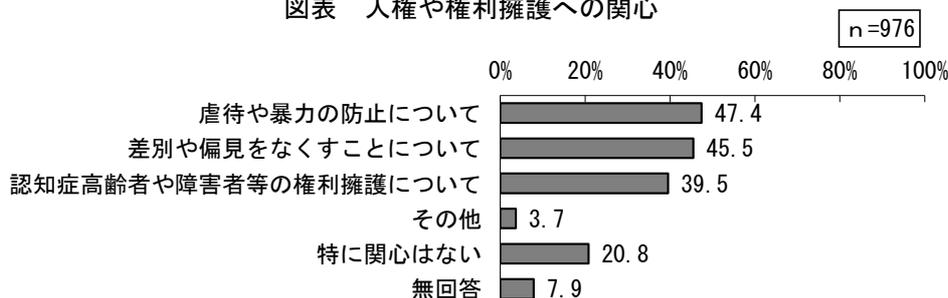
## 8 人権・権利擁護について

### (1) 人権や権利擁護への関心

問 あなたは、人権や権利擁護に関するどのようなことに関心がありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 人権や権利擁護への関心については、「虐待や暴力の防止について」が47.4%と最も高く、次いで「差別や偏見をなくすことについて」(45.5%)、「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」(39.5%)が上位に挙がっています。

図表 人権や権利擁護への関心



(n=976)

	回答数	構成比
1 虐待や暴力の防止について	463	47.4%
2 認知症高齢者や障害者等の権利擁護について	386	39.5%
3 差別や偏見をなくすことについて	444	45.5%
4 その他	36	3.7%
5 特に関心はない	203	20.8%
無回答	77	7.9%

- 性別による人権や権利擁護への関心をみると、男性では「差別や偏見をなくすことについて」(49.8%)、女性では回答全体と同様に、「虐待や暴力の防止について」(47.0%)が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で「虐待や暴力の防止について」、「差別や偏見をなくすことについて」、「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」を上位に挙げています。

図表 人権や権利擁護への関心(性別・年齢別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
男性(n=424)	差別や偏見をなくすことについて 49.8%	虐待や暴力の防止について 49.1%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 36.8%
女性(n=534)	虐待や暴力の防止について 47.0%	差別や偏見をなくすことについて 42.7%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 42.5%

	第1位	第2位	第3位
20歳未満 (n=7)	差別や偏見をなくすことについて 57.1%	虐待や暴力の防止について 認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 28.6%	
20～29歳 (n=44)	虐待や暴力の防止について 56.8%	差別や偏見をなくすことについて 52.3%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 34.1%
30～39歳 (n=84)	虐待や暴力の防止について 54.8%	差別や偏見をなくすことについて 45.2%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 27.4%
40～49歳 (n=124)	虐待や暴力の防止について 51.6%	差別や偏見をなくすことについて 46.8%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 33.1%
50～59歳 (n=135)	虐待や暴力の防止について 49.6%	差別や偏見をなくすことについて 47.4%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 43.7%
60～69歳 (n=239)	虐待や暴力の防止について 50.2%	差別や偏見をなくすことについて 49.0%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 42.7%
70～79歳 (n=196)	差別や偏見をなくすことについて 46.9%	虐待や暴力の防止について 44.4%	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 42.9%
80歳以上 (n=142)	認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 42.3%	虐待や暴力の防止について 35.2%	差別や偏見をなくすことについて 31.0%

- 地区ごとの人権や権利擁護への関心をみると、回答全体と同様に、各地区で「虐待や暴力の防止について」、「差別や偏見をなくすことについて」、「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」を上位に挙げています。

図表 人権や権利擁護への関心（地区別：上位3項目）

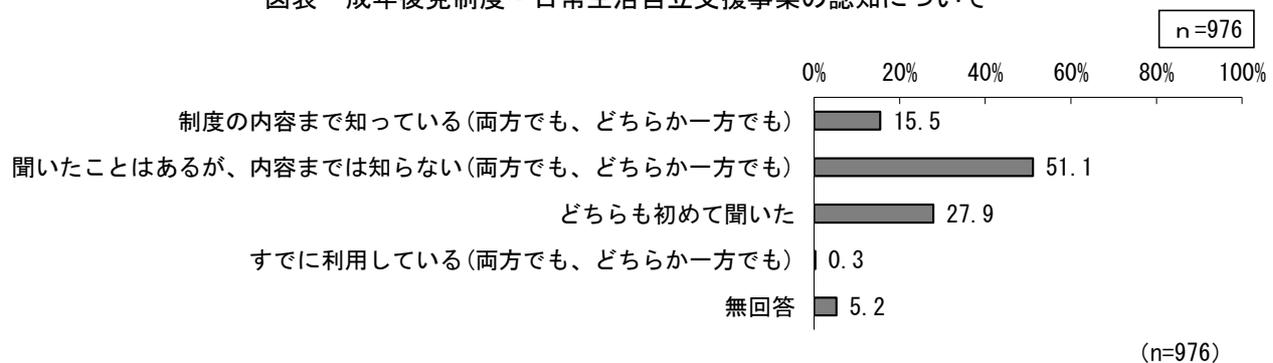
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	虐待や暴力の防止について 差別や偏見をなくすことについて 46.0%		認知症高齢者や障害者等の 権利擁護について 42.9%
不動堂地区 (n=282)	虐待や暴力の防止について 51.4%	差別や偏見をなくすことについて 48.6%	認知症高齢者や障害者等の 権利擁護について 42.2%
北浦地区 (n=128)	虐待や暴力の防止について 51.6%	差別や偏見をなくすことについて 48.4%	認知症高齢者や障害者等の 権利擁護について 42.2%
中埜地区 (n=88)	虐待や暴力の防止について 56.8%	認知症高齢者や障害者等の 権利擁護について 46.6%	差別や偏見をなくすことについて 42.0%
青生地区 (n=84)	差別や偏見をなくすことについて 41.7%		虐待や暴力の防止について 認知症高齢者や障害者等の権利擁護について 35.7%
南郷地区 (n=224)	虐待や暴力の防止について 42.9%	差別や偏見をなくすことについて 41.1%	認知症高齢者や障害者等の 権利擁護について 32.1%

## (2) 成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知について

問 あなたは、成年後見制度あるいは日常生活自立支援事業について、どの程度ご存知ですか。(1つに○)

- 成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知については、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が51.1%と最も高くなっています。
- 「制度の内容まで知っている」(15.5%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」(51.1%)を合わせた“制度を認知している”割合は66.6%となっています。
- 「すでに利用している」は0.3%、「どちらも初めて聞いた」は27.9%となっています。

図表 成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知について



	回答数	構成比
1 制度の内容まで知っている(両方でも、どちらか一方でも)	151	15.5%
2 聞いたことはあるが、内容までは知らない(両方でも、どちらか一方でも)	499	51.1%
3 どちらも初めて聞いた	272	27.9%
4 すでに利用している(両方でも、どちらか一方でも)	3	0.3%
無回答	51	5.2%

- 性別による成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知についてみると、“制度を認知している”割合は、男性(66.5%)、女性(67.1%)となっています。一方で「どちらも初めて聞いた」割合は、男性(29.7%)、女性(26.6%)となっています。
- 年齢別の“制度を認知している”割合は、60歳代(75.3%)、70歳代(70.9%)、50歳代(67.5%)が、上位に挙がっています。
- 「どちらも初めて聞いた」割合は、20歳未満(85.7%)、20歳代(54.5%)、40歳代(35.5%)が、上位に挙がっています。

図表 成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知について(性別・年齢別)

	“制度を認知している”				
	制度の内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	どちらも初めて聞いた	すでに利用している	無回答
男性(n=424)	16.7%	49.8%	29.7%	0.0%	3.8%
女性(n=534)	15.0%	52.1%	26.6%	0.6%	5.8%

	“制度を認知している”				
	制度の内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	どちらも初めて聞いた	すでに利用している	無回答
20歳未満 (n=7)	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=44)	15.9%	29.5%	54.5%	0.0%	0.0%
30～39歳 (n=84)	15.5%	47.6%	34.5%	0.0%	2.4%
40～49歳 (n=124)	20.2%	44.4%	35.5%	0.0%	0.0%
50～59歳 (n=135)	15.6%	51.9%	28.9%	1.5%	2.2%
60～69歳 (n=239)	15.9%	59.4%	22.2%	0.0%	2.5%
70～79歳 (n=196)	15.3%	55.6%	20.9%	0.0%	8.2%
80歳以上 (n=142)	12.0%	47.2%	24.6%	0.7%	15.5%

※ “制度を認知している”：「制度の内容まで知っている」、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」と回答した方

○ 地区ごとの成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知についてみると、“制度を認知している”割合は、北浦地区（73.4%）、不動堂地区（70.2%）、南郷地区（65.2%）が、上位に挙がっています。

○ 「どちらも初めて聞いた」割合は、中埜地区（34.1%）、小牛田地区（30.4%）、青生地区（28.6%）が、上位に挙がっています。

図表 成年後見制度・日常生活自立支援事業の認知について（地区別）

	“制度を認知している”				
	制度の内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	どちらも初めて聞いた	すでに利用している	無回答
小牛田地区 (n=161)	17.4%	46.6%	30.4%	0.6%	5.0%
不動堂地区 (n=282)	15.2%	55.0%	27.3%	0.4%	2.1%
北浦地区 (n=128)	16.4%	57.0%	22.7%	0.0%	3.9%
中埜地区 (n=88)	14.8%	44.3%	34.1%	0.0%	6.8%
青生地区 (n=84)	13.1%	51.2%	28.6%	0.0%	7.1%
南郷地区 (n=224)	15.6%	49.6%	27.2%	0.0%	7.6%

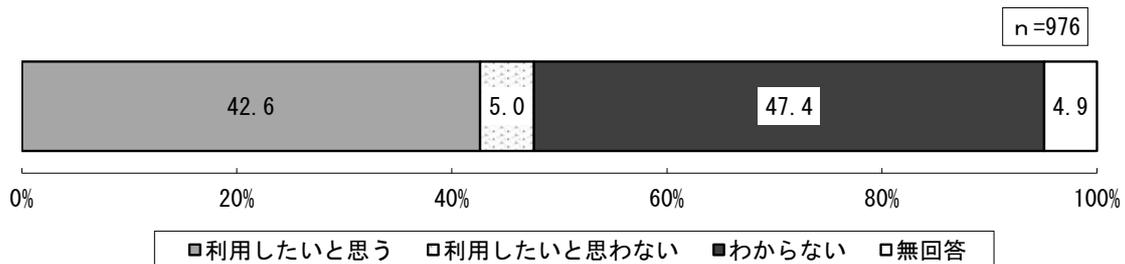
※ “制度を認知している”：「制度の内容まで知っている」、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」と回答した方

### (3) 権利擁護制度の利用意向

問 あなたや家族の判断能力が不十分となった場合、上記のような権利擁護の制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

- 権利擁護制度の利用意向については、「利用したいと思う」が42.6%、「利用したいと思わない」が5.0%となっています。
- 「わからない」と回答した割合は47.4%となっています。

図表 権利擁護制度の利用意向



(n=976)		
	回答数	構成比
1 利用したいと思う	416	42.6%
2 利用したいと思わない	49	5.0%
3 わからない	463	47.4%
無回答	48	4.9%

- 性別による権利擁護制度の利用意向をみると、「利用したいと思う」と回答した割合は、男性では44.3%、女性では41.4%となっています。
- 年齢別の「利用したいと思う」割合は、30歳代(61.9%)、20歳代(61.4%)、40歳代(57.3%)が上位に挙がっています。

図表 権利擁護制度の利用意向(性別・年齢別)

	利用したいと思う	利用したいと思わない	わからない	無回答
男性(n=424)	44.3%	5.9%	46.5%	3.3%
女性(n=534)	41.4%	4.3%	48.7%	5.6%
20歳未満(n=7)	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%
20~29歳(n=44)	61.4%	2.3%	34.1%	2.3%
30~39歳(n=84)	61.9%	3.6%	33.3%	1.2%
40~49歳(n=124)	57.3%	2.4%	39.5%	0.8%
50~59歳(n=135)	45.9%	2.2%	48.1%	3.7%
60~69歳(n=239)	38.5%	5.9%	53.6%	2.1%
70~79歳(n=196)	30.6%	5.6%	57.7%	6.1%
80歳以上(n=142)	34.5%	9.9%	40.8%	14.8%

- 地区別による権利擁護制度の利用意向をみると、「利用したいと思う」と回答した割合は、不動堂地区（48.6%）、北浦地区（46.9%）、青生地区（40.5%）が、上位に挙がっています。

図表 権利擁護制度の利用意向（地区別）

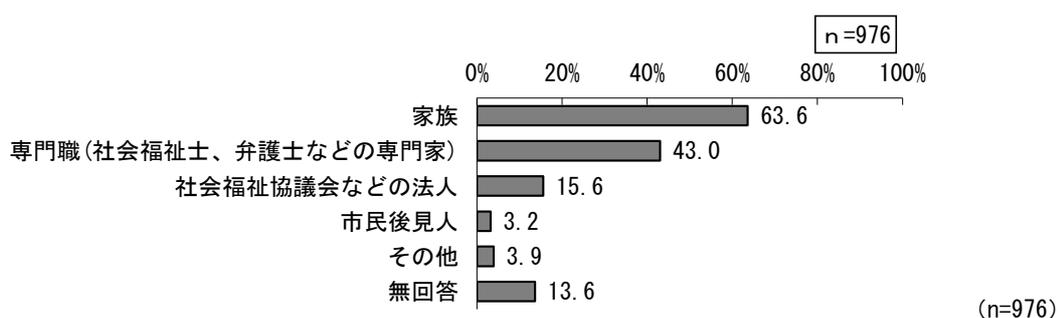
	利用したいと思う	利用したいと思わない	わからない	無回答
小牛田地区 (n=161)	39.8%	4.3%	49.1%	6.8%
不動堂地区 (n=282)	48.6%	4.6%	44.3%	2.5%
北浦地区 (n=128)	46.9%	5.5%	44.5%	3.1%
中埜地区 (n=88)	37.5%	3.4%	51.1%	8.0%
青生地区 (n=84)	40.5%	6.0%	47.6%	6.0%
南郷地区 (n=224)	38.4%	6.3%	50.9%	4.5%

#### （４）成年後見人を任せたい相手

問 成年後見制度を利用するにあたって、誰に成年後見人を任せたいですか。  
（主なものを3つまでに○）

- 成年後見人を任せたい相手については、「家族」が63.6%と最も高く、次いで「専門職（社会福祉士、弁護士などの専門家）」（43.0%）、「社会福祉協議会などの法人」（15.6%）が上位に挙がっています。

図表 成年後見人を任せたい相手



	回答数	構成比
1 専門職(社会福祉士、弁護士などの専門家)	420	43.0%
2 家族	621	63.6%
3 市民後見人	31	3.2%
4 社会福祉協議会などの法人	152	15.6%
5 その他	38	3.9%
無回答	133	13.6%

- 性別による成年後見人を任せたい相手を見ると、男女とも回答全体と同様に、「家族」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で「家族」、「専門職(社会福祉士、弁護士などの専門家)」、「社会福祉協議会などの法人」を上位に挙げています。

図表 成年後見人を任せたい相手（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=424)	家族 60.4%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 44.1%	社会福祉協議会などの法人 17.2%
女性 (n=534)	家族 66.3%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 42.5%	社会福祉協議会などの法人 14.6%
20歳未満 (n=7)	家族 71.4%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 42.9%	- -
20～29歳 (n=44)	家族 75.0%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 56.8%	社会福祉協議会などの法人 11.4%
30～39歳 (n=84)	家族 71.4%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 59.5%	社会福祉協議会などの法人 25.0%
40～49歳 (n=124)	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 66.1%	家族 62.9%	社会福祉協議会などの法人 16.1%
50～59歳 (n=135)	家族 60.0%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 55.6%	社会福祉協議会などの法人 15.6%
60～69歳 (n=239)	家族 65.3%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 40.2%	社会福祉協議会などの法人 15.9%
70～79歳 (n=196)	家族 60.7%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 28.6%	社会福祉協議会などの法人 13.8%
80歳以上 (n=142)	家族 61.3%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 22.5%	社会福祉協議会などの法人 14.1%

- 地区ごとの成年後見人を任せたい相手を見ると、回答全体と同様に、各地区で「家族」、「専門職(社会福祉士、弁護士などの専門家)」、「社会福祉協議会などの法人」を上位に挙げています。

図表 成年後見人を任せたい相手（地区別：上位3項目）

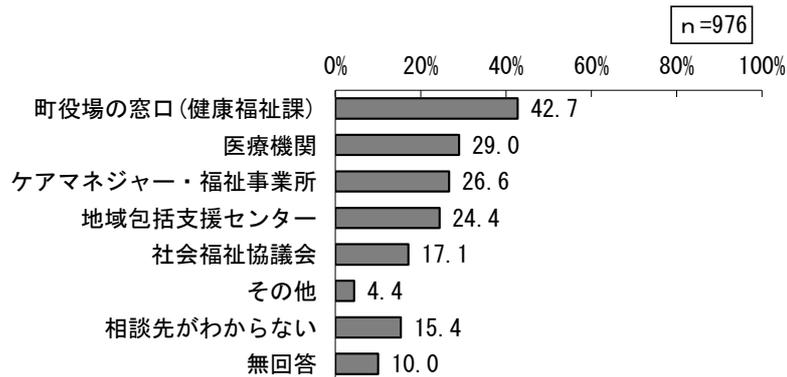
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	家族 65.2%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 43.5%	社会福祉協議会などの法人 16.8%
不動堂地区 (n=282)	家族 68.1%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 42.6%	社会福祉協議会などの法人 13.1%
北浦地区 (n=128)	家族 56.3%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 43.8%	社会福祉協議会などの法人 18.8%
中埜地区 (n=88)	家族 63.6%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 42.0%	社会福祉協議会などの法人 20.5%
青生地区 (n=84)	家族 56.0%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 48.8%	社会福祉協議会などの法人 16.7%
南郷地区 (n=224)	家族 64.3%	専門職(社会福祉士、弁護士 などの専門家) 41.1%	社会福祉協議会などの法人 14.3%

## (5) 判断能力が不十分となった場合の相談先

問 あなたや家族の判断能力が不十分となった場合、どこに相談しようと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 判断能力が不十分となった場合の相談先については、「町役場の窓口(健康福祉課)」が42.7%と最も高く、次いで「医療機関」(29.0%)、「ケアマネジャー・福祉事業所」(26.6%)が上位に挙がっています。

図表 判断能力が不十分となった場合の相談先



(n=976)

	回答数	構成比
1 地域包括支援センター	238	24.4%
2 町役場の窓口(健康福祉課)	417	42.7%
3 社会福祉協議会	167	17.1%
4 ケアマネジャー・福祉事業所	260	26.6%
5 医療機関	283	29.0%
6 その他	43	4.4%
7 相談先がわからない	150	15.4%
無回答	98	10.0%

- 性別による判断能力が不十分となった場合の相談先をみると、男女とも回答全体と同様に、「町役場の窓口(健康福祉課)」が最も高くなっています。
- 年齢別では、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「町役場の窓口(健康福祉課)」、「医療機関」、「ケアマネジャー・福祉事業所」を上位に挙げています。そのほか20歳未満、20歳代、40歳代、50歳代、80歳以上では「地域包括支援センター」を上位に挙げています。

図表 判断能力が不十分となった場合の相談先（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=424)	町役場の窓口(健康福祉課) 43.2%	医療機関 24.8%	ケアマネジャー・福祉事業所 23.3%
女性 (n=534)	町役場の窓口(健康福祉課) 42.3%	医療機関 33.0%	ケアマネジャー・福祉事業所 29.6%
20歳未満 (n=7)	医療機関 42.9%	町役場の窓口(健康福祉課) ケアマネジャー・福祉事業所 28.6%	
20～29歳 (n=44)	医療機関 38.6%	町役場の窓口(健康福祉課) 36.4%	地域包括支援センター 18.2%
30～39歳 (n=84)	町役場の窓口(健康福祉課) 46.4%	医療機関 42.9%	ケアマネジャー・福祉事業所 26.2%
40～49歳 (n=124)	町役場の窓口(健康福祉課) 48.4%	医療機関 34.7%	地域包括支援センター 27.4%
50～59歳 (n=135)	町役場の窓口(健康福祉課) 39.3%	医療機関 30.4%	地域包括支援センター 28.1%
60～69歳 (n=239)	町役場の窓口(健康福祉課) 40.6%	ケアマネジャー・福祉事業所 31.0%	医療機関 28.0%
70～79歳 (n=196)	町役場の窓口(健康福祉課) 44.4%	医療機関 24.5%	ケアマネジャー・福祉事業所 23.5%
80歳以上 (n=142)	町役場の窓口(健康福祉課) 42.3%	ケアマネジャー・福祉事業所 30.3%	地域包括支援センター 23.2%

- 地区ごとの判断能力が不十分となった場合の相談先をみると、回答全体と同様に、各地区で概ね「町役場の窓口(健康福祉課)」、「医療機関」、「ケアマネジャー・福祉事業所」を上位に挙げています。そのほか不動堂地区、青生地区では「地域包括支援センター」を上位に挙げています。

図表 判断能力が不十分となった場合の相談先（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=161)	町役場の窓口(健康福祉課) 36.6%	医療機関 29.8%	ケアマネジャー・福祉事業所 28.6%
不動堂地区 (n=282)	町役場の窓口(健康福祉課) 45.4%	医療機関 28.7%	地域包括支援センター 23.0%
北浦地区 (n=128)	町役場の窓口(健康福祉課) 44.5%	医療機関 32.8%	ケアマネジャー・福祉事業所 29.7%
中埜地区 (n=88)	町役場の窓口(健康福祉課) 42.0%	ケアマネジャー・福祉事業所 34.1%	医療機関 26.1%
青生地区 (n=84)	町役場の窓口(健康福祉課) 46.4%	地域包括支援センター 33.3%	医療機関 29.8%
南郷地区 (n=224)	町役場の窓口(健康福祉課) 40.6%	ケアマネジャー・福祉事業所 29.9%	医療機関 26.8%

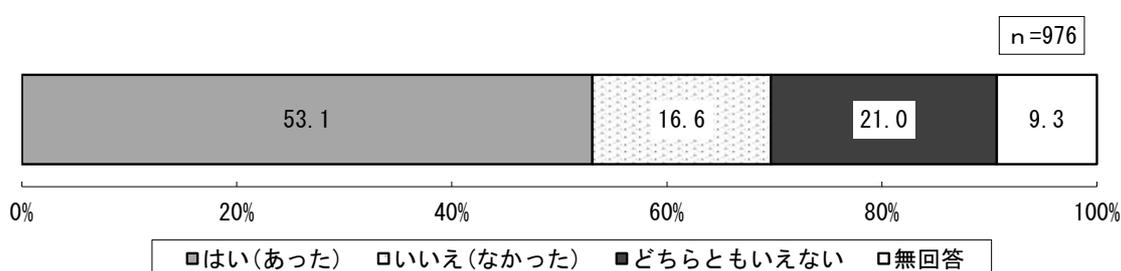
## 9 新しい生活様式について

### (1) 新しい生活様式による環境変化

問 あなたは新しい生活様式になって環境に変化はありましたか。(1つに○)

- 新しい生活様式による環境変化については、「はい(あった)」が53.1%、「いいえ(なかった)」が16.6%となっています。
- 「どちらともいえない」と回答した割合は21.0%となっています。

図表 新しい生活様式による環境変化



(n=976)		
	回答数	構成比
1 はい(あった)	518	53.1%
2 いいえ(なかった)	162	16.6%
3 どちらともいえない	205	21.0%
無回答	91	9.3%

- 性別による新しい生活様式による環境変化をみると、「はい(あった)」と回答した割合は、男性では50.2%、女性では55.8%となっています。
- 年齢別の「はい(あった)」と回答した割合は、30歳代(78.6%)、20歳代(68.2%)、40歳代(66.1%)が上位に挙がっています。

図表 新しい生活様式による環境変化(性別・年齢別)

	はい(あった)	いいえ(なかった)	どちらともいえない	無回答
男性(n=424)	50.2%	17.0%	23.3%	9.4%
女性(n=534)	55.8%	15.9%	19.3%	9.0%
20歳未満(n=7)	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%
20~29歳(n=44)	68.2%	15.9%	13.6%	2.3%
30~39歳(n=84)	78.6%	8.3%	11.9%	1.2%
40~49歳(n=124)	66.1%	12.1%	18.5%	3.2%
50~59歳(n=135)	54.8%	11.1%	26.7%	7.4%
60~69歳(n=239)	55.2%	16.7%	20.1%	7.9%

	はい(あった)	いいえ(なかった)	どちらともいえない	無回答
70～79 歳 (n=196)	40.8%	18.9%	27.0%	13.3%
80 歳以上 (n=142)	33.8%	27.5%	19.0%	19.7%

- 地区別による権利擁護制度の利用意向をみると、「はい(あった)」と回答した割合は、不動堂地区 (57.8%)、北浦地区 (57.0%)、小牛田地区 (52.8%) が、上位に挙がっています。

図表 新しい生活様式による環境変化 (地区別)

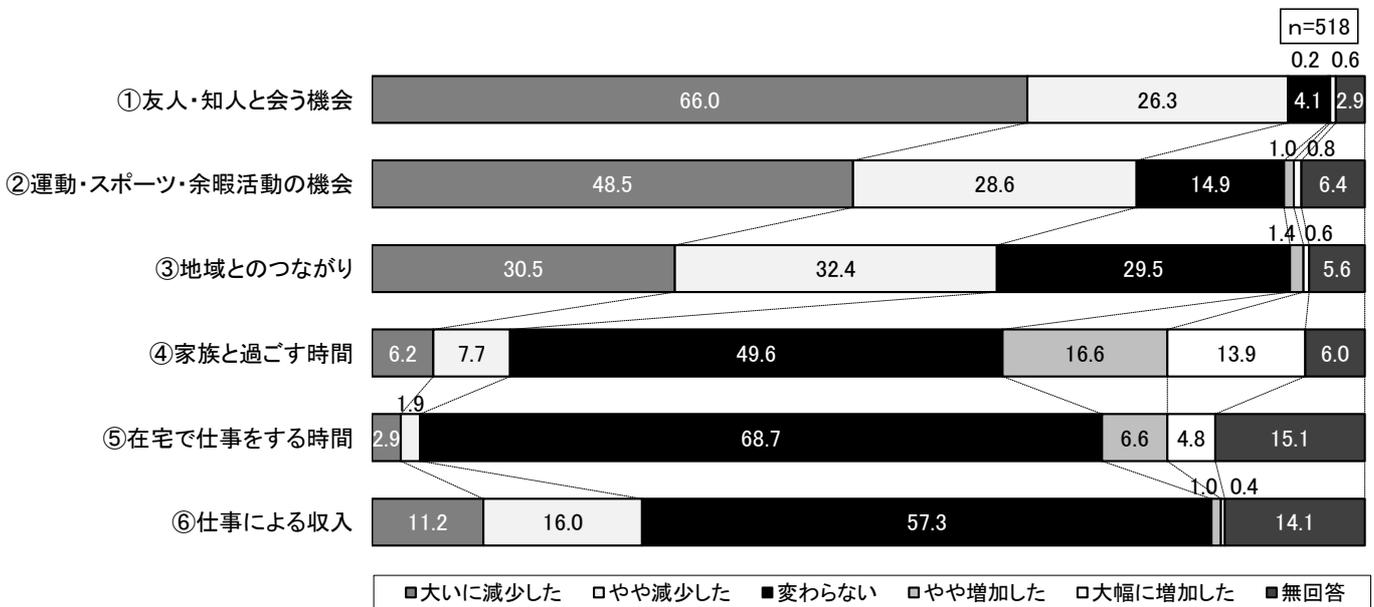
	はい(あった)	いいえ(なかった)	どちらともいえない	無回答
小牛田地区 (n=161)	52.8%	16.1%	21.7%	9.3%
不動堂地区 (n=282)	57.8%	13.8%	22.0%	6.4%
北浦地区 (n=128)	57.0%	18.0%	17.2%	7.8%
中埜地区 (n=88)	48.9%	15.9%	20.5%	14.8%
青生地区 (n=84)	45.2%	17.9%	26.2%	10.7%
南郷地区 (n=224)	49.6%	19.6%	20.1%	10.7%

## (2) 新しい生活様式による環境変化の内容

問 前問で「1. はい（あった）」と回答した方のみお答えください。  
それはどのような変化ですか。（それぞれの項目で、あてはまるもの1つに○）

- 前問で「はい（あった）」と回答した方（n=518）の新しい生活様式による環境変化の内容については、「大いに減少した」、「やや減少した」を合わせた“機会が減少した”項目として「友人・知人と会う機会」（92.3%）、「運動・スポーツ・余暇活動の機会」（77.1%）、「地域とのつながり」（62.9%）が上位に挙がっています。
- 「やや増加した」、「大幅に増加した」を合わせた“機会が増加した”項目では、「家族と過ごす時間」（30.5%）、「在宅で仕事をする時間」（11.4%）、「地域とのつながり」（2.0%）が上位に挙がっています。

図表 新しい生活様式による環境変化の内容



		(n=518)	
		回答数	構成比
① 友人・知人と会う機会	1 大いに減少した	342	66.0%
	2 やや減少した	136	26.3%
	3 変わらない	21	4.1%
	4 やや増加した	1	0.2%
	5 大幅に増加した	3	0.6%
	無回答	15	2.9%
② 運動・スポーツ・余暇活動の機会	1 大いに減少した	251	48.5%
	2 やや減少した	148	28.6%
	3 変わらない	77	14.9%
	4 やや増加した	5	1.0%

		回答数	構成比
	5 大幅に増加した	4	0.8%
	無回答	33	6.4%
③ 地域とのつながり	1 大いに減少した	158	30.5%
	2 やや減少した	168	32.4%
	3 変わらない	153	29.5%
	4 やや増加した	7	1.4%
	5 大幅に増加した	3	0.6%
	無回答	29	5.6%
④ 家族と過ごす時間	1 大いに減少した	32	6.2%
	2 やや減少した	40	7.7%
	3 変わらない	257	49.6%
	4 やや増加した	86	16.6%
	5 大幅に増加した	72	13.9%
	無回答	31	6.0%
⑤ 在宅で仕事をする時間	1 大いに減少した	15	2.9%
	2 やや減少した	10	1.9%
	3 変わらない	356	68.7%
	4 やや増加した	34	6.6%
	5 大幅に増加した	25	4.8%
	無回答	78	15.1%
⑥ 仕事による収入	1 大いに減少した	58	11.2%
	2 やや減少した	83	16.0%
	3 変わらない	297	57.3%
	4 やや増加した	5	1.0%
	5 大幅に増加した	2	0.4%
	無回答	73	14.1%

## ① 友人・知人と会う機会

- 性別による友人・知人と会う機会をみると、“機会が減少した”と回答した割合は、男性では88.2%、女性では95.3%となっています。
- 年齢別に“機会が減少した”と回答した割合をみると、20歳未満(100.0%)、30歳代(97.0%)、40歳代(96.3%)が上位に挙がっています。

図表 友人・知人と会う機会（性別・年齢別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
男性(n=213)	57.7%	30.5%	8.5%	0.5%	0.5%	2.3%
女性(n=298)	72.5%	22.8%	0.7%	0.0%	0.7%	3.4%
20歳未満(n=4)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳(n=30)	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳(n=66)	69.7%	27.3%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%
40～49歳(n=82)	76.8%	19.5%	1.2%	0.0%	0.0%	2.4%
50～59歳(n=74)	79.7%	13.5%	4.1%	0.0%	1.4%	1.4%
60～69歳(n=132)	65.9%	28.8%	0.8%	0.8%	0.8%	3.0%
70～79歳(n=80)	53.8%	32.5%	10.0%	0.0%	0.0%	3.8%
80歳以上(n=48)	47.9%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	10.4%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

- 地区別による友人・知人と会う機会をみると、“機会が減少した”と回答した割合は、南郷地区(96.4%)、不動堂地区(92.0%)、小牛田地区(91.8%)が上位に挙がっています。

図表 友人・知人と会う機会（地区別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
小牛田地区(n=85)	67.1%	24.7%	2.4%	0.0%	0.0%	5.9%
不動堂地区(n=163)	68.1%	23.9%	6.1%	0.6%	0.0%	1.2%
北浦地区(n=73)	61.6%	30.1%	2.7%	0.0%	2.7%	2.7%
中埜地区(n=43)	60.5%	30.2%	4.7%	0.0%	2.3%	2.3%
青生地区(n=38)	63.2%	23.7%	5.3%	0.0%	0.0%	7.9%
南郷地区(n=111)	68.5%	27.9%	2.7%	0.0%	0.0%	0.9%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

## ② 運動・スポーツ・余暇活動の機会

- 性別による運動・スポーツ・余暇活動の機会をみると、“機会が減少した”と回答した割合は、男性では77.5%、女性では76.9%となっています。
- 年齢別に“機会が減少した”と回答した割合をみると、60歳代（84.8%）、50歳代（82.4%）、40歳代（81.8%）が上位に挙がっています。

図表 運動・スポーツ・余暇活動の機会（性別・年齢別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
男性 (n=213)	47.9%	29.6%	16.9%	0.5%	0.9%	4.2%
女性 (n=298)	49.0%	27.9%	13.4%	1.3%	0.7%	7.7%
20歳未満 (n=4)	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=30)	30.0%	23.3%	43.3%	3.3%	0.0%	0.0%
30～39歳 (n=66)	40.9%	33.3%	19.7%	4.5%	0.0%	1.5%
40～49歳 (n=82)	59.8%	22.0%	13.4%	0.0%	1.2%	3.7%
50～59歳 (n=74)	58.1%	24.3%	14.9%	0.0%	1.4%	1.4%
60～69歳 (n=132)	50.0%	34.8%	8.3%	0.8%	1.5%	4.5%
70～79歳 (n=80)	38.8%	35.0%	15.0%	0.0%	0.0%	11.3%
80歳以上 (n=48)	45.8%	16.7%	10.4%	0.0%	0.0%	27.1%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

- 地区別による運動・スポーツ・余暇活動の機会をみると、“機会が減少した”と回答した割合は、青生地区（81.6%）、北浦地区（80.8%）、不動堂地区（78.5%）が上位に挙がっています。

図表 運動・スポーツ・余暇活動の機会（地区別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
小牛田地区 (n=85)	50.6%	23.5%	14.1%	1.2%	0.0%	10.6%
不動堂地区 (n=163)	46.6%	31.9%	16.6%	1.2%	0.6%	3.1%
北浦地区 (n=73)	46.6%	34.2%	9.6%	1.4%	1.4%	6.8%
中埜地区 (n=43)	58.1%	18.6%	11.6%	0.0%	4.7%	7.0%
青生地区 (n=38)	60.5%	21.1%	10.5%	2.6%	0.0%	5.3%
南郷地区 (n=111)	42.3%	31.5%	18.9%	0.0%	0.0%	7.2%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

### ③ 地域とのつながり

- 性別による地域とのつながりをみると、“機会が減少した”と回答した割合は、男性では63.9%、女性では62.7%となっています。
- 年齢別に“機会が減少した”と回答した割合をみると、20歳未満、60歳代（ともに75.0%）、70歳代（71.3%）、50歳代（63.5%）が上位に挙がっています。

図表 地域とのつながり（性別・年齢別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
男性 (n=213)	26.8%	37.1%	31.0%	2.3%	0.5%	2.3%
女性 (n=298)	33.2%	29.5%	28.9%	0.7%	0.7%	7.0%
20歳未満 (n=4)	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=30)	6.7%	30.0%	60.0%	3.3%	0.0%	0.0%
30～39歳 (n=66)	24.2%	27.3%	43.9%	3.0%	0.0%	1.5%
40～49歳 (n=82)	34.1%	20.7%	41.5%	0.0%	0.0%	3.7%
50～59歳 (n=74)	36.5%	27.0%	32.4%	1.4%	1.4%	1.4%
60～69歳 (n=132)	38.6%	36.4%	18.2%	0.8%	1.5%	4.5%
70～79歳 (n=80)	20.0%	51.3%	20.0%	1.3%	0.0%	7.5%
80歳以上 (n=48)	31.3%	29.2%	14.6%	2.1%	0.0%	22.9%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

- 地区別による地域とのつながりをみると、“機会が減少した”と回答した割合は、北浦地区（71.2%）、中埜地区（65.1%）、南郷地区（63.9%）が上位に挙がっています。

図表 地域とのつながり（地区別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
小牛田地区 (n=85)	29.4%	31.8%	28.2%	2.4%	0.0%	8.2%
不動堂地区 (n=163)	23.3%	36.2%	36.2%	1.2%	0.0%	3.1%
北浦地区 (n=73)	37.0%	34.2%	23.3%	0.0%	1.4%	4.1%
中埜地区 (n=43)	30.2%	34.9%	20.9%	2.3%	4.7%	7.0%
青生地区 (n=38)	39.5%	23.7%	23.7%	2.6%	0.0%	10.5%
南郷地区 (n=111)	35.1%	28.8%	30.6%	0.9%	0.0%	4.5%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

#### ④ 家族と過ごす時間

- 性別による家族と過ごす時間をみると、“機会が増加した”と回答した割合は、男性では30.1%、女性では31.5%となっています。
- 年齢別に“機会が増加した”と回答した割合をみると、30歳代（51.5%）、20歳代（50.0%）、40歳代（41.5%）が上位に挙がっています。

図表 家族と過ごす時間（性別・年齢別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
男性 (n=213)	5.6%	4.7%	55.4%	17.4%	12.7%	4.2%
女性 (n=298)	6.4%	9.7%	45.6%	16.4%	15.1%	6.7%
20歳未満 (n=4)	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=30)	0.0%	16.7%	30.0%	30.0%	20.0%	3.3%
30～39歳 (n=66)	4.5%	6.1%	36.4%	28.8%	22.7%	1.5%
40～49歳 (n=82)	1.2%	1.2%	52.4%	17.1%	24.4%	3.7%
50～59歳 (n=74)	6.8%	10.8%	41.9%	18.9%	17.6%	4.1%
60～69歳 (n=132)	8.3%	6.8%	56.1%	13.6%	11.4%	3.8%
70～79歳 (n=80)	6.3%	8.8%	62.5%	11.3%	1.3%	10.0%
80歳以上 (n=48)	14.6%	10.4%	47.9%	4.2%	4.2%	18.8%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

- 地区別による家族と過ごす時間をみると、“機会が増加した”と回答した割合は、不動堂地区（36.2%）、小牛田地区（32.9%）、北浦地区（28.8%）が上位に挙がっています。

図表 家族と過ごす時間（地区別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
小牛田地区 (n=85)	8.2%	7.1%	43.5%	14.1%	18.8%	8.2%
不動堂地区 (n=163)	4.9%	5.5%	49.1%	21.5%	14.7%	4.3%
北浦地区 (n=73)	8.2%	9.6%	49.3%	19.2%	9.6%	4.1%
中埜地区 (n=43)	4.7%	9.3%	55.8%	14.0%	9.3%	7.0%
青生地区 (n=38)	13.2%	5.3%	50.0%	13.2%	13.2%	5.3%
南郷地区 (n=111)	3.6%	9.9%	55.0%	12.6%	12.6%	6.3%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

## ⑤ 在宅で仕事をする時間

- 性別による在宅で仕事をする時間をみると、“機会が増加した”と回答した割合は、男性では15.1%、女性では9.1%となっています。
- 年齢別に“機会が増加した”と回答した割合をみると、20歳代(26.7%)、20歳未満(25.0%)、50歳代(16.3%)が上位に挙がっています。

図表 在宅で仕事をする時間（性別・年齢別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
男性(n=213)	1.9%	2.8%	69.0%	8.5%	6.6%	11.3%
女性(n=298)	3.4%	1.0%	69.5%	5.4%	3.7%	17.1%
20歳未満(n=4)	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
20～29歳(n=30)	0.0%	0.0%	73.3%	6.7%	20.0%	0.0%
30～39歳(n=66)	0.0%	0.0%	86.4%	7.6%	3.0%	3.0%
40～49歳(n=82)	2.4%	1.2%	80.5%	6.1%	6.1%	3.7%
50～59歳(n=74)	1.4%	1.4%	78.4%	9.5%	6.8%	2.7%
60～69歳(n=132)	3.0%	0.8%	71.2%	6.1%	0.8%	18.2%
70～79歳(n=80)	2.5%	2.5%	55.0%	6.3%	3.8%	30.0%
80歳以上(n=48)	10.4%	10.4%	25.0%	4.2%	4.2%	45.8%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

- 地区別による在宅で仕事をする時間をみると、“機会が増加した”と回答した割合は、青生地区(18.4%)、北浦地区(13.7%)、不動堂地区(12.3%)が上位に挙がっています。

図表 在宅で仕事をする時間（地区別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	無回答
小牛田地区(n=85)	0.0%	1.2%	65.9%	2.4%	5.9%	24.7%
不動堂地区(n=163)	0.6%	3.1%	71.8%	7.4%	4.9%	12.3%
北浦地区(n=73)	4.1%	1.4%	61.6%	8.2%	5.5%	19.2%
中埜地区(n=43)	4.7%	4.7%	74.4%	0.0%	4.7%	11.6%
青生地区(n=38)	5.3%	0.0%	60.5%	15.8%	2.6%	15.8%
南郷地区(n=111)	5.4%	0.9%	73.0%	7.2%	4.5%	9.0%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

## ⑥ 仕事による収入

- 性別による仕事による収入をみると、“機会が減少した”と回答した割合は、男性では29.6%、女性では25.8%となっています。
- 年齢別に“機会が減少した”と回答した割合をみると、60歳代（31.0%）、30歳代（30.3%）、20歳代（30.0%）が上位に挙がっています。

図表 仕事による収入（性別・年齢別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		無回答
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	
男性 (n=213)	14.1%	15.5%	58.2%	0.0%	0.9%	11.3%
女性 (n=298)	9.4%	16.4%	57.0%	1.7%	0.0%	15.4%
20歳未満 (n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳 (n=30)	6.7%	23.3%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳 (n=66)	10.6%	19.7%	63.6%	3.0%	1.5%	1.5%
40～49歳 (n=82)	8.5%	19.5%	64.6%	2.4%	0.0%	4.9%
50～59歳 (n=74)	5.4%	18.9%	70.3%	1.4%	1.4%	2.7%
60～69歳 (n=132)	13.6%	17.4%	53.0%	0.0%	0.0%	15.9%
70～79歳 (n=80)	12.5%	6.3%	55.0%	0.0%	0.0%	26.3%
80歳以上 (n=48)	18.8%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%	47.9%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

- 地区別による仕事による収入をみると、“機会が減少した”と回答した割合は、青生地区（39.5%）、北浦地区（34.2%）、中埜地区（32.5%）が上位に挙がっています。

図表 仕事による収入（地区別）

	“機会が減少した”			“機会が増加した”		無回答
	大いに減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	大幅に増加した	
小牛田地区 (n=85)	7.1%	9.4%	61.2%	0.0%	0.0%	22.4%
不動堂地区 (n=163)	6.1%	15.3%	65.6%	0.0%	0.0%	12.9%
北浦地区 (n=73)	13.7%	20.5%	42.5%	1.4%	2.7%	19.2%
中埜地区 (n=43)	11.6%	20.9%	60.5%	2.3%	0.0%	4.7%
青生地区 (n=38)	21.1%	18.4%	44.7%	2.6%	0.0%	13.2%
南郷地区 (n=111)	16.2%	16.2%	56.8%	1.8%	0.0%	9.0%

※ “機会が減少した”：「大いに減少した」、「やや減少した」と回答した方

※ “機会が増加した”：「やや増加した」、「大幅に増加した」と回答した方

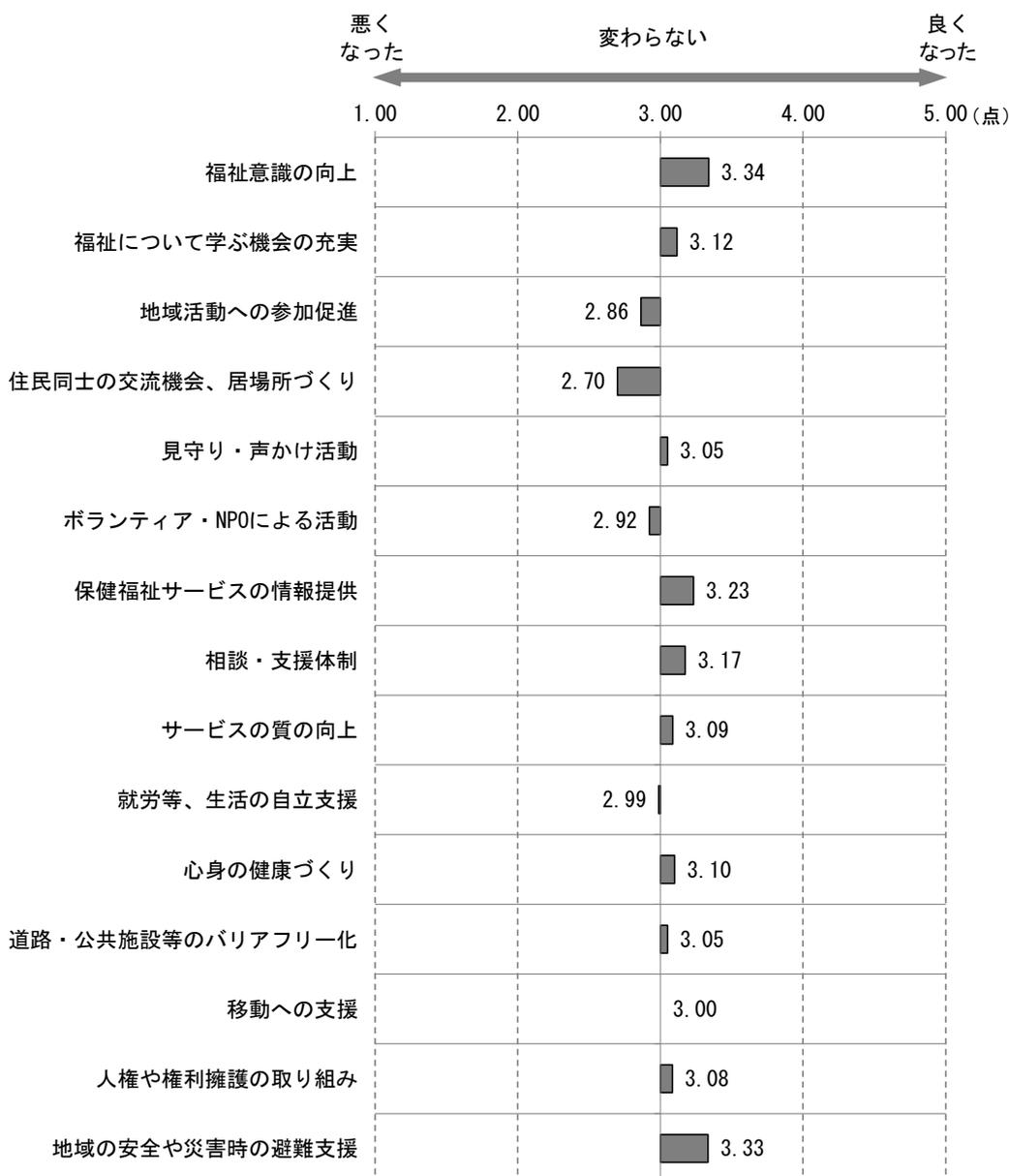
## 10 町の福祉施策について

### (1) 地域福祉推進における主な取り組みの評価

問 地域福祉推進における主な取り組み（以下の①～⑮）について、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。0～5点で評価をお願いします。（各項目のそれぞれ1つに○）

- 地域福祉推進における主な取り組みの評価について、良くなった（5点に近い）項目では「福祉意識の向上」、「地域の安全や災害時の避難支援」、「保健福祉サービスの情報提供」が上位に挙がっています。
- 悪くなった（1点に近い）項目では、「住民同士の交流機会、居場所づくり」、「地域活動への参加促進」、「ボランティア・NPOによる活動」が上位に挙がっています。

図表 地域福祉推進における主な取り組みの評価



		(n=976)	
		回答数	構成比
① 福祉意識の向上 (平均：3.34点)	1 5点 (良くなった)	6	0.6%
	2 4点	16	1.6%
	3 3点 (変わらない)	319	32.7%
	4 2点	111	11.4%
	5 1点 (悪くなった)	42	4.3%
	6 0点 (わからない)	345	35.3%
	無回答	137	14.0%
② 福祉について学ぶ機会の充実 (平均：3.12点)	1 5点 (良くなった)	11	1.1%
	2 4点	44	4.5%
	3 3点 (変わらない)	326	33.4%
	4 2点	84	8.6%
	5 1点 (悪くなった)	19	1.9%
	6 0点 (わからない)	354	36.3%
	無回答	138	14.1%
③ 地域活動への参加促進 (平均：2.86点)	1 5点 (良くなった)	55	5.6%
	2 4点	68	7.0%
	3 3点 (変わらない)	323	33.1%
	4 2点	75	7.7%
	5 1点 (悪くなった)	15	1.5%
	6 0点 (わからない)	301	30.8%
	無回答	139	14.2%
④ 住民同士の交流機会、 居場所づくり (平均：2.70点)	1 5点 (良くなった)	93	9.5%
	2 4点	90	9.2%
	3 3点 (変わらない)	298	30.5%
	4 2点	67	6.9%
	5 1点 (悪くなった)	19	1.9%
	6 0点 (わからない)	274	28.1%
	無回答	135	13.8%
⑤ 見守り・声かけ活動 (平均：3.05点)	1 5点 (良くなった)	34	3.5%
	2 4点	61	6.3%
	3 3点 (変わらない)	337	34.5%
	4 2点	95	9.7%
	5 1点 (悪くなった)	31	3.2%
	6 0点 (わからない)	286	29.3%
	無回答	132	13.5%

		(n=976)	
		回答数	構成比
⑥ ボランティア・NPOによる活動 (平均：2.92点)	1 5点(良くなった)	24	2.5%
	2 4点	65	6.7%
	3 3点(変わらない)	282	28.9%
	4 2点	63	6.5%
	5 1点(悪くなった)	8	0.8%
	6 0点(わからない)	398	40.8%
	無回答	136	13.9%
⑦ 保健福祉サービスの情報提供 (平均：3.23点)	1 5点(良くなった)	10	1.0%
	2 4点	41	4.2%
	3 3点(変わらない)	317	32.5%
	4 2点	114	11.7%
	5 1点(悪くなった)	33	3.4%
	6 0点(わからない)	321	32.9%
	無回答	140	14.3%
⑧ 相談・支援体制 (平均：3.17点)	1 5点(良くなった)	10	1.0%
	2 4点	47	4.8%
	3 3点(変わらない)	290	29.7%
	4 2点	108	11.1%
	5 1点(悪くなった)	21	2.2%
	6 0点(わからない)	361	37.0%
	無回答	139	14.2%
⑨ サービスの質の向上 (平均：3.09点)	1 5点(良くなった)	15	1.5%
	2 4点	45	4.6%
	3 3点(変わらない)	314	32.2%
	4 2点	75	7.7%
	5 1点(悪くなった)	20	2.0%
	6 0点(わからない)	366	37.5%
	無回答	141	14.4%
⑩ 就労等、生活の自立支援 (平均：2.99点)	1 5点(良くなった)	18	1.8%
	2 4点	43	4.4%
	3 3点(変わらない)	309	31.7%
	4 2点	56	5.7%
	5 1点(悪くなった)	9	0.9%
	6 0点(わからない)	399	40.9%
	無回答	142	14.5%

		(n=976)	
		回答数	構成比
⑪ 心身の健康づくり (平均：3.10点)	1 5点 (良くなった)	25	2.6%
	2 4点	52	5.3%
	3 3点 (変わらない)	311	31.9%
	4 2点	95	9.7%
	5 1点 (悪くなった)	29	3.0%
	6 0点 (わからない)	318	32.6%
	無回答	146	15.0%
⑫ 道路・公共施設等の バリアフリー化 (平均：3.05点)	1 5点 (良くなった)	22	2.3%
	2 4点	61	6.3%
	3 3点 (変わらない)	331	33.9%
	4 2点	106	10.9%
	5 1点 (悪くなった)	13	1.3%
	6 0点 (わからない)	308	31.6%
	無回答	135	13.8%
⑬ 移動への支援 (平均：3.00点)	1 5点 (良くなった)	22	2.3%
	2 4点	58	5.9%
	3 3点 (変わらない)	316	32.4%
	4 2点	76	7.8%
	5 1点 (悪くなった)	13	1.3%
	6 0点 (わからない)	352	36.1%
	無回答	139	14.2%
⑭ 人権や権利擁護の取り組み (平均：3.08点)	1 5点 (良くなった)	12	1.2%
	2 4点	36	3.7%
	3 3点 (変わらない)	314	32.2%
	4 2点	63	6.5%
	5 1点 (悪くなった)	17	1.7%
	6 0点 (わからない)	398	40.8%
	無回答	136	13.9%
⑮ 地域の安全や災害時の避難支援 (平均：3.33点)	1 5点 (良くなった)	17	1.7%
	2 4点	41	4.2%
	3 3点 (変わらない)	294	30.1%
	4 2点	156	16.0%
	5 1点 (悪くなった)	53	5.4%
	6 0点 (わからない)	279	28.6%
	無回答	136	13.9%

## (2) 町の福祉施策への意見

問 町の福祉施策について、以下の項目からご意見・ご提案等がありましたら、ご記入ください。(3つまで選んで意見等を記入)

- 町の福祉施策への意見については、「その他(自由意見含む)」を除くと「高齢者支援に関すること」、「防災・防犯・交通安全等、地域の安全・安心に関すること」(ともに63件)、「行政への要望」(51件)、「健康づくりに関すること」(49件)が意見項目として上位に挙がっています。

図表 町の福祉施策への意見

(n=304)

	件数
1 健康づくりに関すること	49
2 高齢者支援に関すること	63
3 障害者支援に関すること	33
4 子育て支援等子どもに関すること	46
5 防災・防犯・交通安全等、地域の安全・安心に関すること	63
6 移動手段の確保・買い物支援	47
7 情報提供や相談に関すること	17
8 福祉サービス全般に関すること	24
9 住民同士の支え合いに関すること	25
10 福祉施設や地域の拠点、通いの場に関すること	10
11 福祉従事者の人材確保に関すること	13
12 行政への要望	51
13 その他(自由意見含む)	80